

文部科学省

平成 20 年度教育研修活動補助事業

「専修学校における研修活動に関する調査研究」  
報告書

平成 21 年 3 月

財団法人専修学校教育振興会

# 目次

第1章 調査の概要	1
第2章 調査結果の分析と考察	
1. 理事長・学校長・教務ご担当者対象アンケート	
・ 理事長・学校長・教務ご担当者対象アンケートの結果について	2
1-1 教員の資質向上に向けた取り組みについて	3
1-2 研修の内容について	9
1-3 研修の実態について	15
1-4 専教振の行う研修事業	17
1-5 意見・要望	20
・ 理事長・学校長・教務ご担当者対象アンケート表	21
・ 理事長・学校長・教務ご担当者対象アンケート集計結果(表)	23
2. 教員対象アンケート	
・ 教員対象アンケートの結果について	27
2-1 研修の内容について	29
2-2 研修の実態について	35
2-3 意見・要望	35
・ 教員対象アンケート表	36
・ 教員対象アンケート集計結果(表)	37
第3章 総括	50
・ 調査協力校一覧	52

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の趣旨

財団法人専修学校教育振興会は、昭和53年の設立以来、専修学校教職員の資質向上を目的に、新任教員向けの研修カリキュラム、管理者向け研修会、分野別研修会等、多岐に渡る研修事業等を文部科学省の支援の下に実施している。

研修内容・カリキュラム等については、時宜に応じて検討・改訂を進め、常に専修学校教職員にとって有益な研修等の提供に努めてきたが、今回、専修学校における教員研修受講の状況やニーズに関してアンケート調査を行い、教職員研修等の実態を把握し、今後求められる内容・方法等を検討し、専修学校教員の更なる質的向上へ向けた方策を検討することを目的として、調査研究を行うこととした。

## 2. 調査の実施

### (1) 研修活動調査研究委員会

委員長	神崎 清一(京都YMCA国際福祉専門学校)
委員	川合 直(文化服装学院)
〃	鈴木 政信(国際理容美容専門学校)
〃	東條 仁英(ホスピタリティツーリズム専門学校)
〃	平田 眞一(中国デザイン専門学校)

### (2) 委員会開催経過

第1回	平成20年5月16日	調査の基本方針、予定、その他
第2回	平成20年7月16日	アンケート調査票の検討、その他
第3回	平成20年11月14日	集計結果の分析・検討、その他
第4回	平成21年2月3日	調査報告書について、その他

### (3) 調査経過と結果概要

今回の調査では、教職員を研修等に派遣する者と、研修等に参加する者双方の実情を把握するべく、学校経営関係者を対象とした〈理事長・学校長・教務ご担当者対象〉アンケートと、実際に教壇に立つ教員を対象とした〈教員対象〉アンケートの2種の調査票を作成した。発送先は、全国専修学校各種学校総連合会に加盟する学校法人立専門学校1,647校。また、ホームページにも本調査への協力依頼、および調査票を公開し、広く回答を募った結果、今回調査票を郵送しなかった学校(8校)からも回答を得ることができた。

調査期間は平成20年9月19日から10月10日で、研修等の受講実体を把握する設問に関しては、平成19年度における研修等の実施状況を対象とした。

〈理事長・学校長・教務ご担当者対象〉アンケートは、調査票を送付した1,647校中679校(回収率41.2%)及び調査票未送付の8校、合計687校から回答を得た。そのうち、報告書に学校名「公表可」としたのは481校、「公表不可」は137校、無回答が69校であった。なお、「公表可」と回答いただいた学校の一覧は、巻末に掲載する。

	回答校数	公表可	公表不可	無回答
合計	687	481	137	69
%	100.0	70.0	19.9	10.0

表1 「学校名の公表」に関する回答

〈教員版〉に関しては、1校あたり最大5名の教員から回答

を募集した。回答数は1,753件。5名以上の回答を寄せた学校もあったが、回答内容が特定の学校からの意見により偏ることを防ぐという観点から、5名までの回答のみを活かしたため、実際に協力いただいた教員数は、この数を上回る事となる。

また、本調査における「教員」の定義は、〈理事長・学校長・教務ご担当者対象〉〈教員対象〉ともに、「授業を担当している者」(非常勤を含む)とした。

内容に関しては、各設問の分析において詳細を記すこととする。

## 第2章 調査結果の分析と考察

### 1. 理事長・学校長・教務ご担当者対象アンケート

#### ●理事長・学校長・教務ご担当者対象アンケートの集計結果について

全国より 687 校の回答を得た。

都道府県別回答数では、東京都が最も多く 95 校(13.8%)、ついで愛知県の 50 校(7.3%)、静岡県の 49 校(7.1%)、大阪府の 47 校(6.8%)、福岡県の 42 校(6.1%)、

都道府県名	回答校数	%
東京都	95	13.8%
愛知県	50	7.3%
静岡県	49	7.1%
大阪府	47	6.8%
福岡県	42	6.1%
北海道	40	5.8%
神奈川県	35	5.1%
兵庫県	23	3.3%
新潟県・広島県	22	3.2%
埼玉県	19	2.8%
群馬県・岡山県	16	2.3%
千葉県・長野県	12	1.7%

都道府県名	回答校数	%
京都府	11	1.6%
宮城県・高知県・熊本県・鹿児島県	10	1.5%
茨城県・石川県・愛媛県・宮崎県	9	1.3%
富山県・岐阜県・山口県	8	1.2%
奈良県・沖縄県	7	1.0%
青森県・山形県・福島県・島根県	6	0.9%
山梨県・大分県	5	0.7%
岩手県・三重県・香川県・長崎県	4	0.6%
栃木県・福井県・鳥取県・徳島県・佐賀県	2	0.3%
秋田県・和歌山県	1	0.1%
滋賀県	0	0.0%
合計	687	100.0%

表1-1 都道府県別回答校数

神奈川県の 35 校(5.1%)、兵庫県の 23 校(3.3%)、新潟県・広島県の 22 校(3.2%)と続く。

教育分野ごとの回答校数は、医療が 136 校(19.8%)、衛生が 118 校(17.2%)、工業が 116 校(16.9%)、文化・教養が 100 校(14.6%)、商業実務が 99 校(14.4%)、教育・社会福祉が 76 校(11.1%)、服飾・家政が 37 校(5.4%)、農業が 2 校(0.3%)、無回答が 3 校(0.4%)であった。

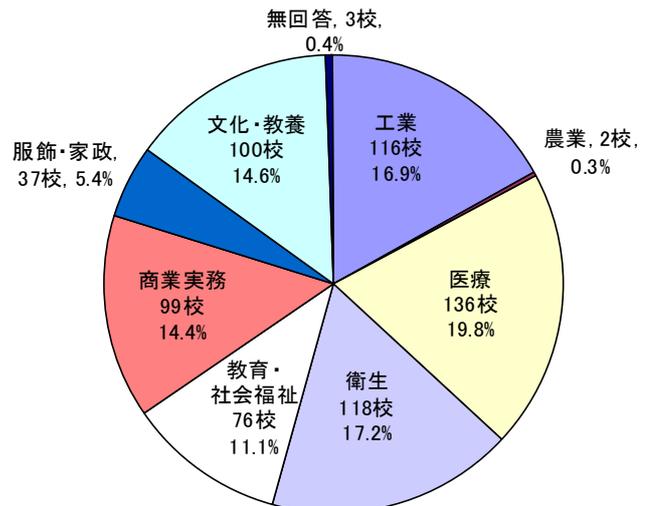


図1-1 分野別回答校数

平成 20 年度学校基本調査における分野別学校数と比較すると、概ね妥当な分野配分と考えられるが、衛生分野での回答率が他分野に比べ若干高い。

なお、複数分野を併設している学校には、学生数の一番多い分野をご回答いただいた。

回答校の教員数については、11~30 人と回答した学校が 300 校(43.7%)と最も多く、31~50 人が 134 校(19.5%)、51~100 人が 122 校(17.8%)、1~10 人が 76 校(11.1%)、101 人以上が 45 校(6.6%)、無回答が 10 校(1.5%)であった。

	合計	1~10人	11~30人	31~50人	51~100人	101人以上	無回答
回答校数	687	76	300	134	122	45	10
%	100.0	11.1	43.7	19.5	17.8	6.6	1.5

表1-2 回答校における教員数

回答者の役職は、理事長が 38(5.5%)、学校長(学院長を含む)が 182(26.5%)、副校長(副学院長等を含む)が 95(13.8%)、教頭が 27(3.9%)、教務(教務部長、教務課長等)が 119(17.3%)、事務(事務長、事務局長等)が 81(11.8%)、総務(総務部長・総務課長)が 22、その他(法人本部等)が 73(10.6%)、無記入が 50(7.3%)であった。

## 1-1 教員の資質向上に向けた取り組みについて

この項目は、教員の資質向上のために研修制度をどのように整えているかを確認する質問である。質問対象が、理事長・学校長・教務担当者としてあるため、回答はその学校がシステムとして取り入れている研修制度を明確に表していると考えられる。

各項目に対する回答について逐次解説を行い、教育分野や、教員数からうかがえる学校規模ごとの傾向によってどのような違いが出ているかを述べていくことにする。

### ①学内(同一法人、グループ校内)で研修を実施

この質問に対しては、「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校が499校(72.6%)、「実施しているが今後は取りやめたい」が0校、「実施していないができれば実施したい」が160校(23.3%)、「実施していないし必要と

思わない」が13校、無回答が15校であった。

	合計	実施しているし 今後も実施したい	実施しているが 今後は取りやめたい	実施していないが できれば実施したい	実施していないし 必要と思わない	無回答
回答校数	687	499	0	160	13	15
%	100.0	72.6	-	23.3	1.9	2.2

表1-3 学内(同一法人、グループ校内)で研修を実施

この項目では4分の3の学校が学内研修を実施しており、これから実施したいという学校を加えると約96%の学校が学内研修を重要視しており、学校に欠くことのできないものであるとわかる。

この結果を分野別に見ると、「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校の割合は、工業、文化・教養、商業実務、衛生の各分野に属する学校で70%以上となっている。

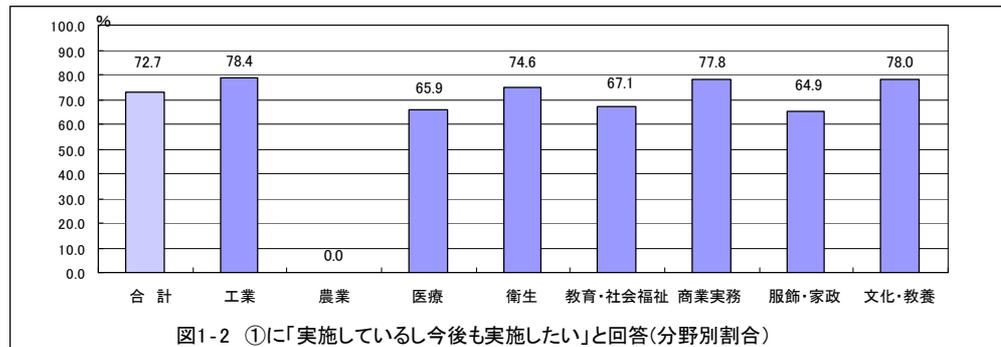


図1-2 ①に「実施しているし今後も実施したい」と回答(分野別割合)

また、教員数の分類で見ると、教員数の多い学校ほど、「実施しているし今後も実施したい」と答えた割合が高くなっている。特に、101人以上の学校では「実施しているし今後も実施したい」が86.7%を占め、「実施していないができれば実施したい」を合わせると、97.8%にまで達している。

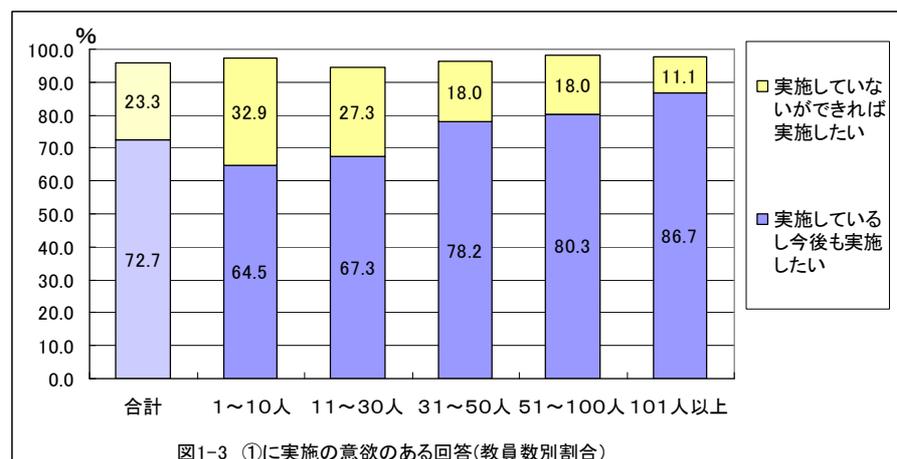


図1-3 ①に実施の意欲のある回答(教員数別割合)

### ②外部のセミナーや研修プログラムに派遣

この質問に対しては「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校が555校(80.8%)あり、「実施しているが今後は取りやめたい」が1校、「実施していないができれば実施したい」が100校(14.6%)、「実施していないし必要と思わ

ない」が20校、無回答が11校であった。

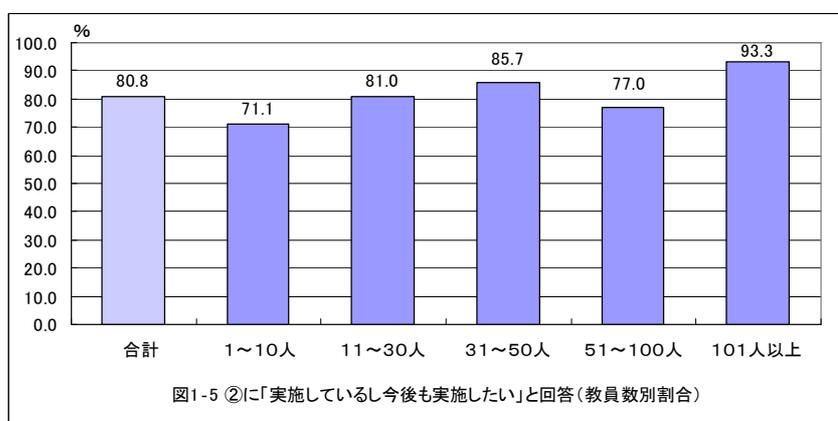
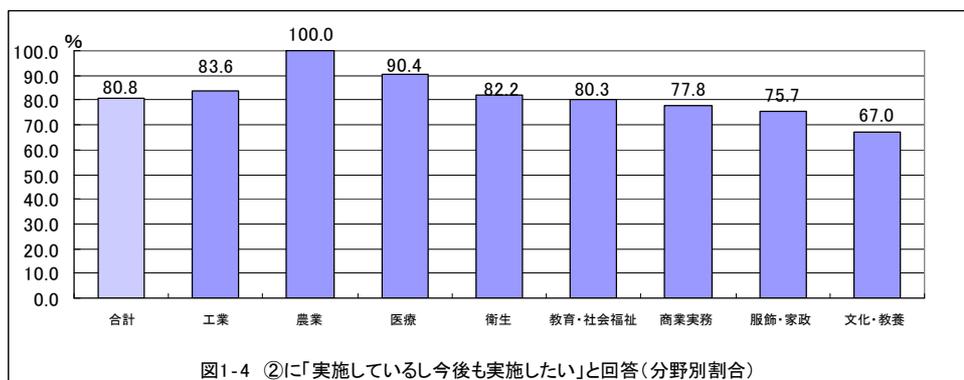
	合計	実施しているし 今後も実施したい	実施しているが 今後は取りやめたい	実施していないが できれば実施したい	実施していないし 必要と思わない	無回答
回答校数	687	555	1	100	20	11
%	100.0	80.8	0.1	14.6	2.9	1.6

表1-4 外部のセミナーや研修プログラムに派遣

この項目では、実施率が80%以上であり、学内研修よりも割合が高くなっている。また、実施したいという学校を加えると95.4%の学校が重要視しているという結果となる。このことから、学校内部で実施する研修より外部のセミナーや研修プログラムを導入する傾向が見受けられる。今回の調査では受講人数の割合等を質問していないのではっきりとは言えないが、全員受講の研修より、研修内容に応じて必要とする教員のみが受講する研修の方が採用しやすいのかもしれない。

この結果を分野別に見ると、「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校の割合は、工業、農業、医療、衛生、教育・社会福祉の各分野に属する学校が80%を超えている。

また、教員数の分類で見ると、やはり教員数の多い学校ほど、「実施しているし今後も実施したい」と答えた割合が高くなっている。例外的に51～100人規模の学校が若干少ないが、それでも77.0%である。



### ③資格取得のための研修に派遣

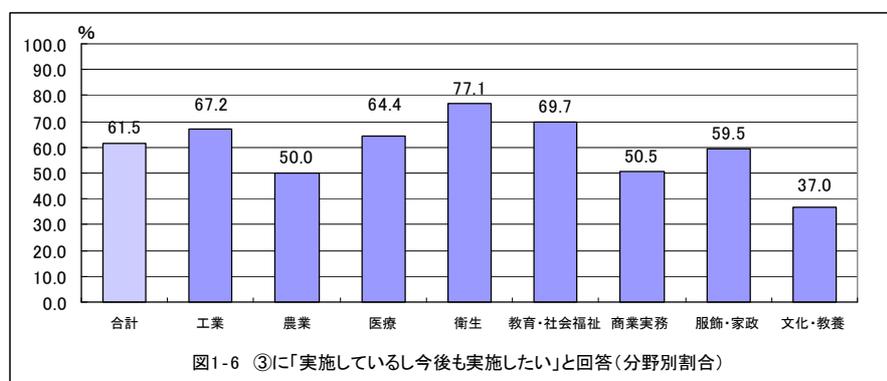
この質問に対しては、「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校が423校(61.6%)、「実施しているが今後は取りやめたい」が2校、「実施していないができれば実施したい」が187校(27.2%)、「実施していないし必要と思わない」が54校、無回答が21校であった。

	合計	実施しているし今後も実施したい	実施しているが今後は取りやめたい	実施していないができれば実施したい	実施していないし必要と思わない	無回答
回答校数	687	423	2	187	54	21
%	100.0	61.6	0.3	27.2	7.9	3.1

表1-5 資格取得のための研修に派遣

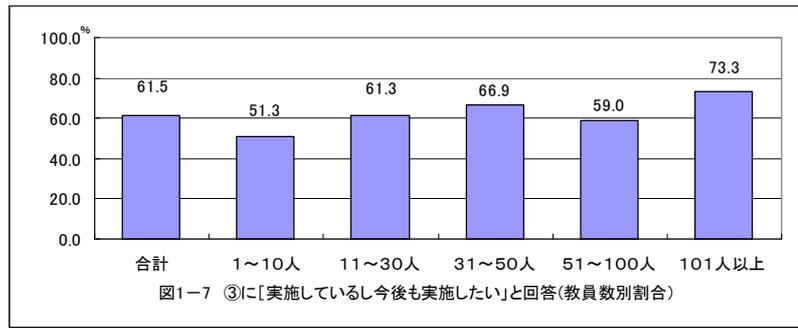
既に実施し、今後も実施したい学校が61.6%であり、「できれば実施したい」を含め、88.8%の学校が重要視しているが、前の2項目に比べると割合は若干下がってきている。

この結果を分野別に見ると、「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校の割合は、工業、医療、衛生、教育・社会福祉の各分野に属する学校が60%を超えているが、文化・教養では37.0%と低い数値となっている。この分野は国家資格等との関連性が薄く、あまり資格が重要視されてい



ないからであろうか。

また、教員数の分類で見ると、やはり教員数の多くなる学校ほど、「実施しているし今後も実施したい」と答えた割合が高くなっている。ここでも51～100人規模の学校では59%と若干少ないが、101人以上の学校での実施率は73.3%と非常に高い数字となっている。



#### ④自己啓発を支援(研究費支給、研究休暇など)

この質問に対しては、「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校が299校(43.5%)、「実施しているが今後は取りやめたい」が3校、「実施していないができれば実施したい」が295校(42.9%)、「実施していないし必要と

思わない」が70校、無回答が20校であった。

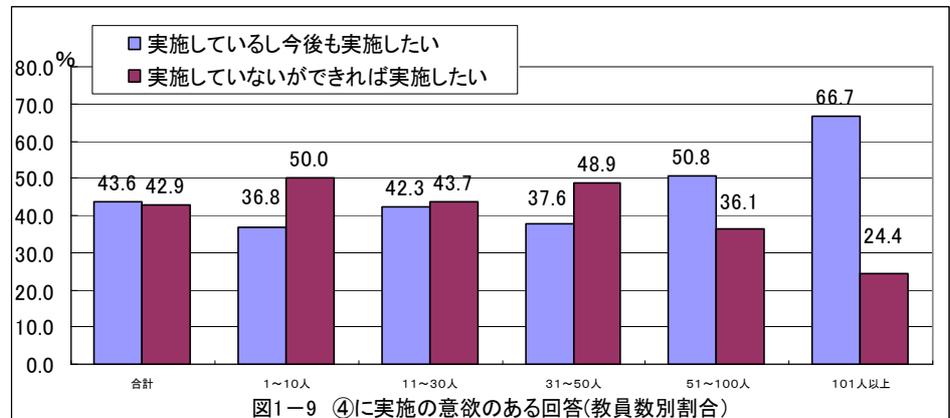
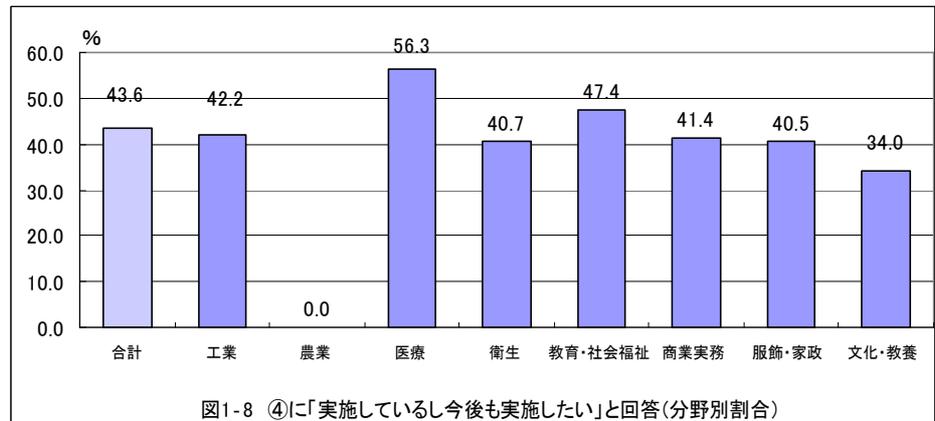
	合計	実施しているし今後も実施したい	実施しているが今後は取りやめたい	実施していないができれば実施したい	実施していないし必要と思わない	無回答
回答校数	687	299	3	295	70	20
%	100.0	43.5	0.4	42.9	10.2	2.9

表1-6 自己啓発を支援

この項目では、「実施しているし今後も実施したい」が43.5%、「実施していないができれば実施したい」が42.9%とほぼ同数となっており、重要視はしているが、まだ半分の学校が実施できていないことになる。これまでの項目の研修と異なり、自己啓発という教員の資質を高める研修には重要性は感じながらも、実施率は低いようである。

この結果を分野別に見ると、「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校の割合は、医療分野に属する学校のみが50%を超えていて、他の分野では50%以下であった。

また、教員数の分類で見ると、教員数が101人以上の学校が、「実施しているし今後も実施したい」と答えた割合が高く66.7%となっていて、51～100人規模の学校が少し少なく50.8%である。それ以外の学校規模では50%以下であるが、逆に「実施していないができれば実施したい」と答えた学校では、規模の小さい学校ほど割合が高くなっている。



## ⑤授業研究・研究発表会、公開授業等の実施

この質問に対しては、「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校が318校(46.3%)、「実施しているが今後は取りやめたい」が2校、「実施していないができれば実施したい」が315校(45.9%)、「実施していないし必要と思わない」が34校、無回答が18校であった。

	合計	実施しているし 今後も実施したい	実施しているが 今後は取りやめたい	実施していないが できれば実施したい	実施していないし 必要と思わない	無回答
回答校数	687	318	2	315	34	18
%	100.0	46.3	0.3	45.9	4.9	2.6

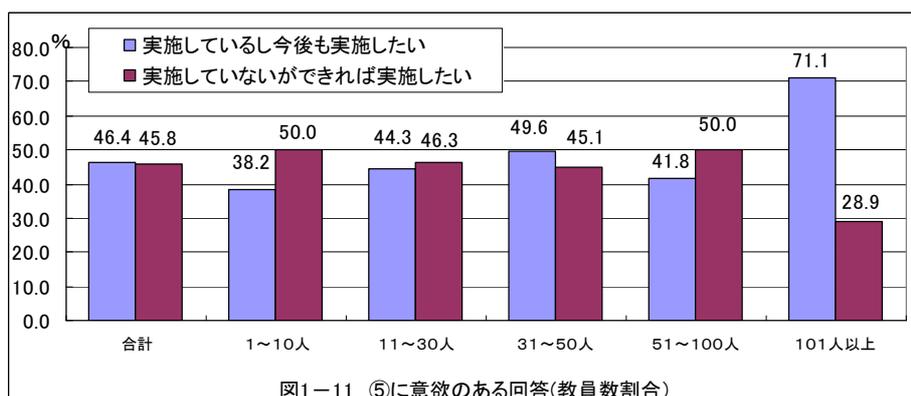
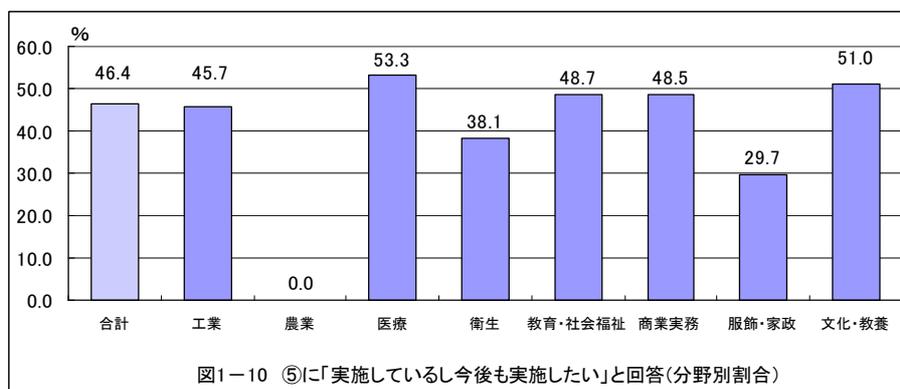
表1-7 授業研究・研究発表会、公開授業等の実施

この項目でも、「実施しているし今後も実施したい」が46.3%、「実施していないができれば実施したい」という学校とほぼ同数となっており、重要視はしているが、まだ半分の学校が実施できていないことになる。

この結果を分野別に見ると、「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校の割合は、医療分野、文化・教養分野に属する学校のみで50%を超えている。

また、教員数の分類で見ると、やはり教員数の101人以上の学校のみが「実施しているし今後も実施したい」と答えた割合が71.1%と高くなっているが、それ

以外の学校規模では、実施している学校は50%以下であり、「実施しているし今後も実施したい」と「実施していないができれば実施したい」と答えた学校との回答割合がほぼ同数の均衡状態となっている。



## ⑥大学・他の専門学校等への派遣研修

この質問に対して「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校が131校(19.1%)、「実施しているが今後は取りやめたい」が2校、「実施していないができれば実施したい」が397校(57.8%)、「実施していないし必要と思わない」が130(19.0%)校、無回答が27校であった。この項目では実施していると答えた学校数はかなり少なく、

これから実施したいと答えた学校が過半数を超えている。

	合計	実施しているし 今後も実施したい	実施しているが 今後は取りやめたい	実施していないが できれば実施したい	実施していないし 必要と思わない	無回答
回答校数	687	131	2	397	130	27
%	100.0	19.1	0.3	57.8	18.9	3.9

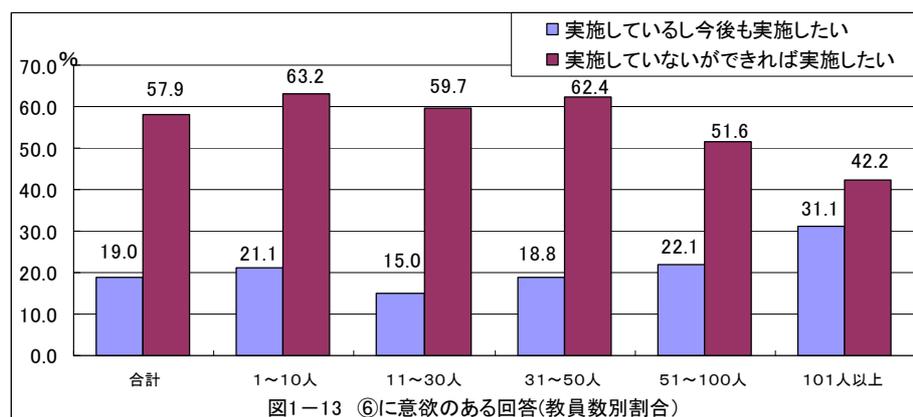
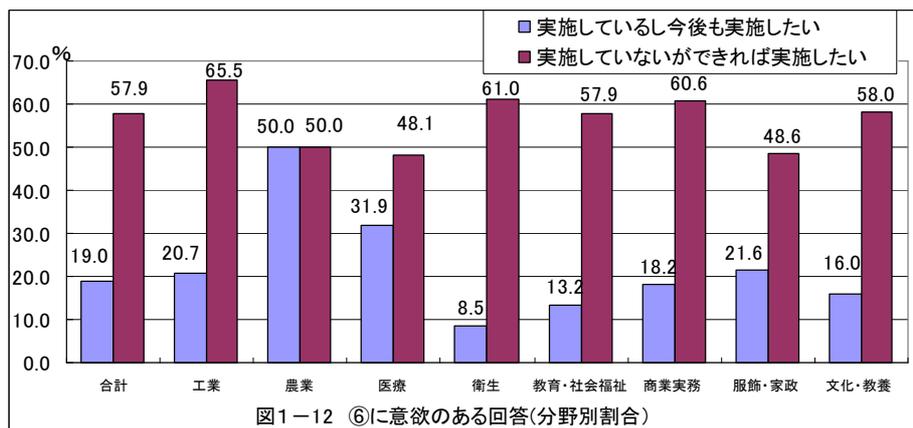
表1-8 大学・他の専門学校等への派遣研修

この項目では、「実施しているし今後も実施したい」(19.1%)に対し、「実施していないができれば実施したい」(57.8%)が大幅に逆転し、重要視していても、まだ多くの学校が実施できていないことになる。

また、「実施していないし必要と思わない」学校数がかなり多くなっており、実施している学校とほぼ同数になった。この回答はほとんどの分野に共通して存在しており、同種の大学や専門学校への派遣研修は必要ないと考えている学校が、いずれの分野にもある程度存在していることを示している。

この結果を分野別に見ると、「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校の割合は、農業分野に属する学校のみが50%であり、その他は医療が31.9%、服飾・家政と工業が20%を超える程度である。「実施していないができれば実施したい」と答えた学校では、工業、衛生、商業実務の各分野が60%を超えている。

また、教員数の分類で見ると、「実施しているし今後も実施したい」と答えた割合は、101人以上の学校で30%を超えるが、他はいずれも20%前後と高くはない。逆に「実施していないができれば実施したい」は、教員数の101人以上の学校のみが42.2%で、それ以外ではこの割合が50%を越えている。

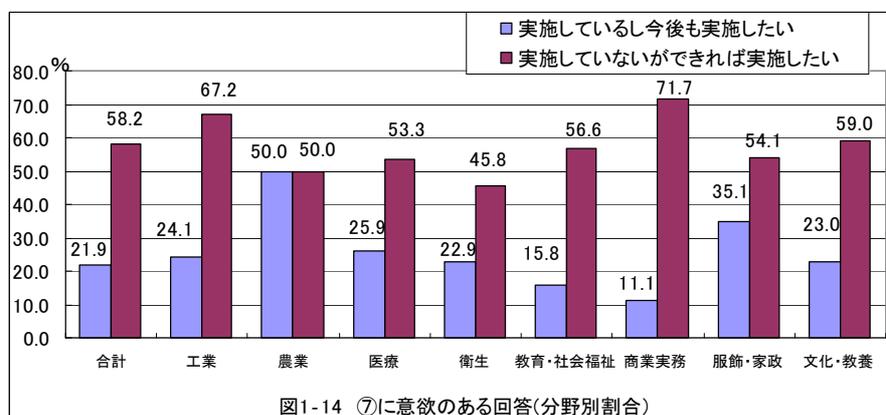


### ⑦企業への派遣研修や共同研究等の実施

この質問に対しては、「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校が150校(21.8%)、「実施しているが今後は取りやめたい」が2校、「実施していないができれば実施したい」が399校(58.1%)、「実施していないし必要と思わない」が112校(16.3%)、無回答が24校であった。

	合計	実施しているし今後も実施したい	実施しているが今後は取りやめたい	実施していないができれば実施したい	実施していないし必要と思わない	無回答
回答校数	687	150	2	399	112	24
%	100.0	21.8	0.3	58.1	16.3	3.5

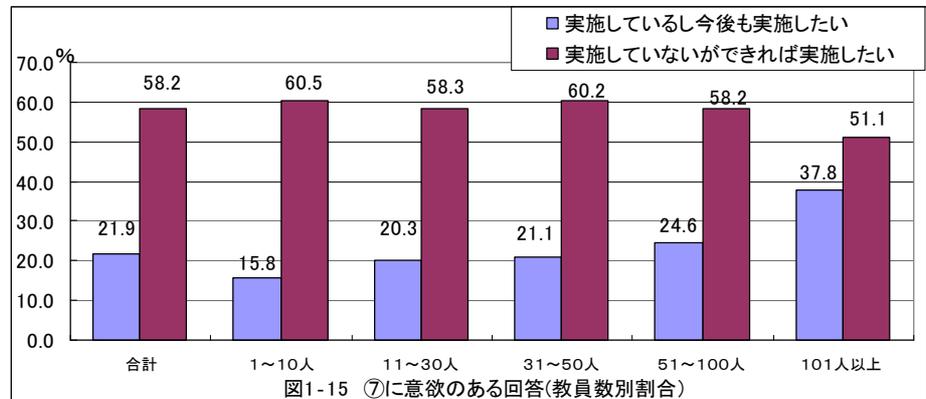
この項目でも[⑥大学・他の専門学校等への派遣研修]と同様に実施していると答えた学校数はかなり減少していて、まだ実施していないがこれから実施したいと答えた学校が58.1%とかなりの割合を占め、重要性は高いが多くの学校がまだ実施にいたっていないと考えられる。逆に「実施していないし必要と思わない」学校数もかなり多くなってきていて、その割合は実施している学校にせまる。この回答は工業と服飾・家政以外の分野には共通して存在しており、分野を問わず、学校によっては企業



へ派遣研修することや共同研究の実施は必要ないものと考えていることを示している。

この結果を分野別に見ると、「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校の割合は、農業分野に属する学校のみが50%であり、そのほかの分野は服飾・家政が35.1%であり、工業、医療、衛生、文化・教養が20%を超える程度である。同じく「実施していないができれば実施したい」と答えた学校では、商業実務分野が71.1%と高く、そのほかにも衛生分野以外が50%を超えている。

また、教員数の分類で見ると、教員数の多くなる学校ほど、「実施しているし今後も実施したい」と答えた割合が高くなっているが、「実施していないができれば実施したい」と答えた学校との割合では、全ての教員数の分類で50%を超えている。



### ⑧その他

この項目にて「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校が22校(3.2%)あり、「実施しているが今は取りやめたい」と答えた学校が0校、「実施していないができれば実施したい」と答えた学校が4校(0.6%)、無回答が661校であった。

	合計	実施しているし今後も実施したい	実施しているが今は取りやめたい	実施していないができれば実施したい	無回答
回答校数	687	22		4	661
%	100.0	3.2	-	0.6	96.2

表1-10 その他

「実施しているし今後も実施したい」と答えた学校は22校で、そのうち具体的な記載があった19校では、関連団体や協会等実施の研修派遣、海外関連学校への派遣、高校への派遣、整形外科への派遣、直属サロン店にての研修などの実例が挙げられていた。そのほかにも研修費の支給、学会等への出席、大学院での研究を奨励など、研究を認めているという記載もあった。また「実施していないができれば実施したい」と答えた学校では、コンピテンシー研究というものがあった。

### ⑧「その他」

#### <実施しているし今後も実施したい>と回答した学校の記載内容

- **派遣等**：国土交通省及び関連団体、協会実施の研修派遣、学術団体の勉強会で研修、海外関連学校への派遣研修、整形外科医院への派遣（1名）、直属サロン店にての研修
- **他校等との連携等**：他の同一分野専門学校と合同研修、他校への研修会への参加
- **研究の奨励等**：学会費・研修会費を含む一定限度内の費用支給、資格取得費用を援助、大学院等での研究を推奨、又、そのための勤務体制を配慮、施設の研究活動支援
- **自己点検・評価の実践**：全教員に対し学生からの評価を实践
- **その他**：講師招聘の講演会等、教育方針・社会人としてのマナー他、特別講師を招聘、楽しい職場づくり研修、事例検討会、楽しい職場づくり研修、新任研修、カウンセリング研修、マネジメント研修ほか

#### <実施していないができれば実施したい>と回答した学校の記載内容

- **コンピテンシー研究**※

※ 人事評価制度において、業績優秀者が保有している能力のこと。業績優秀者の行動パターンから特性を抽出し、評価の具体的基準とする。

## 1-2 研修の内容について

この項目では、教員研修の具体的な内容について、①～⑫の項目に大別し、実施状況の調査を行った。各項目に対する回答状況を分析し、また、教育分野や教員数による傾向を探ることとした。

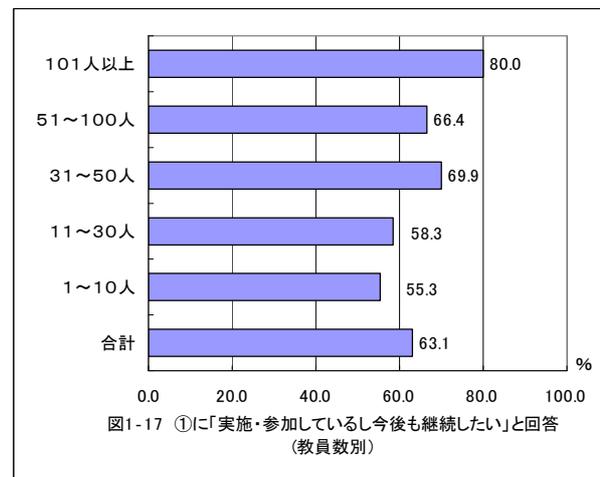
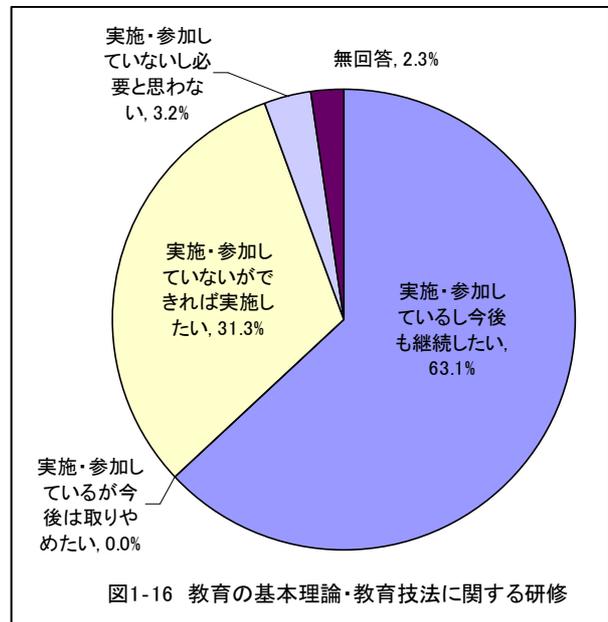
### ①教育の基本理論・教育技法に関する研修

「実施・参加しているし今後も継続したい」が63.1%、「実施・参加していないができれば実施したい」が31.3%と、全体の約95%が必要を感じているという結果であった。高い専門的知識や技能をいくら修得していても、学生に伝えるためには、教員としての指導力を別に学ぶ必要があると感じていることがわかる。

教員数が1～10人の学校で「実施・参加しているし今後も継続したい」と回答した学校では55.3%、11～30人の学校では58.3%と、全体における割合(63.1%)よりも低く、31人以上の学校では全体における割合より高くなっており、また、101人以上の教員を有する学校では80.0%が「実施・参加しており今後も継続したい」と回答している。

また、「実施・参加しているし今後も継続したい」と回答した学校のうち、85.2%の学校が設問A①「学内(同一法人、グループ校内)で研修を実施」においても「実施しているし、今後も実施したい」と回答している。今回の調査では学内研修制度の内容等については具体的な調査対象になっていないが、独自の学内研修制度のなかに「教育の基本理論・教育技法に関する研修」を取り入れていることが推測される。

また、設問Eの「意見・要望」には「専修学校教員としての実務的な研修(担任とは…や新任教員研修、3年目研修)を実施してほしい」という要望が寄せられた。「教育の基本理論・教育技法」に関する研修が新任教員に必要なのは当然のことであるが、段階的な研修、教員歴の長い教員の再研修も必要不可欠と考える。

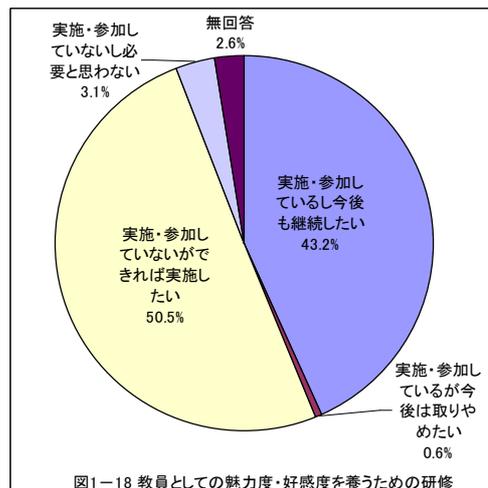


### ②教員としての魅力度・好感度を養うための研修

専門学校の教育内容を評価する指標として、退学率や資格取得率等が挙げられる。退学者を減らし、資格の取得率を上げるには、まずは授業(講義)への出席率をあげ、積極的に授業内容に取り組みさせることが最重要であり、そのためには教員の指導力のみならず、人間的魅力が不可欠であると考えられるが、実際の調査では「実施・参加しているし今後も継続したい」は43.2%と半分以下であった。

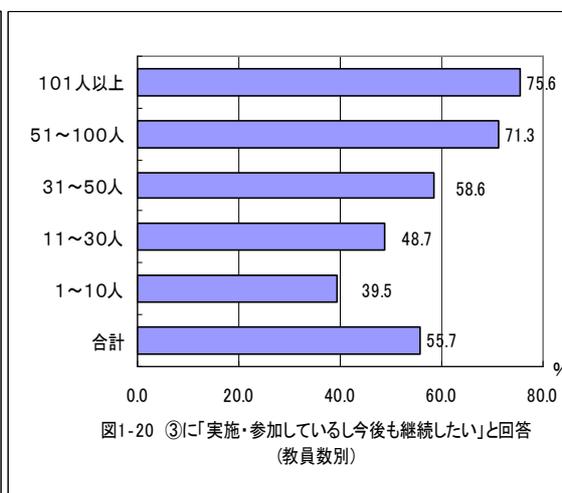
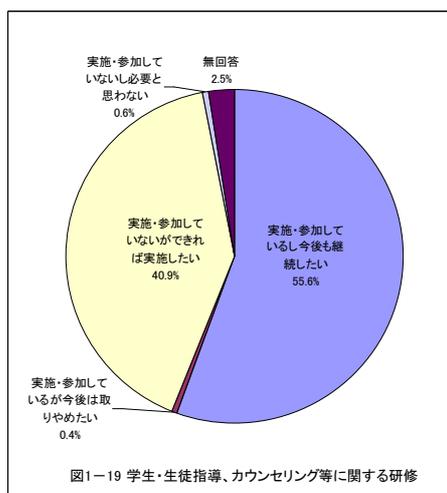
「参加していないができれば実施したい」は50.5%であり、大半の学校が必要を感じているという結果になった。研修の必要性を感じているが実際に研修に参加できない理由について明確にすることはできないが、教育者向けの研修としては、比較的新しい内容で、内容の浸透度や、研修機会が充分でないことが関係すると思われる。

また、①の「教育の基本理論・教育技法に関する研修」と同様に研修に参加する学校は教員数が多くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。



### ③学生・生徒指導、カウンセリング等に関する研修

学生・生徒の社会環境や生活環境の変化により、専門学校を卒業後、社会に通用する職業人を育成するには、専門的な知識・技能を履修する以前に、対人関係や社会への適応性などを養う必要があるなど、教員の役割が広くなりつつある。

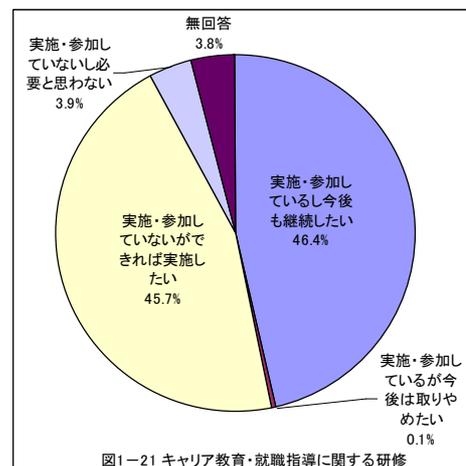


特にメンタル面を指導する機会や就職面での指導において、大規模校等では専門の部署（就職指導部・カウンセラー等）を設置している場合も多いが、一般的にはクラス担任や教員が指導しているのが現状である。調査では大規模校ほど研修の実施や参加している割合が高く、総体的には図1-19のように「実施・参加しているし今後も継続したい」が55.6%、「参加していないができれば実施したい」が40.9%と合計96.5%が必要としている。今回の調査では研修対象者が専門教員か一般教員か判断できないが、専門学校にとって重要な研修として認識していることが推測される。

### ④キャリア教育、就職指導に関する研修

専門学校の大半は実践的な職業教育を行っているため、キャリア教育・就職指導は非常に重要であり、学校の評価基準としても重要である。また、専門学校におけるキャリア教育・就職指導は、国家資格の指定養成施設等、カリキュラムそのものが資格の取得及びその先の職業と直結している学科もあれば、多くの職種で必要とされる内容を学習し、就職時に多種多様な職種の中から進路を選択する学科もあるため、教育範囲が広く、様々な形態が想定される。また、経済状況の悪化、雇用形態の多様化などの社会情勢等も加わり各学校も対応に苦慮していると推測される。

実際、「実施・参加しているし今後も継続したい」が46.4%、「実



「実施参加していないができれば実施したい」が45.6%と予想通りの結果高いニーズと必要性があると感じている。

特に商業実務分野では、キャリア教育・就職指導に関する実施・参加率が高い。これは、商業実務分野の学科では、就職先が4年制の大学と競合する機会が多いこととの関係が深いと推測される。今後も職種の違いや指導の方法等、また経済や社会の状況によってキャリア教育・就職指導の内容等は大きく左右されることが予想されるが、いずれにせよ重要であることは間違いない。また残念な結果として設問 D②においてCSM（キャリア・サポート・マインド養成）の研修を知らない学校が31.6%あることがわかり（p. 17 参照）、専教振として、専門学校に対する情報提供の方法等を改善する必要があると考えられる。

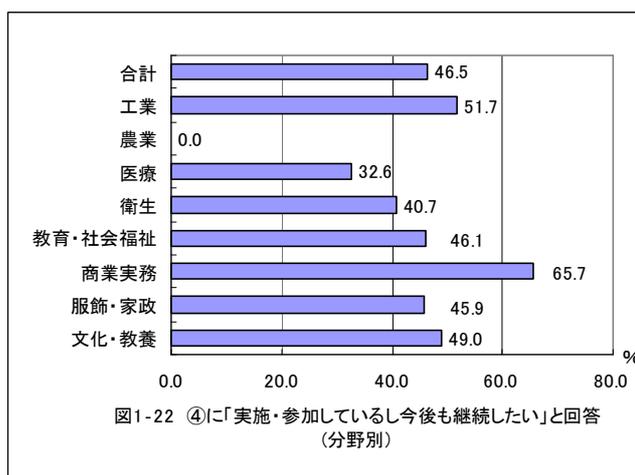


図1-22 ④に「実施・参加しているし今後も継続したい」と回答(分野別)

### ⑤専門分野の知識・技術・業界事情に関する研修

学校の専任教員になると、ともすれば業界の変化に徐々に遅れてくることがある。しかしながら、即戦力となる人材を育てる専門学校としては、専門分野に関する基礎力の育成とともに、常に最新の情報や動向を押さえる必要があり、継続的な専門分野の研修や情報収集は重要なことであると考えられる。調査の結果、農業、文化・教養分野以外では70%以上を示し、予測通り高い数値を示している。特に医療分野での85.9%は非常に高い実施率である。

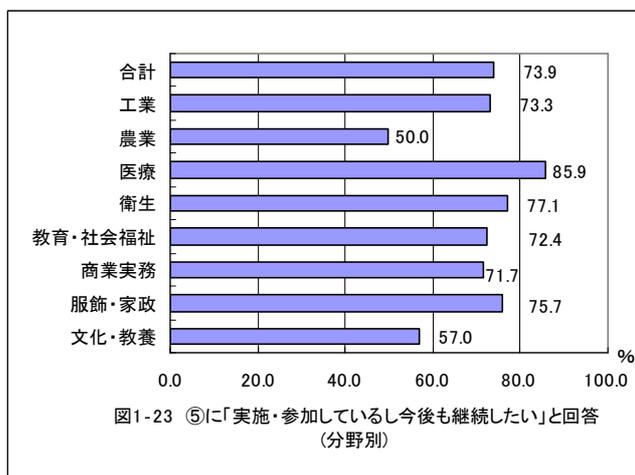


図1-23 ⑤に「実施・参加しているし今後も継続したい」と回答(分野別)

### ⑥危機管理に関する研修

専門学校も社会的な信頼を得るために情報公開を一層求められており、「学校評価及び評価結果の公表」が義務化され、今後は大学と同様に第三者評価

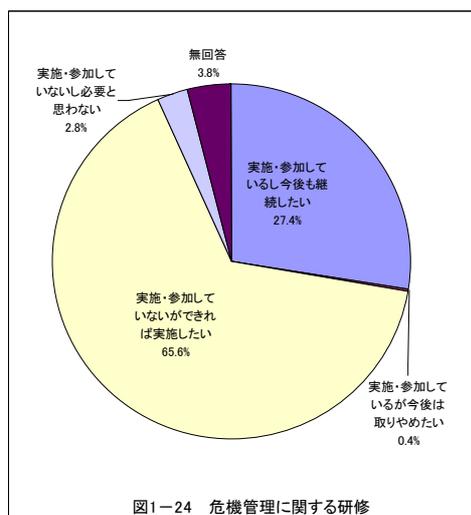


図1-24 危機管理に関する研修

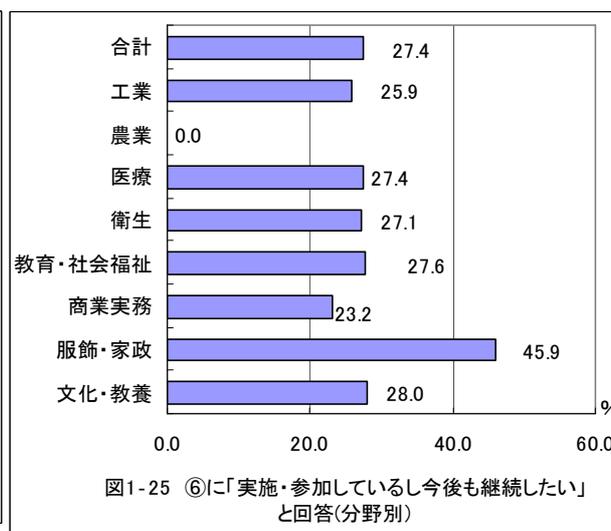


図1-25 ⑥に「実施・参加しているし今後も継続したい」と回答(分野別)

制度の導入も義務化を迫られることが予想される。学校運営についても理事長をはじめとする管理者の責任

は重くなるものと予測され、重要なテーマであると捉えて調査したが、危機管理に対する解釈が狭く捉えられたのか、研修を実施・参加している学校は27.4%と低い結果であった。また実施・参加しないし必要と思わないが2.8%を示した。服飾・家政分野では他の分野と比較して高い数値を示しており、危機管理に対する意識の高さを感じられた。

### ⑦保護者対応に関する研修

設問⑥の危機管理とも関連性がある内容である。保護者への対応研修は年々増加傾向にある。学校教育法の一部改正により、学校評価等の公開が義務化となり、情報提供に関する保護者の期待は益々高くなっている。そのようななかで、学生の保護者と直接交流する教員の対応力はますます重要となっており、専門の科目以外で、保護者対応能力を求められているのは間違いない。しかしながら、今回の調査結果では「実施・参加しているし今後も継続したい」が14.0%と低い数値を示している。また、「実施・参加しないし必要と思わない」が9.3%と1割近くに近づいている。理由は明らかではないが、実際に保護者対応に関して問題が生じないのか、もしくは既に保護者対応の体制が学校として整備されているのであろうか。

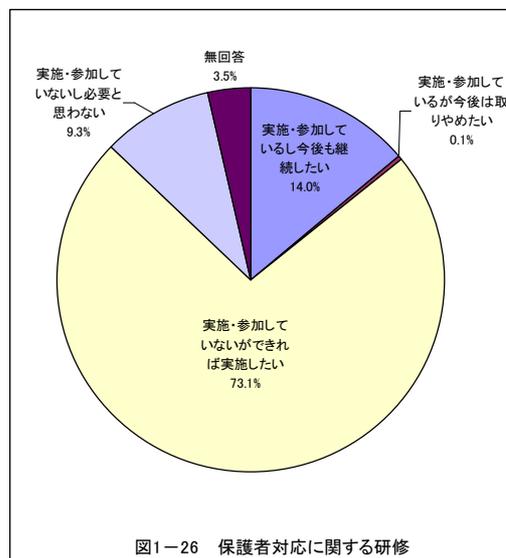


図1-26 保護者対応に関する研修

### ⑧コンピュータスキルに関する研修

コンピュータスキルの必要性は分野によって大きく異なることを調査の結果が示している。特に工業、商業実務、服飾・家政分野では40%台と高く、他の分野とは大きな開きがある。

教員数別に見ると、教員数が増えるほど「実施・参加しているし今後も実施したい」と回答が多い。これは、教員数の多い学校ほど教職員の日常業務自体がコンピュータにより管理・遂行され、教職員全体が一定レベル以上のコンピュータスキルを必要とされていることの表れなのではないかと思われる。

近年ではコンピュータの普及率が著しく、初等教育段階においても、コンピュータは活用されている。小学校からコンピュータスキルに関する学習がカリキュラムに組み込まれてきた学生生徒も専門学校に入学しはじめているし、既に多くの職業においてコンピュータの重要度は高く、ソフトウェアの発展や普及も日進月歩であることから、この種の研修の需要は常に失われることはなく、また内容は常に変化することが推測される。

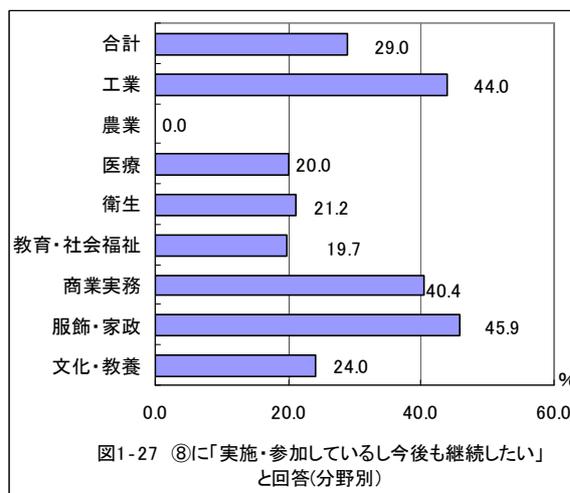


図1-27 ⑧に「実施・参加しているし今後も継続したい」と回答(分野別)

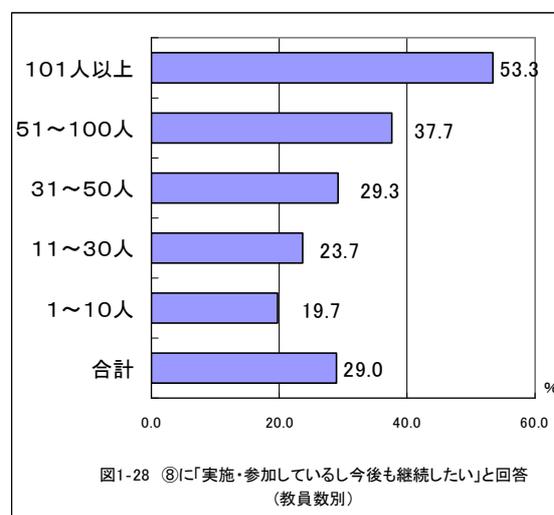


図1-28 ⑧に「実施・参加しているし今後も継続したい」と回答(教員数別)

### ⑨プレゼンテーションスキルに関する研修

基本的にどの分野の教員でも必要なスキルであることは調査の結果明らかであるが、教員の人数が多くなればなるほど「実施・参加しているし今後も継続したい」が多く、反対に教員数が1～10人の学校では10.5%の学校が必要と思わないと答えている。また「実施・参加していないができれば実施したい」は62.7%と大きな数値を示している。実施・参加できない理由としては、具体的な断定はできないが、自校の校内研修ではなく、外部の研修に参加する機会が多く、日程的な条件や費用的な問題で不参加となることが大きいのではないだろうか。また専門的な資格や知識とは異なり学校の運営上必要に迫られないため、優先順位が低くなり、教員自身の自己啓発に委ねている学校も多いかとも推測できる。

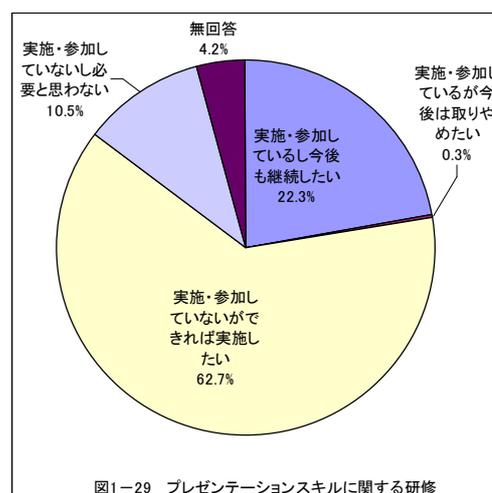


図1-29 プレゼンテーションスキルに関する研修

### ⑩発達障害・学習障害対応に関する研修

学生・生徒の学習指導するにあたり、現在明らかになっている障害について一定の知識を持つことが誤った指導に発展しないことにもなり、専門学校でも必要性が高まっていることが推測されたが、分野的には関係の深い医療分野の学校が20%にやっと届く程度の参加率であった。反対に必要と思わない分野は農業分野50%、衛生分野では31.4%と、分野により大きな認識の違いがある。人は学習する自由を憲法で保障されているが、実際に職業につくには越えなければいけない問題が多くあり、結果的に、社会の受け入れ態勢も大きなテーマである。

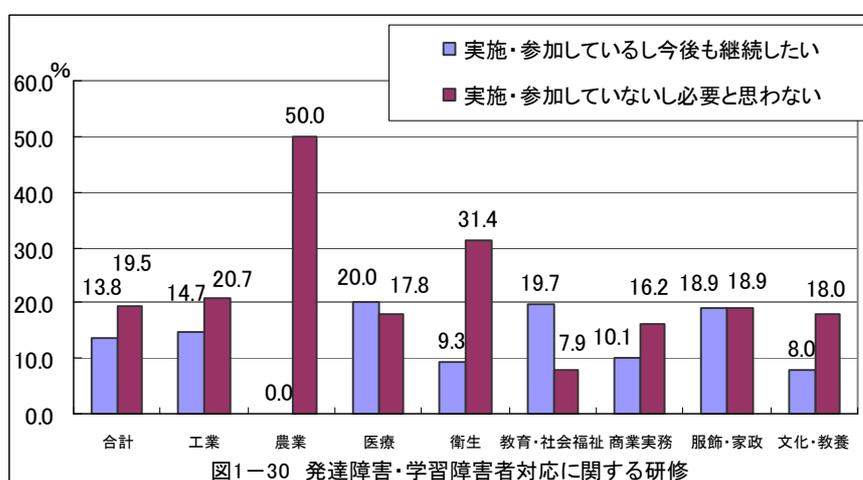


図1-30 発達障害・学習障害者対応に関する研修

### ⑪個人情報保護法に関する研修

個人情報扱うことの多い学校は必然的に研修をする必要に迫られていると推測する。特に教員人数の多い大規模校は学生管理がネットワーク環境で行われ、セキュリティーレベルも何段階に制約されたなかで運営されている。基本的には教員一人一人の責任が重く、個人情報に関する保険を掛ける学校もある。調査の結果、分野間では大きな違いは現れていないが、やはり、教員数の多い学校では「実施・参加しているし今後も継続したい」が高い数値を示している。

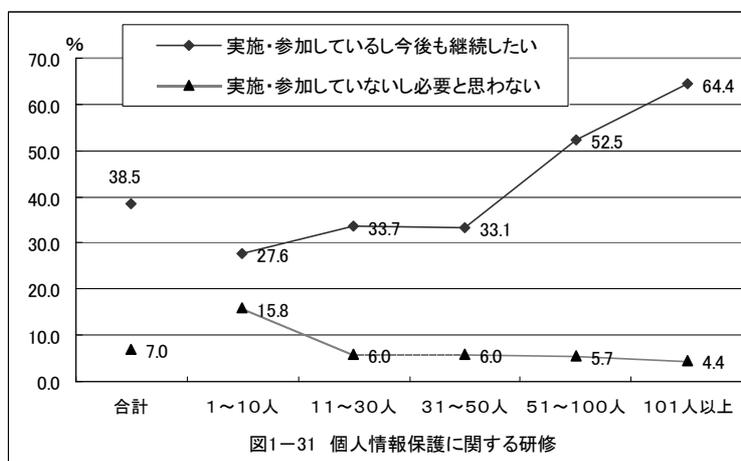
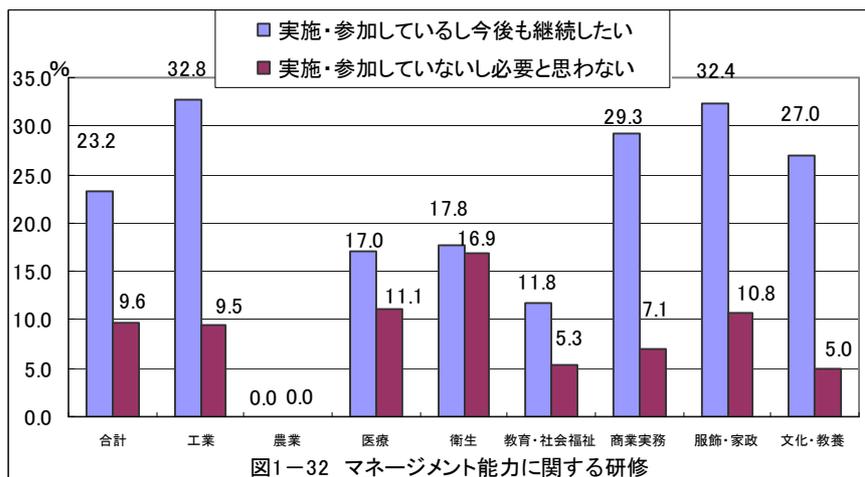


図1-31 個人情報保護に関する研修

## ⑫マネージメント能力に関する研修

少子高齢化の時代を迎え年々学校経営が難しくなり、管理職として学校運営は重要な業務となる。そのような背景からか、この調査項目について興味深い結果が出てきている。「実施・参加しているし今後も継続したい」は、医療分野では17.0%、衛生分野では17.8%、教育・社会福祉11.8%と低く、反対に工業分野32.8%、服飾・家政32.4%、商業実務分野29.3%



と高い数値を示している。また、「実施・参加していないし必要としない」も反比例している。分野ごとの経営状況の表れのひとつと考えられる。

## ⑬その他

その他については大半が無回答であった。少数の意見には学校の運営についての内容があり、なかでも「コンピテンシー取り組み」について複数の記載があった。今後、教員の業務内容の評価の仕方（能力や実績等の評価方法）について、新たな取り組みを実施しようとしていることがわかる。また、関連して、採用基準や方法についても変化が現れ就業規則や給与規定等の見直しも今後には予測されてくる。

また、研修内容について記載があった内容は下記の通りである。社会状況に適用するために各学校が努力していることがわかる。

### <参加・受講しているし、今後も継続したい>との回答

- ・ 教員養成研修
- ・ 就職先開拓をいかにするか、個人情報をごくまで守れるか
- ・ 県内専門学校による研修
- ・ 新入教員研修
- ・ 地元大手農家との市場開発研究と実践
- ・ 財務関係研修
- ・ セクシャルハラスメント研修
- ・ リーダー研修等
- ・ 管理職マネージメント研修
- ・ 厚生労働省と（財）医療研修推進財団との共催による「理学療法士作業療法士施設等教員講習会」
- ・ 新入教員研修
- ・ マネージメント研修

### <参加・受講していないができれば参加したい>との回答

- ・ コンピテンシー取り組み
- ・ 募集活動

### 1-3 研修の実態について

この設問では、実際に研修を実施している学校の、研修対象者、費用、期間等の実体について問い、618校より回答が得られた。それぞれの問いに対する回答傾向を分析するとともに、教育分野や教員数による差異についても考察したい。

#### C-1 研修受講対象者について

「教員全員」との回答が最も多く、319校（51.6%）にのぼった。ついで、「研修受講を希望する教員」が218校（35.3%）、「新卒採用者（新入教員研修）」が、78校（12.6%）、「中途採用者（新入教員研修）」が53校（8.6%）、「その他」が42校

（4.5%）であった。なお、「教員全員」と、それ以外の設問では重複を認めていないが、それ以外の組み合わせでは重複回答を認めている。

	回答校数	教員全員	新卒採用者	中途採用者	研修受講を希望する教員	その他	無回答
合計	618	319	78	53	218	42	28
%	100.0	51.6	12.6	8.6	35.3	6.8	4.5

表1-11 研修受講対象者

「その他」の具体的内容は、「必要に応じて指名」等、学校が研修内容に応じて受講が適当と判断した教員を指名・選出するケースが最も多く、次に多かったのが、「採用後、規定の年数が経過した時点」「教員として5～10年」「役職者以上」「等級研修」等、年次や役職を規定して研修を実施しているという回答であった。

分野ごとの特徴としては、「教員全員」という回答は、医療分野では61.0%と高い。商業実務分野では「教員全員に毎年何らかの研修機会を設けている」は42.9%と低い、「新卒採用者（新入教員研修）」が23.1%、「中途採用者」が14.3%と、新入教員研修の実施率が高い。

教員数から学校規模ごとの傾向をみると、教員数が51～100人では「教員全員」が46.9%と低い。教員数51～100人では、「新卒採用者（新入教員研修）」が19.5%、「中途採用者（新入教員研修）」が12.4%、「その他」が14.2%と高いことから、教員として採用後、段階的な研修を実施していることが推測される。また、101人以上の教員を抱える学校では、「教員全員」との回答が65.1%と多い。

#### C-2 研修対象者一人当たりの1年間の学校負担研修費用（宿泊費・交通費等を含む。平均値）

10,001～30,000円という回答が最も多く、25.1%にのぼる。ついで、30,001～50,000円が20.6%、50,001円から100,000円が19.4%であった。

	回答校数	0～5,000円	5,001～10,000円	10,001～30,000円	30,001～50,000円	50,001～100,000円	100,001円以上	無回答
合計	618	62	71	155	127	120	41	42
%	100.0	10.0	11.5	25.1	20.6	19.4	6.6	6.8

表1-12 研修費用

分野ごとの傾向では、医療分野は研修費用が高く、50,001～100,000円が38.2%、100,001円以上が12.2%である。商業実務分野、文化・教養分野は、研修にかかる費用が平均より低いこともわかる。

	0～5,000円	5,001～10,000円	10,001～30,000円	30,001～50,000円	50,001～100,000円	100,001円以上	無回答
全体	10.0	11.5	25.1	20.6	19.3	6.6	6.8
工業	12.3	16.0	22.6	25.5	14.2	5.7	3.8
農業	-	100.0	-	-	-	-	-
医療	3.3	2.4	19.5	18.7	38.2	12.2	5.7
衛生	6.7	9.5	24.8	22.9	21.0	8.6	6.7
教育・社会福祉	7.1	7.1	28.6	24.3	17.1	5.7	10.0
商業実務	15.4	17.6	30.8	15.4	9.9	2.2	8.8
服飾・家政	6.1	21.2	30.3	27.3	6.1	3.0	6.1
文化・教養	18.8	12.9	25.9	15.3	14.1	4.7	8.2

表1-13 分野別研修費用割合(単位:%)

### C-3 研修対象者一人当たりの1年間の研修日数（平均値）

研修日数については1～7日が最も多く、全体の81.6%を占める。ついで、8～14日が9.4%であった。逆に言うと、全体の1割以上の学校では、1年間で1週間以上を研修時間に費やしているということがわかる。

分野ごとにみると、医療、教育・社会福祉では1～7日の割合が少なく、それ以上の項目では押し並べて平均より多く、他分野より研修に多くの日数をかけていることがわかる。

教員数で比較すると、1～7日と回答している学校の割合は、教員数が少ない学校ほど高くなっており、当然のことであるが、教員数の少ない学校ほど、研修に割ける時間が短いことがわかる。

	回答校数	1日～7日	8日～14日	15日～1ヶ月	1ヶ月を超える	無回答
合計	618	504	58	20	8	28
%	100.0	81.6	9.4	3.2	1.3	4.5

表1-14 研修日数

	1日～7日	8日～14日	15日～1ヶ月	1ヶ月を超える	無回答
全体	81.5	9.4	3.2	1.3	4.5
工業	91.5	4.7	0.9	-	2.8
農業	100.0	-	-	-	-
医療	69.9	14.6	6.5	4.9	4.1
衛生	79.0	12.4	1.9	1.0	5.7
教育・社会福祉	71.4	12.9	5.7	1.4	8.6
商業実務	91.2	4.4	2.2	-	2.2
服飾・家政	87.9	3.0	3.0	-	6.1
文化・教養	84.7	8.2	2.4	-	4.7

表1-15 研修日数・分野別割合（%）

	1日～7日	8日～14日	15日～1ヶ月	1ヶ月を超える	無回答
全体	81.5	9.4	3.2	1.3	4.5
1～10人	90.9	3.0	-	-	6.1
11～30人	81.7	9.2	3.1	1.5	4.6
31～50人	82.1	6.5	6.5	2.4	2.4
51～100人	80.5	9.7	2.7	0.9	6.2
101人以上	67.4	27.9	2.3	-	2.3

表1-16 研修日数・教員別割合（%）

### C-4 研修の主催団体

この設問では、参加している研修の主催団体を尋ねた。なお、重複解答を認めているため、それぞれの割合の合計は、100%にはならない。

全体では、学内研修が最も多く、次に「その他」が多くなっている。しかし、分野ごとに見ると、それぞれの特徴が現れる結果となった。

	学内	各都道府県専修学校協会等	分野別専門部会等	その他	無回答
全体	56.4	46.2	46.0	53.8	5.8
工業	59.4	57.5	36.8	65.1	1.9
農業	-	-	-	100.0	-
医療	43.1	37.4	66.7	65.0	4.9
衛生	48.6	43.8	46.7	57.1	7.6
教育・社会福祉	55.7	44.3	58.6	41.4	10.0
商業実務	69.2	50.5	37.4	36.3	3.3
服飾・家政	39.4	75.8	60.6	57.6	3.0
文化・教養	77.6	35.3	22.4	47.1	8.2

表1-17 研修主催団体・分野別割合（%）

工業分野では、分野別専門部会等以外の

全ての項目で全体よりも高い値を示しており、学内、及び様々な団体の研修を取り上げていることがわかる。また、「その他」に該当すると思われる団体名は企業名が挙げられているものが多かった。

医療、衛生の分野では、学内、及び各都道府県専修学校協会等の割合が低く、分野別専門部会等と「その他」が高くなっており、団体名では学会、各専門協会が多かった。また、病院等施設、菓子店などの回答も多くみられ、学校と各地域の産業・企業等とのつながりの深さがよく表れているといえよう。

教育・社会福祉分野では、「その他」が少なく、分野別専門部会等が多い。団体名としては、やはり学会、各専門協会が多かった。

商業実務分野は、学内、各都道府県専修学校協会等が多く、分野別専門部会等及び「その他」が少なかった。団体名の記述は、各専門部会が多かったが、商工会議所、寺院との回答もあった。

服飾分野では、学内が少なく、それ以外が多かった。また、各都道府県専修学校協会等は、突出して多い。

文化・教養分野では、学内研修が抜き目出で多く、分野別専門部会等が非常に少ない。また、各都道府県協会等との回答も少なかった。記述された団体名は、地元大学での講義に参加、という回答があった。

農業分野は、回答数が1校だったため、回答の分析は避けることとする。

## 1-4 専教振の行う研修事業

この設問では、財団法人専修学校教育振興会が実施する研修会に関する認知度、及び参加度を尋ねた。各設問に対する分析を個々に述べた上で、全体に関する問題を取り上げていくこととする。

### ①新任教員研修（実施は各都道府県等）

「知っているが参加したことはない」が333校、48.5%と約半数ある。「知らない」と合わせると686校中463校で、67.5%になる。

理由は、新任教員研修を実施していない支部がかなりあること、新任教員研修を受講していなくても専修学校教員になることができることなどによると考えられる。各都道府県協会への改訂されたカリキュラムの内容の理解も含めて、さらなる周知が必要である。

分野別に見ると、服飾・家政分野の専修学校の参加率が高くなっているが、各都道府県における新任教員研修が、創設時より、服飾系の専修学校が主体となって実施されてきているためと推察できる。

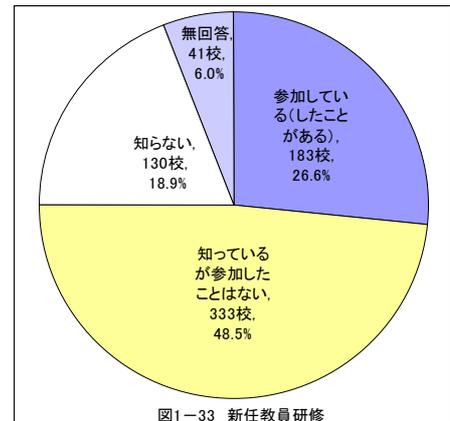


図1-33 新任教員研修

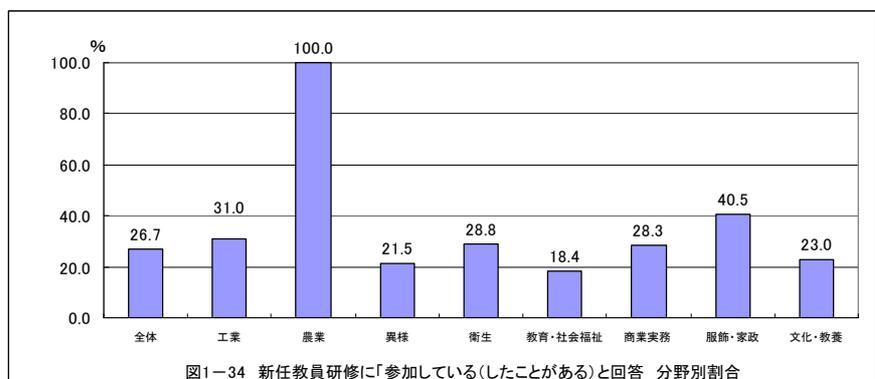


図1-34 新任教員研修に「参加している(したことがある)」と回答 分野別割合

### ②CSM（キャリア・サポート・マインド養成）講座

この研修が開始されてからの期間が浅いため、「参加している(したことがある)」が80校11.6%と非常に少ないし、「知らない」が31.6%で、研修の知名度および理解度が薄い。最近の専修学校生のキャリアに関する悩みに対する解決への認識、また、カウンセリングのプロではないにせよ、教員が一定のカウンセリング力を持つことの必要性を認識させる必要がある。

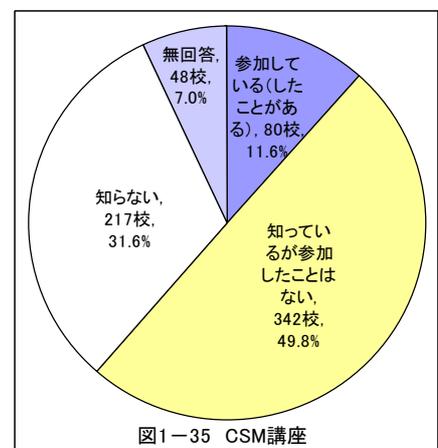


図1-35 CSM講座

### ③管理者研修会（校長・教頭研修会）

専修学校の経営者および幹部向けの研修であるため、「参加している(したことがある)」は24.1%で、他の研修と比較すると高い方ではあるが、「知っているが参加したことはない」が52.5%と、半数を超えている。この研修のテーマは、専修学校の運営・経営に関してその時々的重要なテーマを設定しているが、関心の低さは、課題である。

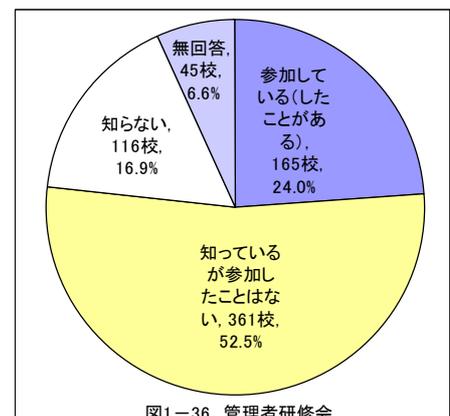
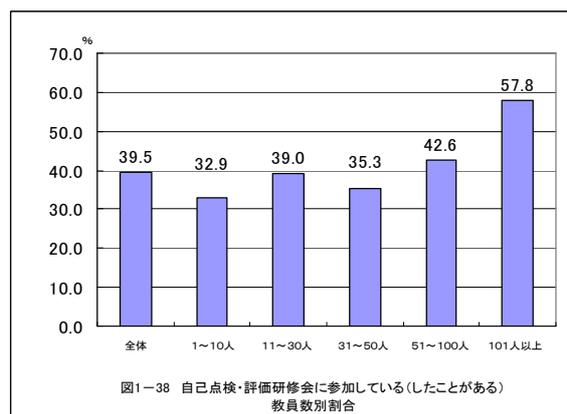
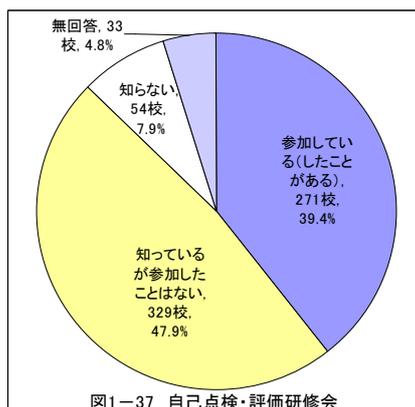


図1-36 管理者研修会

#### ④自己点検・評価（学校評価等）研修会

「参加している（したことがある）」が39.5%で、専教振が実施している研修では、最も高い参加率である。それでも過半数には及ばない。「知らない」が7.9%と低いので、この研修の



周知は行き届いてはいると考えられる。大学をはじめとして専修学校においても、自己点検・自己評価の必要性が叫ばれているが、約半数の学校が自己点検・評価への取り組みにはいまだ消極的であるか、もしくは既に自校の自己点検・評価システムが完成しているのであろうか。

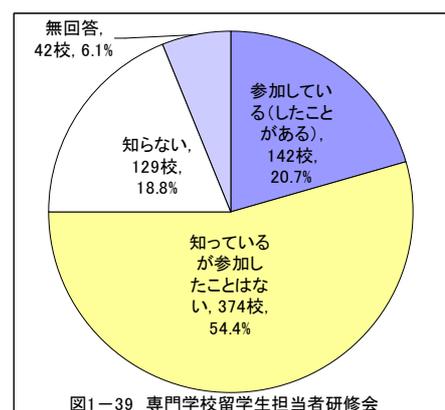
101人以上の学校の参加率が高いのは、大規模の学校における自己点検・評価の導入への関心が高いからであると推察される。

#### ⑤専門学校留学生担当者研修会

全国学校法人立専門学校協会の行った「平成20年度専門学校留学生受け入れ実態調査」によると、回答校1,496校のうち、留学生を受け入れている専門学校は412校(27.5%)であり、調査票を発送した2,296校のうち、回答を寄せなかった800校が留学生を受け入れていないと仮定すると、留学生を受け入れている専門学校の割合は17.9%となる。

近年専修学校においても留学生の受け入れが増加しているものの、実際に受け入れている学校の状況から考えると「参加している（したことがある）」の20.7%は妥当かもしれない。

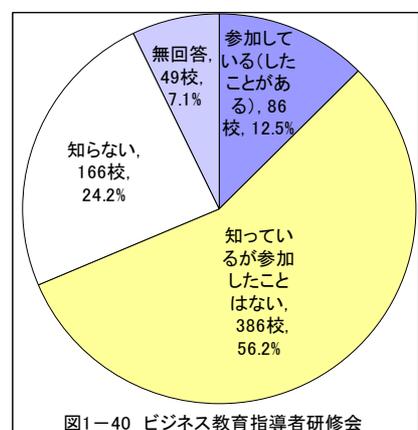
101人以上の学校の参加率がやや高いのは、当該学校における留学生の受け入れが増加しているからと思われる。



#### ⑥ビジネス教育指導者研修会

専修学校では、分野にかかわらずビジネス能力が必要であることから「ビジネス能力検定試験」が実施されている。また、ビジネス能力を養成する教育指導者の養成を目的として、「ビジネス教育指導者研修」が実施されている。14年前から実施されているが、参加率が低い。実施時期、期間(2泊3日)、研修費用等の問題か、あるいはビジネス教育への関心の低さが原因か「知っているが参加したことはない」が56.2%と高い。また、参加校が固定していて、あまり増加しない傾向にある。「知らない」も24.2%と、過去14年も実施しているにもかかわらず高いのは、課題である。

商業実務分野の学校の参加率がやや高いのは、当該分野におけるビジネス能力検定試験への取り組みが活発で、ビジネス能力に関する関心が高いからと思われる。



### ⑦ビジネス教育事例発表会

ビジネス教育指導者研修会と合わせて、ビジネス教育を取り入れるため、およびビジネス教育の進め方（ビジネス授業の運営も含めて）等事例を発表している。この研修も14年実施しているが、「参加している（したことがある）」が少ない。「知っているが参加したことはない」および「知らない」の率が高いのは課題である。

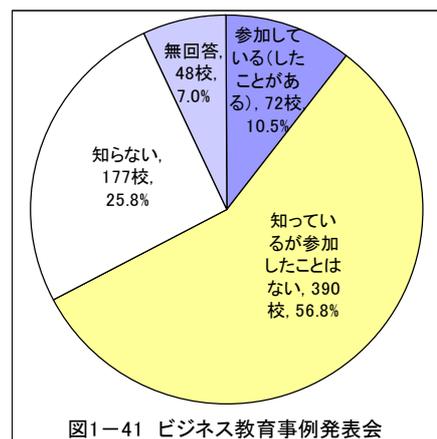


図1-41 ビジネス教育事例発表会

### ⑧ビジネス教育「教員と講師のための研修会」

ビジネス教育に当たる教員・講師のために、毎年十数箇所の都道府県支部で実施している。この研修も「参加している（したことがある）」が低い。「知っているが参加したことはない」が54.4%、「知らない」が28.7%であり、関心が薄いのであろうかと考えられる。

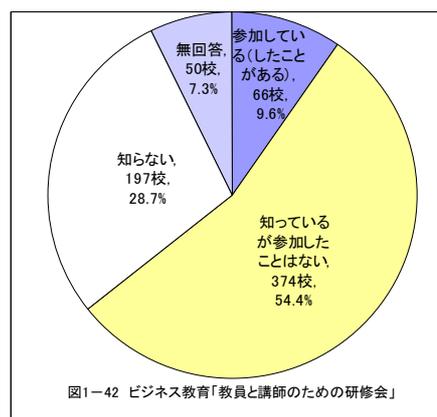


図1-42 ビジネス教育「教員と講師のための研修会」

### ⑨情報教育指導者研修会

「知っているが参加したことはない」が56.2%、「知らない」が27.8%で参加率が最も低い研修である。ある程度情報教育が浸透・定着し、関心が薄れたことも参加率が低い一因があるのだろうか。

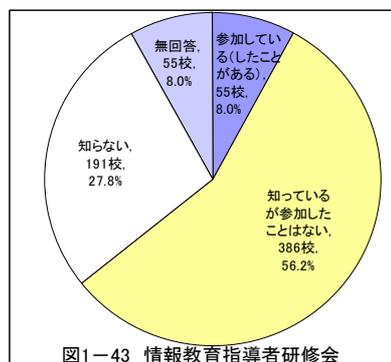


図1-43 情報教育指導者研修会

工業分野の学校の参加率が低いのは、気にかかる場所である。

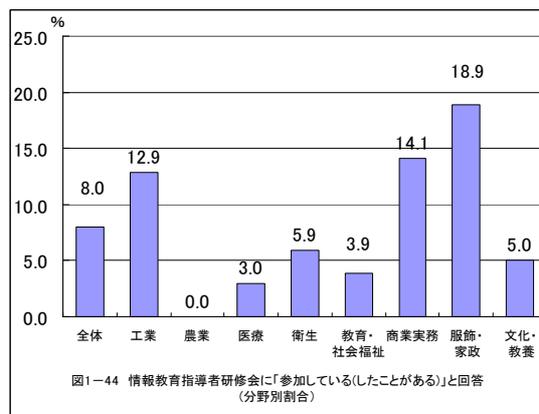


図1-44 情報教育指導者研修会に「参加している(したことがある)」と回答(分野別割合)

全般的に専教振の研修への関心が薄く、参加が積極的であるとは言えない。

いずれの研修にも「知らない」の率が高いことは、情報の伝達方法に問題があるかもしれない。学校に来るDMの数が多く、受け取った教職員が無関心で機械的に捨ててしまっているのかもしれない。専教振としても、それぞれの研修の重要性・必要性をもっと強く訴える必要があるとともに、専修学校教育の資質向上に資する財団法人として、情報提供の方法等を再検討する必要がある。

大学全入時代を迎え、専修学校の存続のためには、教育の質をさらに向上させることは大変重要である。そのため、教員の質の向上が大切であり、研修の周知徹底を図り、積極的な参加を呼びかけるべきであろう。また、研修内容に関しても、時代の要請に応えるべく、内容の刷新や、研修方法のあり方の再検討をこれまで以上に積極的に行い、またその情報を、各専修学校にむけて、的確に伝達する必要がある。

## 1-5 意見・要望

85件のご意見・ご要望が寄せられ、実際の教育現場における、様々な検討課題を浮かび上がらせる結果となった。そのうち、設問Aから設問Dまでに関連するものは前項までの考察と若干重複する部分もあるが、以下に主だった意見・要望を以下の7つのカテゴリーに分け、考察する。

### (1) 研修の意義、積極参加の希望等 (10件)

教育の質の向上、企業が求める人材の育成のために研修は必要であるという回答が寄せられた。また、学生の満足度や、教員の自己啓発のための研修について向上させたいという意見もあった。

### (2) 研修内容に関する意見・要望 (21件)

概念的な講義だけではなく、実践的な内容や具体論を求める意見、グループ討論、教員同士の意見交換等を求める意見、1年目研修・3年目研修など段階的な研修を求める意見が寄せられた。また、学生カウンセリングや専門分野に関する研修など、個別の内容を具体的に求める意見もあった。

### (3) 開催地域・期間等に関する意見・要望 (22件)

地方開催、通常授業に支障のない期間・時間帯での実施を求める声が寄せられた。移動にかかる費用や時間等のために、地方の学校は研修が受講しにくいことが明らかになった。また、「新任教員研修が2~3月の新学期直前にあることが望ましい」等、学校のスケジュールに適合した研修日程設定の要望も挙げられた。

### (4) 情報提供に関する意見・要望 (7件)

新設校に対する情報提供の要望が多く寄せられた。また、専教振の実施している研修活動を知らなかったので情報提供してほしいという要望も寄せられた。研修活動の情報提供が行き渡るような方策を検討するとともに、新設校についても、情報提供が可能となる方法を探っていく必要がある。

### (5) 専教振の実施する研修に関する意見・要望等 (12件)

前述のように、「知らなかった」という意見も寄せられているが、既に参加している学校からは、内容に関する評価や、今後も積極的に活用していきたいという声が寄せられた。また、地方ごとの開催を求める声も寄せられた。個別の研修については、CSM講座について、その重要性とともに、各ブロックでの開催を希望する声が寄せられた。

### (6) 補助等に関する要望 (4件)

予算的な問題で、受講したいと思ってもなかなか受講がかなわない、または、本来的にはもっと多くの教員を研修に参加させたいという声が寄せられ、専修学校教員が研修を受講する際の補助金の支給、また、その実現のための関係省庁等への働きかけなどを求める要望があった。職業教育の重要性が再認識されている現代社会において、今後専修学校の社会的役割はますます重要となることは必然であり、その教育内容の向上のために、国は戦略的に資金を投入する必要があることを、さらに訴えていく必要がある。

### (7) 専修学校における研修受講の実態等 (9件)

上記(1)~(7)とも大いに関係するが、積極的に研修を受講させたいが、時間的、または予算的になかなか難しいことなどが、マイナス要因として挙げられていた。研修会場が大都市に集中しているため、特に地方の小規模の専修学校では、時間的、予算的に厳しいという地域格差が明確となり、地域の産業、職業人を育成する上でも、補助等の充実が求められることとなる。

また「新人に対しては厳しいワークショップを課している」「小規模な教育機関のため、費用を負担し学外の研修に積極的に参加させている」等、実施している研修の内容等について具体例を記載した学校もあった。

いずれの意見も、研修を通して教員の資質向上に真摯に取り組んでいる専修学校の現状や切実な要望を鮮明にするものであった。

平成20年度 研修活動に関するアンケート調査<理事長・学校長・教務ご担当者対象>調査票

文部科学省補助事業

1/2 ページ

平成20年度 研修活動に関するアンケート調査<理事長・学校長・教務ご担当者対象>

※お手数ですが、10月10日(金)必着で、(財)専修学校教育振興会までFAX(03-3230-2688)、e-mail(kenshu@sgec.or.jp)、または郵送(〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館)にてご返送ください。

※数多く寄せられた質問への回答は、専教振ホームページのtopicsに掲載いたします。

■学校名・所在地等をご記入のうえ、該当番号に○印をお付けください(法人単位ではなく学校単位でご回答ください)

学校名	所在地			都道府県
◆複数分野を設置している場合は、学生数の一番多い分野に○印をしてください				
教育分野	1 工業	2 農業	3 医療	4 衛生
	5 教育・社会福祉	6 商業実務	7 服飾・家政	8 文化・教養
教員数※1	1 1~10人	2 11~30人	3 31~50人	
	4 51~100人	5 101人以上		
記入者名			役職	
本研究の報告書内「調査協力校一覧」における学校名公表 1 公表可 2 公表不可 (学校名の公表・非公表に関らず、回答内容について個々の学校を特定できるような掲載はいたしません)				

※1 このアンケートでの「教員」の定義は、「授業を担当している者(非常勤を含む)」といたします。

■昨年度1年間における研修等の実施についてご回答ください

設問A <教員の資質向上に向けた取り組みについて>

以下の①~⑦について、1から4のうち、最も近い意見に○印をおつけください。また、①~⑦以外の取り組みを実施、または実施を検討している場合は、⑧の( )内に具体的な内容をご記入いただき、該当の1~3に○印をおつけください。

	実施しているし 今後も実施したい	実施しているが 今後は取りやめたい	実施していないが できれば実施したい	実施していないし 必要と思わない
① 学内(同一法人、グループ校内)で研修を実施	1	2	3	4
② 外部のセミナーや研修プログラムに派遣	1	2	3	4
③ 資格取得のための研修に派遣	1	2	3	4
④ 自己啓発を支援(研究費支給、研究休暇等)	1	2	3	4
⑤ 授業研究・研究発表会、公開授業等の実施	1	2	3	4
⑥ 大学・他の専門学校等への派遣研修	1	2	3	4
⑦ 企業への派遣研修や共同研究等の実施	1	2	3	4
⑧ その他( )	1	2	3	

設問B <研修の内容について>

以下の①~⑫について、1から4のうち、最も近い意見に○印をおつけください。また、①~⑫以外の内容について、すでに実施、または実施を検討している場合には、⑬の( )内に具体的な内容をご記入いただき、該当の1~3に○印をおつけください。

	実施・参加しているし 今後も継続したい	実施・参加しているが 今後は取りやめたい	実施・参加していないが できれば実施したい	実施・参加していないし 必要と思わない
① 教育の基本理論・教育技法に関する研修	1	2	3	4
② 教員としての魅力度・好感度を養うための研修	1	2	3	4
③ 学生・生徒指導、カウンセリングに関する研修	1	2	3	4
④ キャリア教育・就職指導に関する研修	1	2	3	4
⑤ 専門分野の知識・技術・業界事情に関する研修	1	2	3	4
⑥ 危機管理に関する研修(学校内事故・研修旅行事故等)	1	2	3	4
⑦ 保護者対応に関する研修	1	2	3	4
⑧ コンピュタスキルに関する研修	1	2	3	4
⑨ プレゼンテーションスキルに関する研修	1	2	3	4
⑩ 発達障害・学習障害対応に関する研修	1	2	3	4
⑪ 個人情報保護に関する研修	1	2	3	4
⑫ マネージメント能力に関する研修	1	2	3	4
⑬ その他( )	1	2	3	

設問C <研修の実態について>

「教員を対象にした研修を実施している、または教員を研修に派遣している学校」にのみお伺いします。  
実施・派遣をされていない場合は設問Dへお進みください。

C-1 研修対象者について、該当するものすべてに○印をおつけください。ただし、1とそれ以外は重複しません。

- 1 教員全員(全員に毎年何らかの研修機会を設けている)
- 2 新卒採用者(新入教員研修)
- 3 中途採用者(新入教員研修)
- 4 研修受講を希望する教員(採用年次に関わらない)
- 5 その他( )

C-2 研修対象者一人当たり学校が負担する1年間の研修費用(旅費・宿泊費含む)について、該当するもの1つに○印をおつけください。(平均値(概算)でご回答ください。)

- 1 0~5,000円
- 2 5,001~10,000円
- 3 10,001~30,000円
- 4 30,001~50,000円
- 5 50,001~100,000円
- 6 100,001円以上

C-3 研修対象者一人当たりの年間の研修日数(延べ日数)について、該当するもの1つに○印をおつけください。(平均値(概算)でご回答ください。)

- 1 1日~7日
- 2 8日~14日
- 3 15日~1ヶ月
- 4 1ヶ月を超える

C-4 参加している研修の主催団体について、該当するもの全てに○印をつけ、回答可能な範囲でご記入ください。なお、財団法人専修学校教育振興会が主催する研修についてはご記入不要です。

- 1 学内(同一法人・グループ校などを含む)
  - 2 各都道府県専修学校協会等
  - 3 分野別専門部会等
  - 4 その他(企業、団体等)
- } 回答可能な範囲で、以下に具体的な団体名をご記入ください

(具体的な団体名)

設問D <財団法人専修学校教育振興会の行う研修事業について>

以下の①~⑨について、1から3のうち、それぞれ該当するものひとつに○印をおつけください。

	参加している(したことがある)	知っているが参加したことはない	知らない
① 新任教員研修(実施は各都道府県協会等)	1	2	3
② CSM(キャリア・サポート・マインド養成)講座	1	2	3
③ 管理者研修会(校長・教頭研修会)	1	2	3
④ 自己点検・評価(学校評価等)研修会	1	2	3
⑤ 専門学校留学生担当者研修会	1	2	3
⑥ ビジネス教育指導者研修会	1	2	3
⑦ ビジネス教育事例発表会	1	2	3
⑧ ビジネス教育「教員と講師のための研修会」	1	2	3
⑨ 情報教育指導者研修会	1	2	3

設問E <研修に関する意見・要望>

教員研修に関するご意見・ご要望等を、ご自由にお書きください。

---



---



---



---

## 平成20年度 研修活動に関するアンケート調査<理事長・学校長・教務ご担当者対象>集計結果

### ■ 学校名・所在地等

#### 教育分野

	回答数	工業	農業	医療	衛生	教育・社会 福祉	商業実務	服飾・家政	文化・教養	無回答
合計	687	116	2	136	118	76	99	37	100	3
割合(%)	100.0	16.9	0.3	19.8	17.2	11.1	14.4	5.4	14.6	0.4

#### 教員数

	回答数	1~10人	11~30人	31~50人	51~100人	101人以上	無回答
合計	687	76	300	134	122	45	10
割合(%)	100.0	11.1	43.7	19.5	17.8	6.6	1.5

#### 学校名公表

	件数	公表可	公表不可	無回答
合計	687	481	137	69
割合(%)	100.0	70.0	19.9	10.0

### ■ 昨年度1年間における研修等の実施について

#### 設問A <教員の資質向上に向けた取り組みについて>

	回答数 割合(%)	実施しているし 今後も実施したい	実施しているが 今後は取りやめたい	実施していないが できれば実施したい	実施していないし 必要と思わない	無回答
学内で研修を実施	687 100.0	499 72.6	-	160 23.3	13 1.9	15 2.2
外部のセミナーや 研修プログラムに派遣	687 100.0	555 80.8	1 0.1	100 14.6	20 2.9	11 1.6
資格取得のための 研修に派遣	687 100.0	423 61.6	2 0.3	187 27.2	54 7.9	21 3.1
自己啓発を支援	687 100.0	299 43.5	3 0.4	295 42.9	70 10.2	20 2.9
授業研究・研究発表会、公 開授業等の実施	687 100.0	318 46.3	2 0.3	315 45.9	34 4.9	18 2.6
大学・他の専門学校等へ の派遣研修	687 100.0	131 19.1	2 0.3	397 57.8	130 18.9	27 3.9
企業への派遣研修や共同 研究等の実施	687 100.0	150 21.8	2 0.3	399 58.1	112 16.3	24 3.5
その他	687 100.0	22 3.2	-	4 0.6		661 96.2

設問B <研修の内容について>

	回答校数 割合(%)	実施・参加しているし 今後も継続したい	実施・参加しているが 今後は取りやめたい	実施・参加していないが できれば実施したい	実施・参加していないし 必要と思わない	無回答
教育の基本理論・教育技法に関する研修	687 100.0	433 63.0	-	216 31.4	22 3.2	16 2.3
教員としての魅力度・好感度を養うための研修	687 100.0	297 43.2	4 0.6	347 50.5	21 3.1	18 2.6
学生・生徒指導、カウンセリングに関する研修	687 100.0	382 55.6	3 0.4	281 40.9	4 0.6	17 2.5
キャリア教育・就職指導に関する研修	687 100.0	319 46.4	1 0.1	314 45.7	27 3.9	26 3.8
専門分野の知識・技術・業界事情に関する研修	687 100.0	508 73.9	1 0.1	160 23.3	8 1.2	10 1.5
危機管理に関する研修	687 100.0	188 27.4	3 0.4	451 65.6	19 2.8	26 3.8
保護者対応に関する研修	687 100.0	96 14.0	1 0.1	502 73.1	64 9.3	24 3.5
コンピュータスキルに関する研修	687 100.0	199 29.0	3 0.4	359 52.3	97 14.1	29 4.2
プレゼンテーションスキルに関する研修	687 100.0	153 22.3	2 0.3	431 62.7	72 10.5	29 4.2
発達障害・学習障害対応に関する研修	687 100.0	95 13.8	1 0.1	427 62.2	134 19.5	30 4.4
個人情報保護に関する研修	687 100.0	264 38.4	5 0.7	347 50.5	48 7.0	23 3.3
マネージメント能力に関する研修	687 100.0	159 23.1	-	433 63.0	66 9.6	29 4.2
その他	687 100.0	17 2.5	-	9 1.3	-	661 96.2

設問C <研修の実態について>

C-1 研修対象者について ※1以外は、重複回答を認める

	全体	教員全員	新卒採用者	中途採用者	研修受講を希望する教員	その他	無回答
回答数	618	319	78	53	218	42	28
割合(%)	100.0	51.6	12.6	8.6	35.3	6.8	4.5

C-2 1年間の研修費用

	全体	0~5000円	5001~10000円	10001~30000円	30001~50000円	50001~100000円	100001円以上	無回答
回答数	618	62	71	155	127	120	41	42
割合(%)	100.0	10.0	11.5	25.1	20.6	19.4	6.6	6.8

C-3 1年間の研修日数

	全体	1日~7日	8日~14日	15日~1ヶ月	1ヶ月を超える	無回答
回答数	618	504	58	20	8	28
割合(%)	100.0	81.6	9.4	3.2	1.3	4.5

C-4 参加している研修の主催団体

	全体	学内	各都道府県専修学校協会等	分業別専門部会等	その他	無回答
回答数	618	348	285	285	332	36
割合(%)	100.0	56.3	46.1	46.1	53.7	5.8

設問D <財団法人専修学校教育振興会の行う研修事業について>

	回答数 割合(%)	参加している (したことがある)	知っているが 参加したことはない	知らない	無回答
新任教員研修	687 100.0	183 26.6	333 48.5	130 18.9	41 6.0
CSM	687 100.0	80 11.6	342 49.8	217 31.6	48 7.0
管理者研修会	687 100.0	165 24.0	361 52.5	116 16.9	45 6.6
自己点検・評価研修会	687 100.0	271 39.4	329 47.9	54 7.9	33 4.8
専門学校留学生担当者研修会	687 100.0	142 20.7	374 54.4	129 18.8	42 6.1
ビジネス教育指導者研修会	687 100.0	86 12.5	386 56.2	166 24.2	49 7.1
ビジネス教育事例発表会	687 100.0	72 10.5	390 56.8	177 25.8	48 7.0
ビジネス教育「教員と講師のための研修会」	687 100.0	66 9.6	374 54.4	197 28.7	50 7.3
情報教育指導者研修会	687 100.0	55 8.0	386 56.2	191 27.8	55 8.0

## 設問E 意見・要望

### (工業)

- ・教育サービスを行う学校として、職員教育を行うことで高い質の良い教育が行われることにより、企業が求める人材の育成ができる。教職員教育は欠かせないものです。
- ・今後も教員研修を実施していきます。
- ・学生相談における学生カウンセリング（特に心身症等）の研修を望む。
- ・九州で研修会を実施してほしい。大阪までが多いように思う。
- ・地方での開催予定はあるか？
- ・大阪でも数多くの研修を安価でお願いしたい。
- ・研修が東京中心になるのは仕方ないですが、もう少し大阪での開催を増やしてほしいと思います。
- ・今年度、認可設立法人のため、把握していないことも多いと思うので、今後も情報提供をお願いしたい。
- ・貴会の研修会によく参加するよう指導しております。今後も有意義な研修を多く設定くださるようお願いいたします。
- ・専修学校教育振興会が提供している研修を知らなかった。今後利用したいので案内書などあれば入手したい。
- ・(財) 専修学校教育振興会の研修は初めて知った。今後積極的に利用したい。
- ・今後の学生に対する指導を考えたとき、現在実施されているCSM講座はますます重要性を持つことになると思うので、各ブロックで講座が開けるようにすることも考えたかと思っている。
- ・少子化等により学生数も減少して厳しい経営環境の中にあり、教職員の人員削減も余儀なくされている。従って人員的、時間的余裕が以前よりも減少してきており、中・長期に及ぶ研修参加、派遣研修が難しくなっています。その意味からも専修学校に対する補助金の早期支給をお願いしたいと感じています。関係官庁への交渉も今後もよろしくお願い致します。

### (医療)

- ・学校としての必要度、教員の感じる必要度、その時点での時間の有無などにより参加にいたるまでの道のりが変化するため、意義の高い研修でも参加できないことがあり、そのたびにもったいないと感じます。研修は大切と思う。
- ・教員研修に向けて組織として前向きに取り組む必要性をアンケートを通して実感した。
- ・教員の質の向上のため大切である。
- ・介護福祉士養成教育指導者研修会の開催を要望します。
- ・業種が違うので参加しにくい。
- ・長期の教員研修の参加人数を増やしていただきたい。
- ・姉妹校における研修実績を踏まえ、積極的に参加させていただきたいと思います。設問については、平成20年4月開校のため、該当ありません。
- ・(財) 専修学校教育振興会主催の各種研修会が開催されているが、ほとんど会場が東京及び大阪である。地方にて開催することを検討していただきたい。
- ・上記研修事業に関する情報を開催時期を含めて早期にいただきたい。
- ・学校の発展は教員の資質向上によるところが大きいため、予算の範囲内で工夫して派遣に努めたいと常々考えている。
- ・積極的に研修に参加し、教育者としての能力を高めてもらいたいが、十分な研修には時間的余裕があまりない現状である。
- ・必要性は感じていますが、人員削減等により、十分な検討段階に至らなかつたり時間が取れないことが現状です。小規模学校でどう対応されているか等が知りたいです。
- ・本学院は、小規模な教育機関であるので、学外での研修に積極的に参加させるための費用負担をしている。
- ・全教員に年1回の関連専門学会に研修参加（旅費宿泊費等学校負担）、厚生労働省主催理学療法士作業療法士教員長期講習会参加（主に新任教員）。

### (衛生)

- ・専修学校教員としての実務的な研修（担任とは…や新任教員研修、3年目研修）を実施してほしいです。教員のみならず、学校事務研修もあるといい。
  - ・生徒指導（現状の生徒への対応）についての研修をお願いしたいです。
  - ・専門分野に関する知識や技術を学べる機会を増やしていただきたい。
  - ・美容分野については厚労省が指定する日本理容美容教育センターの研修に参加させています。
  - ・教職員の専門知識のスキル向上につながる研修が組まれることを期待します。
  - ・どんな種類の研修に限らず、必要性には及びませんが、少人数の教員で手一杯の状況につき、なかなか参加が思うようにまかせられません。定員に満たない小規模校で、財政的に正直苦しく、公費で遠方への研修参加は現時点では難があります。
  - ・地方に居るため、研修会場が都心に限られていると参加しにくい。せめて地区ブロック（各県で開催されればなお良いが）で実施していただきたい。
  - ・地方でも研修会を行ってほしい。
  - ・教員としての資質を磨く幅広いスキルを身に付けさせるための研修には今後は積極的に参加させたい。
  - ・主要な研修の開催が東京・大阪に多いため、中部圏での実施も多くなるなど検討していただきたい。
  - ・東京で開催される研修が大半であり、なかなか参加が難しい。
  - ・地方での研修が短時間でできることや書類手続き上でも簡単にできることを望む。
  - ・当校、今年1月に専修学校の認可を受けました。今後研修会の案内の送付を希望致します。前向きに検討をして取り組みたいと思います。今後とも宜しくお願い致します。
  - ・本校は平成20年4月開校の新設校であるため、アンケートの各回答に関しては、開校後半年間の実施内容と平成21年3月までの実施予定をもとに記入しております。
  - ・平成20年4月より学校法人認可をいただき、まだまだ情報不足の状態です。他方面にわたりご迷惑をおかけいたしますが、情報提供とともにご指導いただければと思っております。よろしくお願いいたします。
  - ・財政的裏づけがないため、いかないことが多い。自費出張も少額の自己負担範囲で我慢している。
  - ・研修は重要であるが、小規模校のため、学内での研修しかできない。派遣可能な休暇中の研修も休みが少ないので、困難である。
  - ・「教員研修」そのものの役割は重要であり学校運営上欠いてはならないものであるが、学校の内情によって、なかなか参加・実施できないことがある。
- ### (教育・社会福祉)
- ・教員の資質向上につながる具体的な内容のある研修があれば、ぜひ参加したいと思います。
  - ・今後も可能な限り参加していきたい。
  - ・コンピュータスキル、プレゼンテーションスキルは、現在ですでに個々の領域である。

- ・各研修会の中には研修費が高額に及ぶものが多く、旅費との関係もあり、参加を遠慮することがある。地方に分散できないものか。
  - ・できる限り経費を落としたり、あるいは宿泊などをセットせず自由に選択する形で組むことを願いたい。
  - ・研修も大切であるが、時間的に調整が難しい。
  - ・昨年開校し、創立期にあたり、また単科のため、教員も少なく研修への時間が取れていません。また専門職研修の情報が少なかったです。今後は研修情報を集め、適宜希望者には受講させていきたい。
  - ・日本介護福祉教育学会に会員資格をもって参加する、また同協会中四国ブロックにおける研修会に参加するという機会が多いので、貴振興会の研修に参加するには、時間的・経済的に余剰がなく、全専各連四国ブロック大会のみ参加している状況である。
  - ・貴会主催の研修は、現専門学校の実情や問題を的確に把握されており、興味深いものばかりです。開催地が東京・大阪等大都市に集中しているのが少々残念です。
  - ・予算の都合で研修に行けない。補助があるとよいと思う。
- (商業実務)**
- ・学生の満足度を高めるためにどうすればよいか、また教員自らの改革(変革)や啓発のための研修は今後共に更に進化して実施してまいりたいと思っています。
  - ・機会がありましたら研修会に参加できればと思います。
  - ・学生募集対策に関する研修会も開催していただきたい。
  - ・研修内容において、グループ討論の時間を割いて欲しい。(各校の情報交換のきっかけとして、有効なため)
  - ・講師の見直しを!
  - ・上記は名古屋地区であれば参加できると思う。
  - ・研修会場が兵庫内又は大阪市内であることが望ましい。
  - ・講義のない時期(夏期休暇等)かつできるだけ近場での研修を実施していただきたい。
  - ・新任教員用研修が2~3月の新学期直前に設定があるとありがたい。
  - ・貴振興会で実施される研修は、私たち専門学校教職員にとって大変有益なものばかりです。いつも大変ありがたく受講させていただいております。一部、研修参加費用が発生するものにつきましては、少しでも安価になればと勝手ながらお願いいたします。
  - ・教員研修会に多数参加させたいが、予算が十分に無く、少人数しか参加させていないのが現状です。
- (服飾・家政)**
- ・今年4月開校のため、学校としての実績はありません。しかしグループ(東京校)経験者の教員が多いため、一部過去の実績も入っています。今後整備して、いろいろやっていきたいと思っています。
  - ・現在学校教育の中では、様々な問題を抱えている。学生気質の変化、メンタルケア等々。教員の育成も重要な課題となっている。ニーズに対応したテーマを設定して、活発な研修になることを期待します。
  - ・技術研修会への参加が大半であるため、今後は設問Dへの研修会への参加も行いたい。
  - ・理論や概念論に偏る傾向にあるので、教育現場で実践可能な具体論を重視する必要がある。
  - ・日常の業務、授業等の予定がありますので、年度初めに(おおよその)日程を教えてください、参加しやすいのではないかと存じます。
- (文化・教養)**
- ・研修には(1)教員としてのトレーニング(カウンセリング法・進路指導法・コンピュータスキル等)(2)専門分野のトレーニングがありますが、最近必要性を痛感するのは、組織中における自らの役割を理解し、主体的、効率的に動くためのビジネス研修です。
  - ・専門教育以外で教育として必要な事項は多く、校内での委員会、会議等で少し行っているが系統立てての指導・学習にはいたっていない状態です。専門(デザイン)のレベルアップが優先で、周辺の大切な部分が手薄です。また費用的にも余裕はないです。
  - ・高校及び高校生への生徒募集のノウハウ研修と高校側の専門学校への意識調査(高校の教員により大きな差異がある)
  - ・本学が仏教学専門の学校であるため、特殊な立場であると思われる。したがって一般的な研修ではなく専門的な学会等へ参加している。
  - ・やる気のある教育を学内で取り組む教員のための、身になる研修をお願いしたい。もっと参加しやすい内容をお願いしたい。
  - ・精神論的講演中心の研修よりも実践的研修(シュミレーションを用いた)が必要である。
  - ・通常の授業他の仕事に追われ、なかなか参加できない。
  - ・通常授業に重なるため、研修日程の時機を工夫していただきたい。
  - ・本年度新設校のため、まだ情報も乏しく、体制も整っていません。今後研修の体制整備を行っていきますが、そのためにも研修会等の情報を随時いただければ幸いです。
  - ・いつも本校職員に有用な研修をご提供いただきありがとうございます。
  - ・グループとして広範囲にわたり、研修を実施しております。(財)専修学校教育振興会の実施されている研修も必ず案内には目を通し、参考にさせていただきます。
  - ・今後ともよろしく願いいたします。
  - ・教員自身の自覚によるところが大きいと考えるが、特にベテランほど自身の研修には興味がないように見受けられる。
  - ・特に新人教員に対しては、授業運営、クラスマネジメント、教授法案の厳しいワークショップを課している。

## 2. 教員対象アンケート

### ●＜教員対象＞アンケートの集計結果について

＜教員対象＞アンケートに関しては、1校あたり5名までの教員より回答を募集し、回答数は1,753件であった。5名以上の回答を寄せた学校もあったが、集計結果の偏りを防ぐため5名までの回答のみを活かしたため、実際にご協力いただいた教員は、この数を上回る事となる。＜理事長・学校長・教務ご担当者対象＞（回答校数687校）と比較すると、実際に研修に対応する教員側の回答数は約2.5倍にのぼっている。

回答を寄せた総学校数は573校であり、＜理事長・学校長・教務ご担当者対象＞に回答した学校のうち、83.4%の学校が、＜教員対象＞アンケートにも回答を寄せていることになる。そのうちの123校から1校あたり5名の回答を得た。平均すると、1校あたりの回答者はおよそ3名となる。都道府県別回答校数は、東京都が最も多く77校、静岡県・愛知県が38校、北海道・大阪府・福岡県が34校、神奈川県が29校、広島県が21校、埼玉県・兵庫県が19校と続く。

都道府県名	回答校数	%	都道府県名	回答校数	%
東京都	77	13.4%	宮城県・茨城県・山口県・愛媛県・高知県	8	1.2%
静岡県・愛知県	38	6.6%	富山県・石川県・長野県・奈良県	7	1.0%
北海道・大阪府・福岡県	34	5.9%	福島県・岐阜県・沖縄県	6	0.9%
神奈川県	29	5.1%	青森県・島根県	5	0.7%
広島県	21	3.7%	岩手県・山梨県・三重県・大分県	4	0.5%
埼玉県・兵庫県	19	3.3%	栃木県・徳島県・香川県	3	0.5%
新潟県	18	3.1%	山形県・福井県・鳥取県・佐賀県・長崎県	2	0.3%
岡山県	16	2.8%	秋田県・和歌山県	1	0.2%
群馬県	15	2.6%	滋賀県	0	0.0%
千葉県	12	2.1%			
京都府・熊本県・宮崎県・鹿児島県	9	1.6%	合計	573	100.0%

表2-1 都道府県別回答校数

都道府県別回答件数（総回答数1,753件）は、回答校数と同様に東京都が最も多く256件（14.6%）、ついで愛知県の135件（7.7%）、福岡県の110件（6.3%）、静岡県・大阪府の106件（6.0%）、北海道の90件（5.1%）、神奈川県の82件（4.7%）、広島県の66件（3.8%）、新潟県の63件（3.6%）、岡山県の57件（3.3%）と続く。

都道府県名	回答数	%	都道府県名	回答数	%	都道府県名	回答数	%
東京都	256	14.6%	熊本県	30	1.7%	富山県	14	0.8%
愛知県	135	7.7%	長野県	29	1.7%	岩手県・長崎県	13	0.7%
福岡県	110	6.3%	宮崎県	28	1.6%	奈良県	11	0.6%
静岡県・大阪府	106	6.0%	石川県・島根県	26	1.5%	鳥取県	9	0.5%
北海道	90	5.1%	高知県	24	1.4%	三重県	8	0.5%
神奈川県	82	4.7%	宮城県・京都府	22	1.3%	栃木県・佐賀県	7	0.4%
広島県	66	3.8%	山口県	20	1.1%	徳島県	5	0.3%
新潟県	63	3.6%	福島県	20	1.1%	香川県	4	0.2%
岡山県	57	3.3%	山梨県	18	1.0%	福井県・和歌山県	2	0.1%
兵庫県	48	2.7%	大分県	17	1.0%	秋田県	1	0.1%
埼玉県	41	2.3%	岐阜県	16	0.9%	滋賀県	0	0.0%
群馬県・鹿児島県	38	2.2%	青森県・山形県・	15	0.9%			
千葉県・愛媛県	33	1.9%	茨城県・沖縄県			合計	1753	100.0%

表2-2 都道府県別回答件数

教育分野ごとの回答件数は、医療が最も多く425件（24.2%）、次いで工業が312件（17.8%）、教育・社会福祉が238件（13.6%）、衛生が236件（13.5%）、商業実務が217件（12.4%）、文化・教養が213件（12.2%）、服飾・家政が96件（5.5%）、農業が5件（0.3%）、無回答が11件（0.6%）であった。なお、複数分野を設置している場合は、学生数の一番多い分野をご回答いただいた。

＜理事長・学校長・教務ご担当者版＞（※p.2 参照）と比較すると、医療分野では、＜教員版＞に対する回答率が高い。他の分野では、工業、医療、教育・社会福祉の回答が若干多く、衛生、文化・教養、商業実務で若干少ないが、極端な差異は見られなかった。

回答者の教員歴については、5～10年未満が最も多く434名(24.8%)、次いで1～3年未満の273名(15.6%)、10～15年未満の249名(14.2%)、3～5年未満の242名(13.8%)、15～20年未満の188名(10.7%)、20～25年未満の142名(8.1%)、25年以上の101名(5.8%)、1年未満の96名(5.5%)無回答の28名(1.6%)であった。教員歴5～10年未満の教員24.7%を筆頭にして高く、経験値の増減によってほぼ山型になっている。

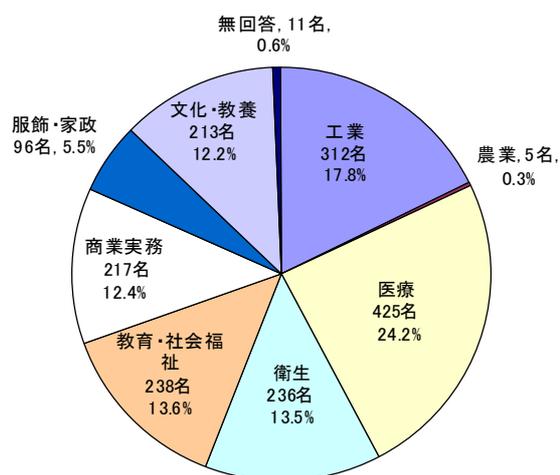


図2-1 分野別回答校数

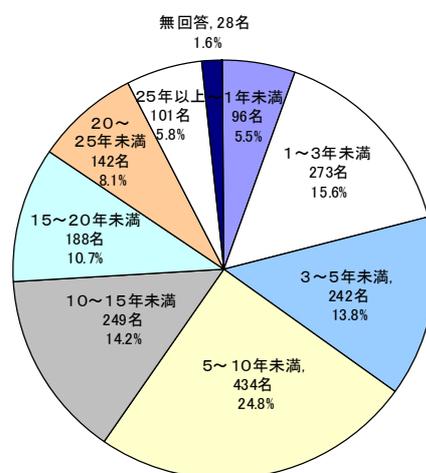


図2-2 回答者の教員歴

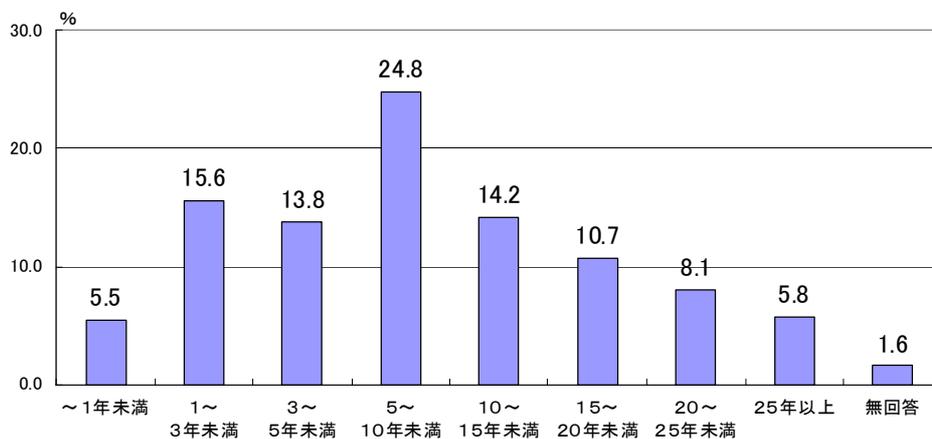


図2-3 回答者の教員歴・割合(%)

## 2-1 研修の内容について

この項目では、教員研修の具体的内容について、〈理事長・学校長・教務ご担当者対象〉における設問B①～⑫の項目と同様に大別し、受講・参加状況と、関心の高さについて調査を行った。

①から⑫まで研修内容の全体を見渡してみると、研修に「参加・受講していないができれば実施したい」という教員が、ほとんど、どの設問に対しても50%以上存在するということがわかった。このことは、現在は研修をしていないものに関しても、今後研修をやってみたいと希望・関心を持っている教員がいかに多くいるかを表わすものといえる。逆に、「参加・受講していないし必要とも思わない」と答えた教員が①③⑤を除いてどの研修にも20%前後いることがわかる。さすがに、③学生指導やカウンセリングに関する研修や⑤専門分野の知識・技術等に関する研修に関しては、必要と思わないと考えている教員は非常に少ない。このことは、③⑤ともに、分野や教員歴によって大きな差異はない。

また今回のアンケートでは、改めて、教員はいかに研修に関心を持っているか、あるいは必要性を感じているかがよく表れる結果となった。どの研修内容についても、参加・受講している、していないに関わらず、受講に対する意欲のある回答を寄せた教員が①～⑫をとおして70%を超えるという数字を示し、③学生指導・カウンセリング、⑤専門分野の知識技術に関する研修については、90%を超え、ほとんど教員全員がその必要性を感じていることが示されている。また①教育の基本理論・教育技法に関する研修についても87%を超えており、関心がとても高いことがわかる。また、教育分野や教員歴をみてもあらゆる分野・教員層において関心が高いことがわかる。

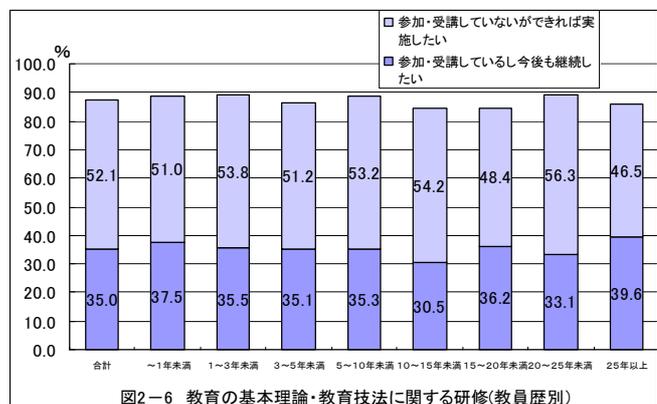
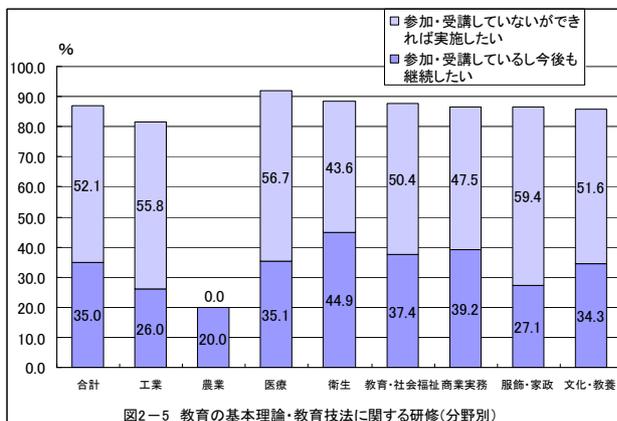
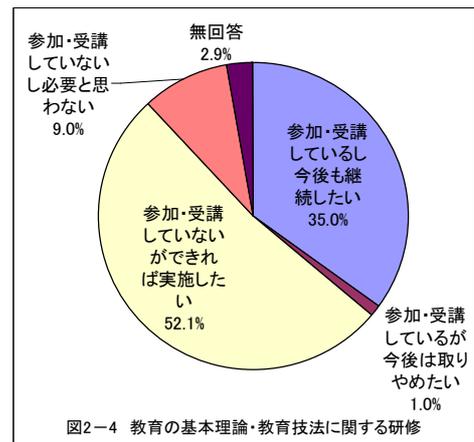
以下に、各項目に対する回答状況を分析し、教育分野や教員歴による傾向を探ることとする。

### ①教員の基本理論・教育技法に関する研修

専門学校においてそれぞれの専門の知識や技術、あるいはその先にある業界に関することを教えることは当然第一義であろうが、「教える」という技術や、その根本となる教育の理念をきちんと押さえていなければ効果的な教育ができない。それは専門学校のみならずすべて教育に携わるものに必須に持つ条件である。およそ1/3にあたる35.0%が現在研修を受けており、今後も続けたい、あるいは機会があれば受講したいという意欲のある回答が、約90%を占め、教員の多くが必要性を感じていることがわかる。

教育者として自らの教育スキルの向上は重要な課題であり、また、時代により変化する学生に対応するためには、新しい情報や技法を取り入れていくことも欠かせない。そのため、これらの研修はおそらく今後いつまでも実施を求められるものであると思われる。

また、このことは、分野・教員歴に関係なく求められていることからわかる。



## ②教員としての魅力度・好感度を養うための研修

教員である以上、学生によく教えたい、満足感を持って理解してもらいたいというのは当然のことであり、そのためには何が求められるかを探る研修であるといえる。80%以上の教員が、参加・受講に対する意欲を持っていることがわかる。また、教員歴が浅い方が意欲も高いと予想されたが、ベテランの教員たちも、受けてみたいという希望を含めて要望が多いことがわかる。

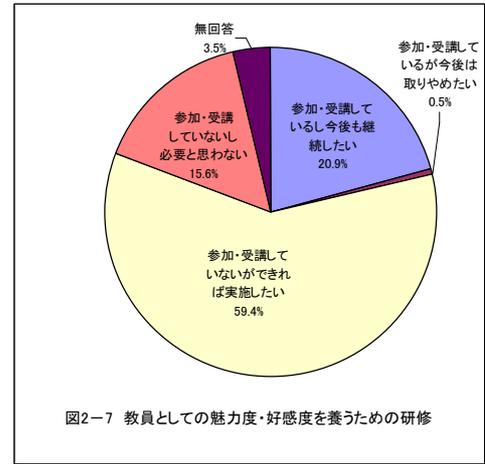


図2-7 教員としての魅力度・好感度を養うための研修

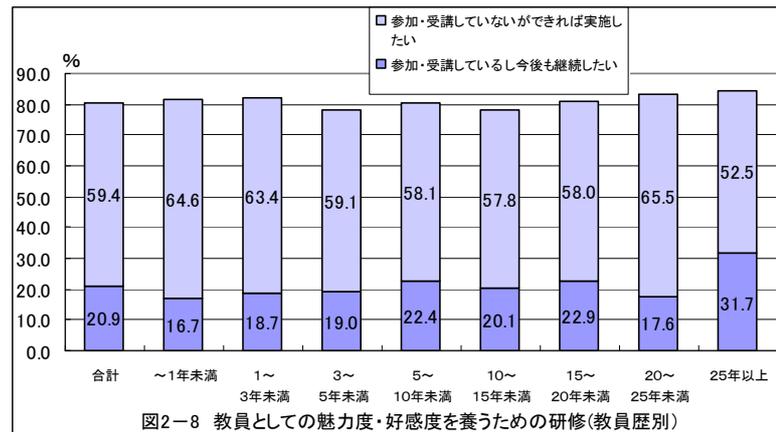


図2-8 教員としての魅力度・好感度を養うための研修(教員歴別)

## ③学生指導やカウンセリングに関する研修

学生に関することは、自分の専門知識や技術の高度化を求めることとともに要望が多く、受講・継続および実施したいという回答が90%を超えるほどの関心の高さを示した。学生の指導に役立てたいということはもちろん、学生の心の問題まで理解しようとする気持ちのあらわれとも推察できる。特に「商業実務」分野では、回答を寄せた教員の半数以上が参加・受講しており、他分野と比べて極めて高い。

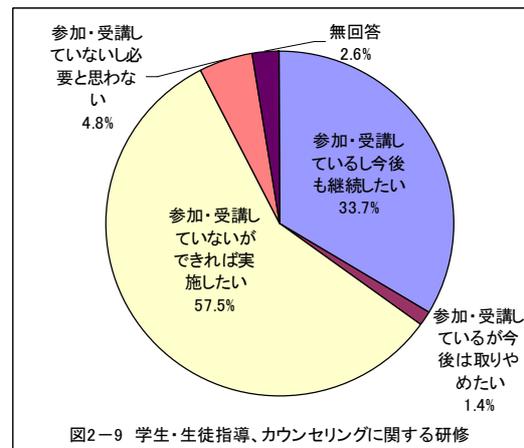


図2-9 学生・生徒指導、カウンセリングに関する研修

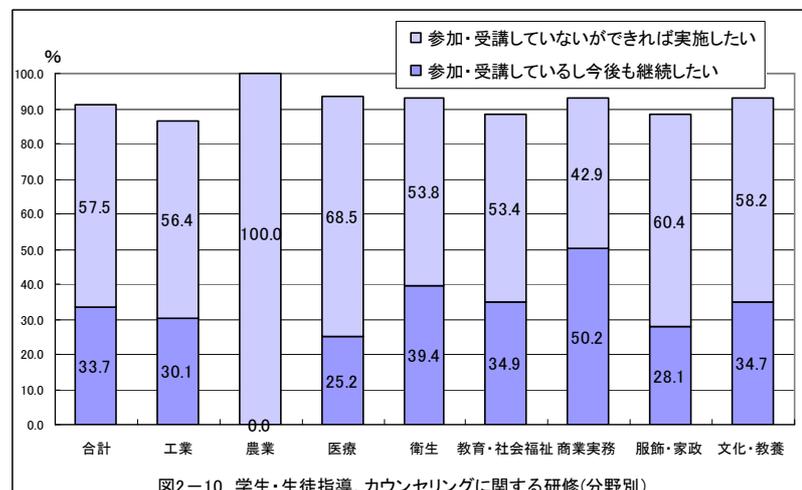


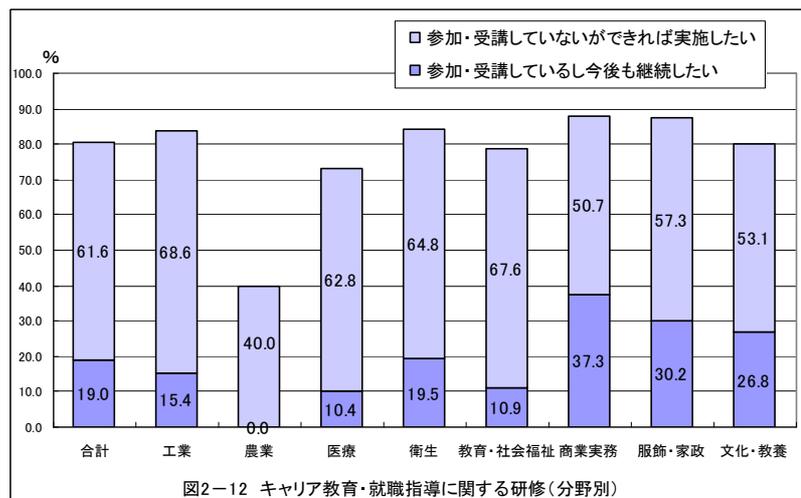
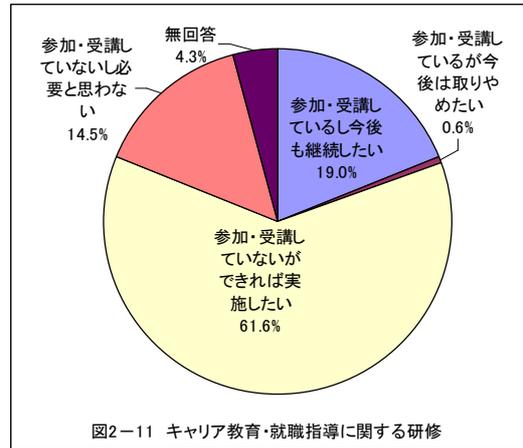
図2-10 学生・生徒指導、カウンセリングに関する研修(分野別)

#### ④キャリア教育・就職指導に関する研修

昨今の就職難、ニート・フリーター等の問題もあってか、現在、大学ではキャリア教育が全盛で、入学してから卒業するまで徹底的に教育されるという声があちこちから聞こえてくるようになった。

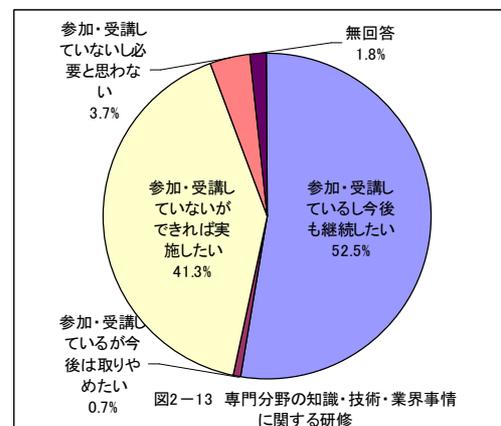
しかしながら、職業教育機関として発展し、高い就職率を誇ってきた専門学校において、卒業後の就職を見据えたキャリア教育・就職指導というのは、もともと非常に重要であり、多くの学校で、既に教育の一環として行われてきたことであるといえよう。ゆえに、これらの研修に関して意欲が高いのは、当然なことであるとも考えられる。

分野別に見ると、やはりビジネス教育を主とする「商業実務」分野では断実に多くの教員が参加・受講している。その他「服飾・家政」や「文化・教養」の分野が実施している教員の割合が多いことがわかった。



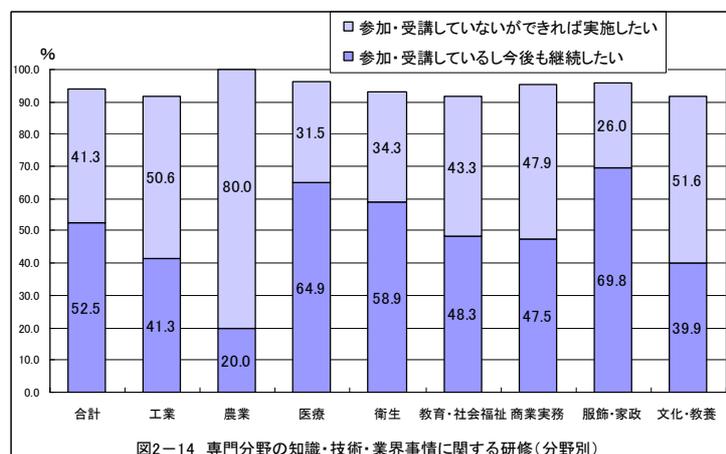
#### ⑤専門分野の知識・技術・業界等に関する研修

専門学校の教員である以上、やはりそれぞれの専門知識・技術や業界等に関することを究めることは関心の第一であろう。「参加・受講しているし今後も継続したい」または「参加・受講していないができれば実施したい」と回答した研修に対する意欲のある教員は93.8%に上り、教員歴をみても、新人からベテランまですべてにわたり研修への関心が非常に高く、すべての分野において、その志は高い。このアンケートでは実際に研修を行っており、さらに継続を望む教員が過半数



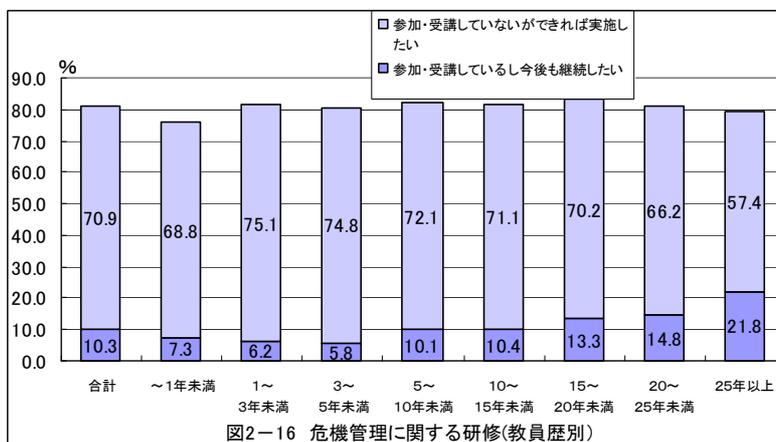
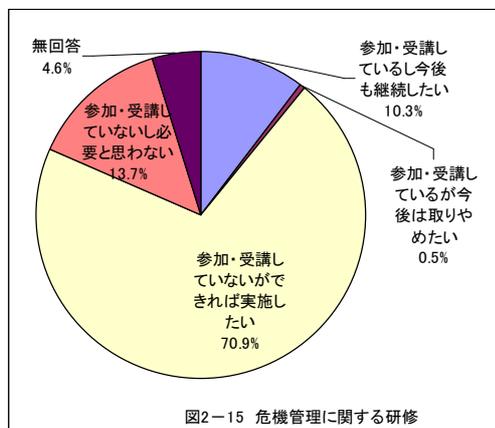
に及ぶが、一方で意欲はあるが研修に参加できていない教員も40%を超える。

それぞれの地域・学校規模等により、希望があってもなかなか研修に参加できないことも考えられるが、教育の質の向上、即戦力となる職業人の育成のためにも、希望者が研修を受けるような環境の整備が必要であろう。



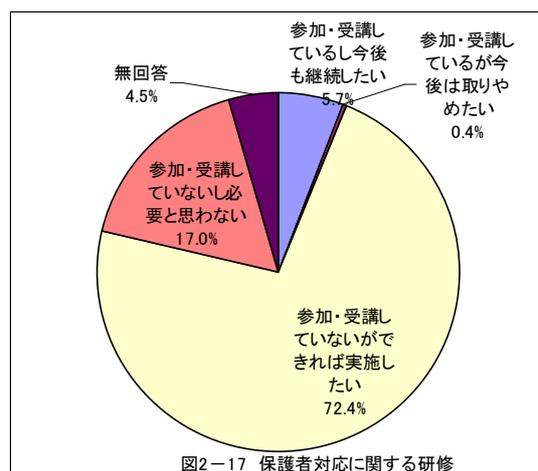
## ⑥危機管理に関する研修(学校内事故・研修旅行事故等)

近年企業はもちろん学校も危機管理の対応に熱心に取り組んでいることが推測されるが、実際に研修を受講しているとの回答は1割であった。まだ受講していないが実施したいという回答が7割を超え、ニーズは非常に高く、教員の危機管理に対する関心も高いといえる。教員歴の短い方が実施・参加率が低く、教員歴が長くなるに従って増えている。参加していないが今後実施したいと考える方がベテランに少ないことから、受講者層の教員歴が高いことを含めて、教員歴の長い方はすでにその手立てを知っているのかもしれない。



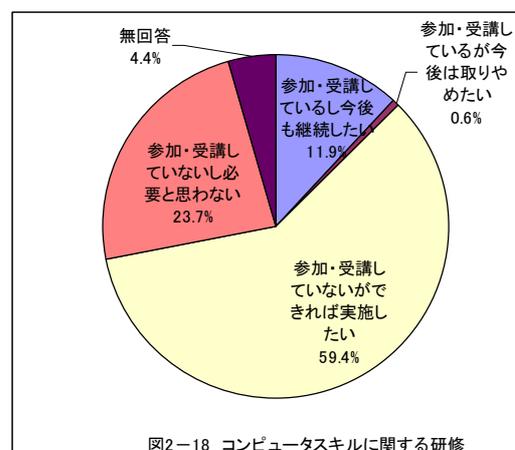
## ⑦保護者対応に関する研修

最近大学でも保護者会を全国レベルで開催しているというニュースを耳にするが、他方、小中学校では保護者対応に関するトラブルも後を絶たなく社会問題にまでなっている。アンケートでは、現実に対応しているところはまだ少なく、5%を超えたに過ぎないが、機会が許せば今後研修をやってみたいという教員たちは70%を超え、むしろこれからの対応が課題となっていくであろう。



## ⑧コンピュータスキルに関する研修

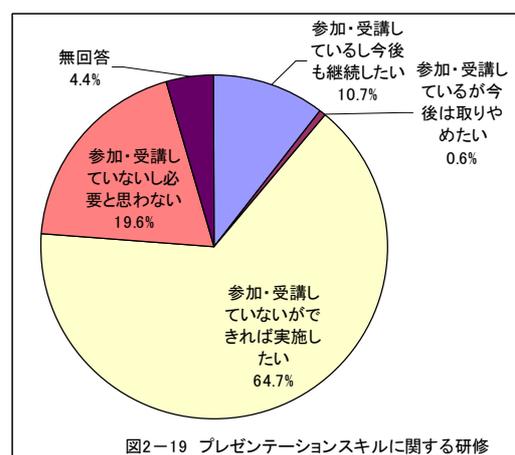
昨今は、どんな企業であろうと、またどんな学校であろうとコンピュータおよびIT等の対応を抜きで業務を行うことは考えにくい時代となっている。研修を実際にやっているのは12%程度に過ぎず、これからやってみたい人は60%足らずで全体的にみて高い数字というわけではなく、さほど必要にさし迫られていないようである。ということは、もうすでに研修の必要性を終えているとみればよいのか、もしくは、各自で行なっているのだろうか。



## ⑨プレゼンテーションスキルに関する研修

大学生は一般に実力以上にプレゼンテーションスキルが上手で、専門学校生はいいものを持っているのにプレゼンテーションが下手であるとよくいわれる。教員アンケートでは、そのことを教える教員が受講して

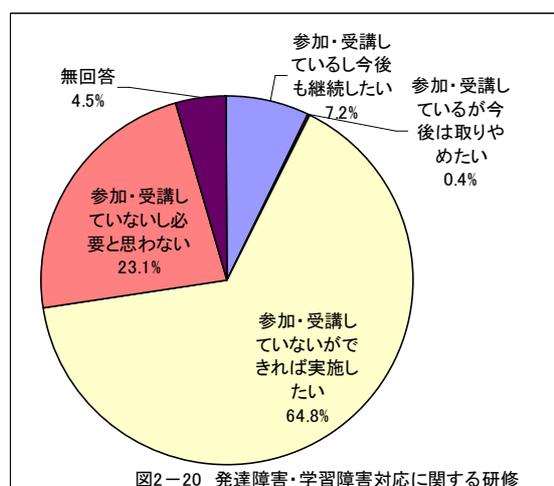
いるのも1割程度、これからできればやってみたいとの回答も約65%で、それほど高い数字ではない。逆にこの研修は必要と思わない人が2割近くに及び、教員歴や分野に関わらず、平均的な数字で万遍なく存在している。これはすでに身に付けていて当然とみるのか、あるいは単純に、教員にとってはさほど必要のないスキルであるとみるものであろうか。



### ⑩発達障害・学習障害の対応に関する研修

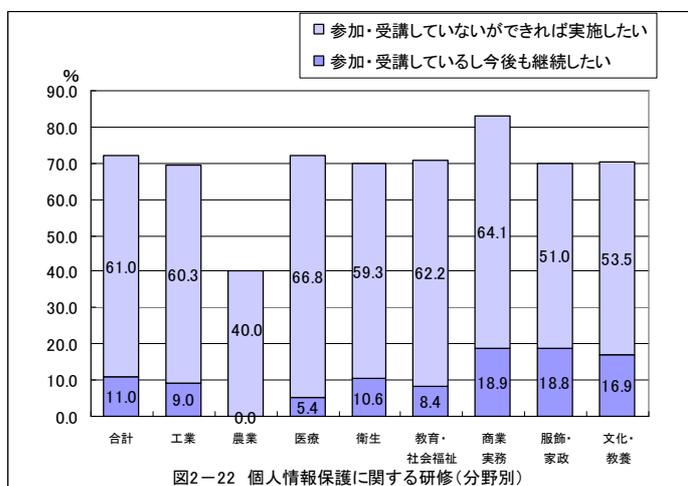
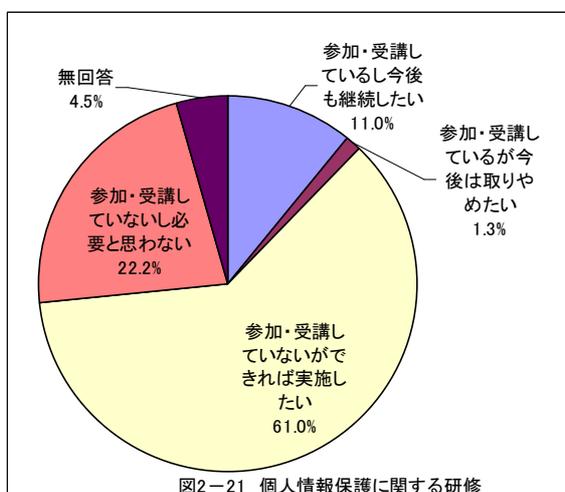
これらの障害に対応する研修は数年前から小中高の学校で積極的に実施しているという声をきく。しかし専門学校でのこれらの障害を持った学生・生徒の現況や対応のための研修の実態については、特にデータ等がないため、傾向が探れるものと期待をした。

現状での受講率は7.2%と多くないが、今後できればやっていきたいとの回答は約65%おり、一定の関心・興味の高さを感じさせる。一方で必要と思わない人も23.1%おり、専門学校では特段必要がないと考えるか、障害に対する認知度等との関係性があるのか、今後どのように掘り下げていくか検討が必要であろう。



### ⑪個人情報保護に関する研修

⑩⑪⑫の3つの研修はそれぞれのグラフをみても同じような結果がでている。個人情報保護に関しても、急激にその認知や個人情報保護法施行のための研修や講習が始まり、現在、ようやくやや落ち着いた感がある。どのような研修実態があるかと思っていたが、⑩と同じように研修の実施は11.0%と少なく、できれば今後参加したい(61.0%)が主流であるが、必要ない(22.2%)も相当数の回答がある。分野をみると「商業実務」では中でも意欲のある回答の両方を合わせると83%と他分野に比べ非常に高い。



## ⑫マネージメント能力に関する研修

この研修も、⑩発達障害等の研修と同様に受講している実態は少ない(8.3%)。やってみたいという関心はあっても(64.6%)、必要でないという人も22%を超える数となる。これは⑩⑪の2つと合わせ、内容を含めた認知が、まだ浸透していないとも考えられる。

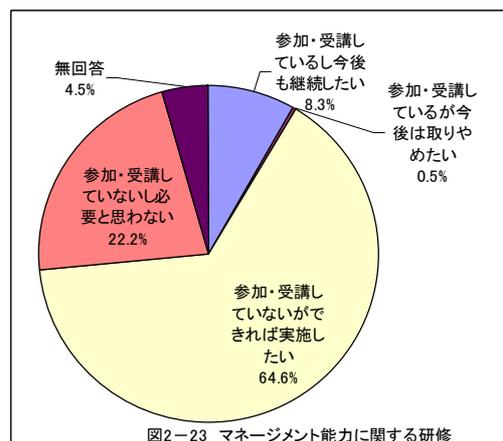


図2-23 マネージメント能力に関する研修

## ⑬その他

この項は、ほとんどの方が無回答で(92.5%)、回答をしてきたのは7.5%につき、内容については下欄に紹介するにとどめる。

### <参加・受講しているし今後も実施したい>

新任教員研修, コミュニケーションスキル, ストレス・マネージメントに関する研修, CSM講座, CG-A R T S協会の講座, ケアリングクラウン, シデスコ講習, マイコンセミナー, メイク実技⑤に通じる, 看護系の学会, 関東ブロック介養協研修, 教員のための運転教室, 口腔ケア関連, 職業訓練指導員講習, 専門分野の教育技法に関する研修, 専門分野の教員研修会, 全国教職員研修(介養協), 大学(保健学部)通信教育受講, 担当授業または職種のスカラーアップに関する内容, 民間企業研修, セクシャルハラスメント研修, 応急手当普及員講習, コーチング・ファシリテーター, ファシリテーション, リーダー必須のコミュニケーション能力, 第三者評価に関する研修, F I S H研修 楽しい職場作り, 募集関係研修

### <参加・受講しているが今後は取りやめたい>

21年度カリキュラム検討に関わる研修, コーチング研修, 第三者学校評価に関する研修, メンタルヘルス・産業保健について

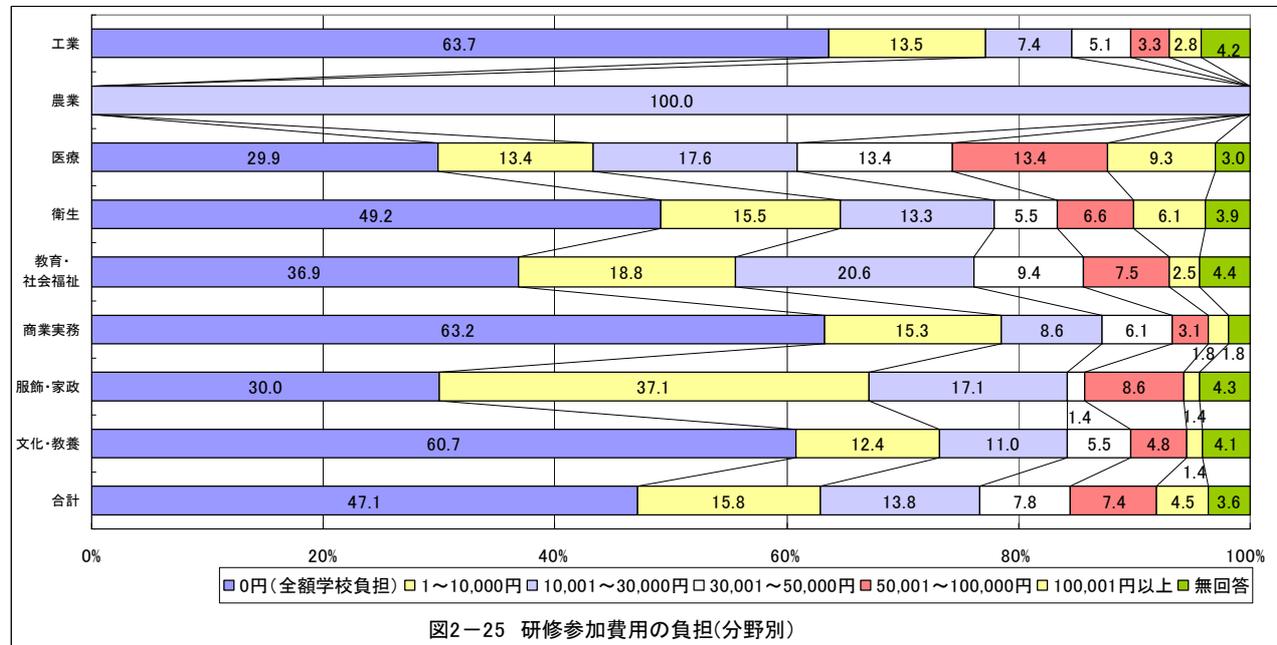
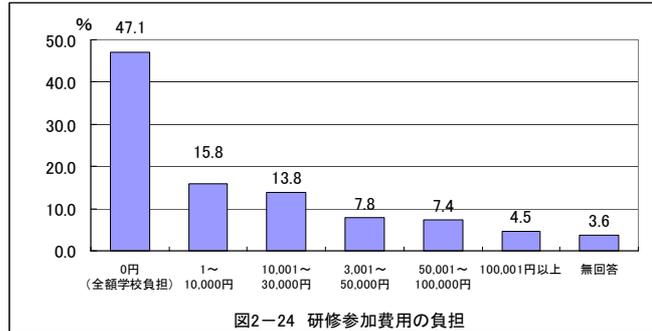
### <参加・受講していないができれば受講したい>

カリキュラムの組み方について, シラバス作成に関する研修, ホームルーム担任の指導の仕方, 基礎学力低下対策について, 倫理・道徳に関する研修, マナー, 一般常識等, O J T (職場内教育)に関する研修, P T ・O T養成施設教員講習会, 技術力向上(自己スキル), 業界動向(美容業)に関する研修, 国家試験等の受験対策に関する研修, 資格養成の制度などの研修, 卒後研修プログラムに関する研修, チームビルディング, 学校経営に関する研修, 学校法人の経営戦略, 海外の教育機関との研修, 職場環境の改善に関する研修, 経済界の著名人の講演など, 他分野の教育現場の情報, 募集力UPのための研修, 学生募集に関する情報交換

## 2-2 研修受講の実態について

この設問は、現在研修に参加・受講されている方にのみ参加費用について聞いたものである。約半分の 47.1%において、全額学校が負担しているとの回答であった。

各自の負担を分野別にみていくと、「服飾・家政」分野では全額学校負担の割合は他分野と比べ 30%と高くないものの、自己負担の金額は 1～30,000 円までの割合が 54.2%と比較的低額で済んでいる。これは「教育・社会福祉」分野でも同様であり、全額学校負担は 36.9%と多くないが、1～30,000 円が 39.4%と比較的 low 負担におさまっている。一方「医療」分野では学校の全額負担から個人負担が 30,000 円という方が 60.8%あるものの、30,001～100,001 円以上も含めて個人負担する教員も 36.2%にのぼり他分野と比べて群を抜いて高い。特に 100,001 円以上負担している教員が 1 割近く (9.3%) いるとは分野の特性があったとしても驚きである。また教員歴でみると取り立てて年限によって増減するような大きな変化はみられない。



## 2-3 意見・要望

寄せられた意見・要望は 517 件であり、およそ 30%の教員より回答を得た。一番多く記されていたのは、教員がさまざまな研修に関心を持ち、必要性を感じながらも、諸事情（働く環境、地域事情、時間・日程的な問題、研修に関する情報量）によって、思うように受講できないでいる実態であった。このことは教員としてのキャリア、分野に関係なく記されている。

また専門分野のスキルアップのために、また、学生と直接接する際に役立てるために、自分自身のキャリアアップのために等、困難な状況下でも、自ら積極的にいろいろな研修に参加し、そこで得たものを学生に還元していきたいという気持ちがこの書き込みからもひしひしと伝わってきた。

18 歳人口の減少・景気の後退等で、専門学校が厳しい状況下におかれていても、教員歴や分野に関係なく、教員は常に前向きに強い意識を持って対応しているのだと改めて感じられる内容であった。

平成20年度 研修活動に関するアンケート調査<教員対象>調査票

文部科学省補助事業

平成20年度 研修活動に関するアンケート調査 <教員対象>

※お手数ですが、10月10日(金)必着で、(財)専修学校教育振興会までFAX(03-3230-2688)、e-mail(kenshu@sgec.or.jp)、または郵送(〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館)にてご返送ください。

※数多く寄せられた質問への回答は、専教振ホームページのtopicsに掲載いたします。

■学校名・所在地等をご記入のうえ、該当番号に○印をお付けください(法人単位ではなく学校単位でご回答ください)

学校名					所在地	都道府県
◆複数分野を設置している場合は、学生数の一番多い分野に○印をしてください						
教育分野	1 工業	2 農業	3 医療	4 衛生		
	5 教育・社会福祉	6 商業実務	7 服飾・家政	8 文化・教養		
教員歴	1 ~1年未満	2 1~3年未満	3 3~5年未満	4 5~10年未満		
※1	5 10~15年未満	6 15~20年未満	7 20~25年未満	8 25年以上		
記入者名						

※1 このアンケートでの「教員」の定義は、「授業を担当している者(非常勤を含む)」といたします。

■昨年度1年間における研修等の実施についてご回答ください

設問A <研修の内容について>

以下の①~⑫について、1から4うち、最も近い意見に○印をおつけください。また、①~⑫以外の内容について、すでに参加、または参加を検討している場合には、⑬の( )内に具体的な内容をご記入いただき、該当の1~3に○印をおつけください。

	参加・受講しているし 今後も継続したい	参加・受講しているが 今後は取りやめたい	参加・受講していないが できれば実施したい	参加・受講していないし 必要と思わない
① 教育の基本理論・教育技法に関する研修	1	2	3	4
② 教員としての魅力度・好感度を養うための研修	1	2	3	4
③ 学生・生徒指導、カウンセリングに関する研修	1	2	3	4
④ キャリア教育・就職指導に関する研修	1	2	3	4
⑤ 専門分野の知識・技術・業界事情に関する研修	1	2	3	4
⑥ 危機管理に関する研修(学校内事故・研修旅行事故等)	1	2	3	4
⑦ 保護者対応に関する研修	1	2	3	4
⑧ コンピュータスキルに関する研修	1	2	3	4
⑨ プレゼンテーションスキルに関する研修	1	2	3	4
⑩ 発達障害・学習障害対応に関する研修	1	2	3	4
⑪ 個人情報保護に関する研修	1	2	3	4
⑫ マネージメント能力に関する研修	1	2	3	4
⑬ その他( )	1	2	3	

設問B <研修受講の実態について> 「研修に参加・受講されている方」のみにお伺いします。

1年間にご自身が負担する研修参加費用(宿泊費・交通費等を含む)について、該当するもの1つに○印をおつけください。(概算で結構です)

- 1 0円(全額学校負担)      2 1~10,000円      3 10,001~30,000円  
4 30,001~50,000円      5 50,001~100,000円      6 100,001円以上

設問C <研修に関する意見・要望>

教員研修に関するご希望・ご意見等を、ご自由にお書きください。

---



---



---



---

## 平成20年度 研修活動に関するアンケート調査<教員対象>集計結果

### ■ 学校名・所在地等

#### 教育分野

	全体	工業	農業	医療	衛生	教育・社会 福祉	商業実務	服飾・家政	文化・教養	無回答
回答数	1753	312	5	425	236	238	217	96	213	11
割合(%)	100.0	17.8	0.3	24.2	13.5	13.6	12.4	5.5	12.2	0.6

#### 教員歴

	全体	～1年未満	1～ 3年未満	3～ 5年未満	5～ 10年未満	10～ 15年未満	15～ 20年未満	20～ 25年未満	25年以上	無回答
回答数	1753	96	273	242	434	249	188	142	101	28
割合(%)	100.0	5.5	15.6	13.8	24.8	14.2	10.7	8.1	5.8	1.6

### ■ 昨年度1年間における研修等の実施について

#### 設問A <研修の内容について>

	回答数 割合(%)	参加・受講しているし 今後も継続したい	参加・受講しているが 今後は取りやめたい	参加・受講していない ができれば実施したい	参加・受講していない し必要と思わない	無回答
教育の基本理論・教育 技法に関する研修	1753 100.0	614 35.0	17 1.0	913 52.1	158 9.0	51 2.9
教員としての魅力度・好 感度を養うための研修	1753 100.0	367 20.9	8 0.5	1042 59.4	274 15.6	62 3.5
学生・生徒指導、カウ ンセリングに関する研修	1753 100.0	590 33.7	25 1.4	1008 57.5	84 4.8	46 2.6
キャリア教育・就職指導 に関する研修	1753 100.0	333 19.0	10 0.6	1080 61.6	255 14.5	75 4.3
専門分野の知識・技術・ 業界事情に関する研修	1753 100.0	920 52.5	13 0.7	724 41.3	65 3.7	31 1.8
危機管理に関する研修	1753 100.0	181 10.3	8 0.5	1243 70.9	240 13.7	81 4.6
保護者対応に関する研 修	1753 100.0	100 5.7	7 0.4	1269 72.4	298 17.0	79 4.5
コンピュータスキルに関 する研修	1753 100.0	208 11.9	10 0.6	1041 59.4	416 23.7	78 4.4
プレゼンテーションスキ ルに関する研修	1753 100.0	187 10.7	10 0.6	1135 64.7	344 19.6	77 4.4
発達障害・学習障害対 応に関する研修	1753 100.0	126 7.2	7 0.4	1136 64.8	405 23.1	79 4.5
個人情報保護に関する 研修	1753 100.0	192 11.0	22 1.3	1070 61.0	390 22.2	79 4.5
マネージメント能力に関 する研修	1753 100.0	145 8.3	8 0.5	1132 64.6	389 22.2	79 4.5
その他	1753 100.0	47 2.7	6 0.3	78 4.4		1622 92.5

#### 設問B 負担する研修参加費用

	全体	0円(全額学 校負担)	1～10000 円	10001～3 0000円	30001～ 50000円	50001～10 0000円	100001円 以上	無回答
回答数	1277	601	202	176	100	94	58	46
割合(%)	100.0	47.1	15.8	13.8	7.8	7.4	4.5	3.6

## 設問C 意見・要望

### (工業分野)

- ・専門分野ごとの研修会が開催されたら良いと考えます。(コンピュータ・ネットワーク系など)
- ・授業に関する研究がもっと必要だと思っています。
- ・現在の高校生の教育状況を詳しく知りたい。特に、出席、礼儀について。理解することによって、今後の方針が決まってくる。他教育分野との交流、問題点を討論し、改善する。
- ・受講できるものは時間のとれる限り参加したい。
- ・教員としての経験が浅いので、研修へ参加して様々な知識を身につけていきたいと思っています。
- ・現在参加している研修で感じるのですが、時間が足りず十分に説明されずに終わってしまう部分があることが多いです。時間配分や回数の調整をうまく行ってもらえれば、より良い研修になると思います。
- ・先日参加した発達障害等、最近の学生の微妙な動向の変化をもとにした研修テーマは大変勉強になりました。時代の推移の分析と現場の教員のニーズに対応した研修を希望します。
- ・就学・留学生に対応・指導するための研修があれば参考にしたい。
- ・学生指導に役立つような研修を受けてみたいですが、実際には対応が一人ひとり違いますので、なかなか難しいと感じております。
- ・各自動車メーカーの新技术・構造・機構など専門分野を学べる研修の場を文部科学省より検討・実現してください。自動車新技术は急速に進化しています。教育現場や学生のためです。
- ・前は同じ専門学校教員というのではなく、他の団体の講習に参加したので、今回は同じ専門学校の教員という立場の方々との講習できればいいと思う。
- ・色々な研修に参加して知識やスキルの向上に努めたいです。
- ・研修を受講したい気持ちはありますが、時間の都合や機会に恵まれないのが現状です。機会があれば調整して参加できればと思います。
- ・研修で初めて学ぶことが多くあり、新しい世界がどんどん広がるのでいまのまま止まっていられない自分を発見し、再認識させられます。
- ・教員研修を実施することは教員一人一人の指導力・技術力を向上させるだけでなく「やる気」や「人間力」を向上させる点から考えて絶対に必要なことであると思う。
- ・研修内容が講義をして頂く先生方や教授によって充実度に雲泥の差があります。肩書きや名誉だけでなく、内容重視でもない「授業の進め方」や「興味の引き方」などそういったものが、非常に素晴らしい方々の講義、授業であると、大変有意義なものになると考えます。そういった授業での内容であれば、自然と身につくと思われま。学生の資質が変わってきているので、我々、教える立場からも変わっていかねばならない。そう考えます。
- ・研修に参加した際、他校の先生方との交流会を設けていただけることが多く、非常に有意義に感じます。テーマを絞った意見交換会などがあれば良い。
- ・できるだけ同じ分野の教員を集めた研修を行ってほしい。
- ・限られた学校からのみ研修で出席しますが、もっと、全国の他の専門学校の先生方との交流を深めたい。
- ・地方の学校は、専修学校教育振興会等で貴重な講習会が実施されても、交通費の問題でなかなか受講することが出来ません。講師の著作権等の問題もありますが、HP上でログインすれば、動画で行われた講習が閲覧できたりすれば、地方の学校は助かると思います。
- ・研修に参加する時間を確保しにくいので、資料または本にしていただけるとありがたいです。
- ・中央での研修など、遠方から会場への交通アクセス、アクセス時間などができるだけ利便性の良いところであると大変助かる。飛行場や駅から遠いところにあると、往復だけで大変な手間となる。
- ・問題行動のある生徒（不登校、発達障害等）の対応に関する研修等があれば参加したいと思います。
- ・学生の学習意欲を向上させるような講義・教育技法について学びたいと思います。また、最近の学生の質的变化に対応した指導方法についてのヒント等について勉強する機会があれば参加させていただきたいと思います。
- ・特に精神的なダメージを負っている学生への対応やカウンセリングの仕方などの研修は必要を感じています。
- ・精神面に不安を抱えている学生が増加傾向にあると感じています。教員一人一人がカウンセリングの能力を養うことが求められていると思います。研修だけで身につけることは難しいとも思いますが、事例を用いた研修、テクニックを享受できるような研修があると良いと思います。
- ・専門分野の先端技術は常に最新情報の習得を心掛ける必要がありますが、学内研修では十分でないため、定期的な学外研修を希望しています。
- ・現場サイドとの関係、現場で即戦力となる内容。
- ・学生にとって魅力ある学校(学科)にしていくなにも、教員の自己研鑽(研修)は大切だと思っていますが、希望する研修が地元で行われていなかったり、実施されていても授業を担当しているとなかなか時間が合わないなどで参加するのが難しいです。
- ・研修日程が授業と重なり参加が難しいことが多い。
- ・専門に関する研修は特に多く受講できればと思います。その他としては、勤務年数に応じた研修もあれば、受けてみたいと思います。
- ・どのような研修が実施されているかわからない。研修ガイドのような(予定表等)ものがほしい。専門分野は別として、教育に関する研修は不足していると思います。
- ・色々な研修に参加すると一般論が多く具体的な手法に欠けることが多い。現場の先生、職員の目線に立ち、すぐに実践できるような内容の研修、参加するにあたり、誰もが参加しやすい研修が増えてくれればと思います。
- ・実際の業務に直結し、役立つ内容の研修を受けたい
- ・研修に参加・受講していないが、あっても良いと思うものには○印をつけておりません。(コンピュータスキル、プレゼンテーションスキル、発達障害・学習障害対応、個人情報保護) また、コンピュータスキルやプレゼンテーションスキルに関しても、レベルによって参加を検討したいとおもいます。
- ・研修の日程を参加しやすい時期(夏休み、春休み等)にしてほしい。
- ・色々な研修を受講し、教師としてのスキルをあげていきたいと思っています。様々な研修の時期によって受講できるかどうかが変わってくると思いますので、学生が休みのときがありがたいです。
- ・教育の質を向上させるような研修があると良い。FD等
- ・faculty development に関連する研修 eラーニングの活用やシラバスの作成に関する内容を希望
- ・教員としての教育スキルは、研修会に積極的に参加することで向上すると思います。最近の生徒に対する動向を踏まえて、専修学校教育振興会後援で、教授方法、教育心理等の研修は定期的に開催してもらいたい。
- ・今年度はコミュニケーション技法について一度は教員として、一度は学生と講義、講演を受講または聞きました。同じようなテーマを違う教授とされることにより、共通の意見は意識として強調され、違う意見などは自分の見識、知識の確立に役立ちました。
- ・海外における専門教育の実態と今後の推移について調査したものがあれば参加してみたい。
- ・学生が多様化して現状にあわせて③⑦⑩などの研修への参加も必要になってくると感じる。
- ・最新技術の動向等の研修や特定分野の研修があれば是非参加したいと思いますのでよろしく願いいたします。

- ・専門分野の探求も、専門学校教員としては大切と考えますが、今後人間教員がこれまでよりさらに大切だと思いますので、できる限り参加、勉強して、自分をみがき、教育現場で生かしたいと思っています。
- ・日常業務が多忙で時間が取れないのが現状。仕事を効率よくこなすことで自己のスキルアップにつながる研修にはどんどん参加していきたい。魅力ある研修会の案内を期待しています。
- ・研修を受けたくても、日々の授業等業務があり、他が企画している研修会はなかなか参加できないのが現状である。費用の面でも折り合いがつかない場合もある。
- ・教員の過去のスキルに任せるのではなく、教員自身が絶えず学び続けることが可能な環境を整備、充実することこそが、専門学校の教育の質を高めるための最も大切な要素だと思います。
- ・設問Aの選択肢は内容が絞りが過ぎる感があり回答しにくい質問でした。
- ・参加したくても行けない時期があるので、研修内容をDVD等で配布するようなことができないのでしょうか。
- ・我々地方の専門学校に勤務する者としては、東京や大阪で開催される研修には経済的にも時間的にも「参加したい」と言いづらいものがあります。小規模でも地方で開催していただくと、とても助かります。
- ・長期間にわたるのは仕事生活に支障をきたしかねないが、半日／1回程度だと研修内容を把握、復習もでき、有意義だと思います。
- ・通常授業中の研修が多く、参加できない。夏期や春期の休み中だと有難い。
- ・学生自身のコミュニケーションスキルを向上させるための具体的なワーク・演習課題作成等についての研修に関心があります。
- ・ストレス・マネージメントに関する研修を設定していただきたい。
- ・管理職研修等があると非常に興味があります。教員という仕事は特別だと思います。教員同士のコミュニケーションや、上司、部下の関係等でより効果的な方法等がわかる研修があると思います。
- ・③④に関しては、私学の高等学校主催の研修会に参加していますが、専修学校教育振興会主催の研修会等も企画していただければと思います。(高等課程からの回答)
- ・日々進歩する技術・知識に関しての研修を、第一に考慮している。(自信がないと、教えることができないため)各種アプリケーション技術(利活用を含む)の講座を希望します。
- ・組み込みシステムに関するカリキュラム・事例等の研修を希望します。
- ・将来的に学生・教職員にとって役に立つ研修が必要であり、最近の研修にあつては校内外で起こり全学共通意識を持つべきセクシャルハラスメント、パワーハラスメント等は非常に役に立った。これは本校独自で取り組んでいるが、全国レベルにおいても取り組む内容だと思います。
- ・必要な研修であれば、なんでも受講したい。
- ・研修に参加したくても時間がとれない現実があり残念です。
- ・このアンケートの問いかけとして、昨年度1年間という期間設定は狭すぎると感じる。教員の実力向上面などを考えるのであれば、3～5年スパンでの検討が大切と思う。
- ・専門分野の研修を多く設定し、段階的な研修を希望します。
- ・積極的に研修に参加したいが、テーマと参加したいものが余りないように感じています。
- ・いろいろな学生・生徒が増加し、また保護者対応する能力や生徒・学生に対する研修等があれば参加したい。
- ・専修学校にはあらゆる分野における専門教科があります。各教科の研修会等、専門知識を深めるための機会を増やしてください。
- ・学校運営や学生指導に必要と思う、しかし参加できる機会が少ない。
- ・研修にもっと参加したいのは山々であるが、学生数現象等により教職員も削減傾向にある。このため時間的余裕がなくなり、研修参加が難しくなっているのが実情である。
- ・専門分野の技術的な研修があれば、その情報を知ることが出来るとよい。
- ・教育に関する研修は参考になる場合と参考にならない場合があります。研修の内容は細かく知らせていただけるほうが参加しやすい。
- ・実施時期、時間帯が授業に影響が少ない(例えば休日)設定を望む
- ・夏休み等、学生の休みのときでないとは参加は難しいので、時期を考えてもらいたいです。
- ・学内で受けることのできる研修が増えれば、もっと参加したい。
- ・インターネットを活用した資料のダウンロード、ストリーミング配信などの手段による研修があれば、時間、距離等に左右されずもっと研修に参加できるのでは?さらにオープン化された誰もが再利用できるものであればベストな気がします。
- ・学校として本格的に新しい分野(たとえばエンデバット技術など)に進出するときは、研修は必要だと考えます。
- ・実務教育に重点をおいた教育を目指しているので、実務経験の豊富な方から各業種、各職種の本当(実態)の姿の話を伺いたい。
- ・人権研修会や資格取得のために研修活動をする人が多いですが、学生指導や自分のスキルアップにつなげることが多いので、有意義に活用させていただいております。
- ・教員としてより一層の資質向上を図るため、専門分野の研修はもとより、教員全体のあらゆる分野の研修の機会を捉え、積極的に参加していきたい。
- ・今後も継続して受講していきたいと思っています。
- ・毎回とても勉強になっています。チャンスがあれば積極的に参加したい。
- ・講師が役人あるいは社団法人職員であるケースが多い気がするが、第一線で実務を行っている講師によるレクチャーが望ましい。
- ・専門教育に関しては、自分の勉強のために、学校から受講要請がなくても参加しているが(外部の研修会)企画してもらえると学校からの派遣になり、助かる。
- ・大阪での開講を増やしてほしい。
- ・ケースバイケースの具体的な例を今まで以上に上げてほしい。
- ・各研修コースに分かれ、希望するコースに自ら志願し、参加できることが可能であれば、研修への意欲も沸いてくると思う。しかし、受講を必要と思わない研修も、必要性や理解力が十分養われる内容であれば、参加を希望します。
- ・研修に参加できる期間は限られているため、8月(夏休み)に集中して研修が開催されると参加しやすい。
- ・時期としては、夏休み・春休みが望ましいと思います。
- ・モチベーションを高める指導方法の理論、技法を学べる研修会を開いていただければと思います。公務員試験対策の効果的な指導方法についての研修会を開いていただきたいと思っています。
- ・専門学校の場合、一般企業からの転職で教員をしている人も多くいます。そのため、設問A-①のような知識には疎いです。また、自分の前職の経験から、クラス運営を行うには、一般企業での課長レベル程度のマネージメント能力も必要と考えます。(設問A-⑫)
- ・特に①～⑤のような教員として基本となる研修を増やしてほしい。

- ・⑩の発達障害・学習障害対応に関する研修は是非参加したいです。よろしく願いいたします。
- ・宿泊をしながら、(2泊3日くらい) 教員としての魅力度、好感度を養うための研修を受講してみたい。
- ・学生や保護者対応に関する具体的な事例などについての研修があると情報収集にもつながるのではないかと思います。
- ・研修内容③⑦⑩については、当校でも直面している内容です。学生の多様化(学力低下・家庭環境・意識低下など)で専門的な知識や技術面のノウハウも必要だと思われる。
- ・教員歴8年になり、自分のスタイルが固まってしまっています。新しいことを吸収できる研修であれば、様々な分野のものを受講し、柔軟に取り入れて生きたいです。特に、コンピュータスキル、プレゼンテーションスキルには興味があります。
- ・やはり教育に関する人材育成や教育内容の充実を図ること等は個人の努力だけでは困難な面がある(経済面等)。国がもっとバックアップすべきでは?
- ・研修費について公的な補助があると、研修に参加しやすくなると思います。
- ・機会があれば参加したい。
- ・参加したいけれど研修がないのが現状である。自分自身(教員)のスキルアップが必要だと思います。
- ・外部で行われる研修の多くは平日のスケジュールが多いことに目がつきます。普通に授業を持っている先生方は、参加不可能の場合が多いです。とてももったいないことだと痛感しております。
- ・多くの教員が最新の情報を得る必要があると思うので、研修には参加すべきと思います。
- ・同世代の教員と指導や教育について意見交換できる機会があるならば参加してみたい。
- ・東南アジア等のリーゾナブルな地域における教員研修(海外研修旅行のリサーチ等)の企画なども、興味のある教員はいるのではないかと思います。少なくとも私はそうです。
- ・研修を受講する場合ほとんどが一方方向の講義形式ですので、受講者側からも活発に質問して、普段授業や生徒指導で困っていることが解決できるようなアドバイスがいただければよいと思います。
- ・自分に必要な研修を探し出すことに苦労するので、今以上に検索しやすくなれば良いと思います。
- ・教員研修の年間計画表が教員個人に渡るような仕組みがほしい。
- ・全職員で研修会に参加するのは困難なため、年1回でも各学校(県、市合同)単位での研修会をしていただけると有難いのですが。(授業を休んでの参加は厳しいです。)
- ・さまざまな研修が行われているが、どれも東京や大阪などの主要都市なので、私たち地方の者があまり行身・費用的にも負担が少なくなるように、地方でも開催されたら良いと思う。
- ・実際に学校で導入され成功している事例をもとに(できればその学校の関係者のご協力をいただき)実施していただけると非常に参考になると思います。
- ・研修により、社会の流れを知ることができ、そのことにより、学生の指導方法を学ぶことができ、他校の先生方と交流ができる研修に参加していきたい。
- ・難しい専門用語を並べるだけの発表会ではなく、今現在、実際に現場が抱える様々な問題をテーマに現場に立つものの立場になって考えられた研修を検討していただきたい。
- ・授業があつてなかなか参加できませんが、夏休み、冬休みを利用して、様々な研修が出来ればと思います。
- ・一日で研修が終わると参加しやすいと思います。

#### (農業分野)

- ・時間さえ都合がつけば色々参加したいのですが、なかなか時間がとれません。
- ・研修活動は積極的に行って行きたいが、授業等の兼ね合いで時期が合わないことが多く、やむを得ず参加できないことも多い。
- ・必要と思う内容の研修・講習会には積極的に参加していきたいと思う。
- ・学校の枠の中だけだと視野が狭くなっていく様な気がします。自分で情報を集めようとしても限界があると思いますので、様々なきっかけをいただくとモチベーションも上がるかと思えます。

#### (医療分野)

- ・具体的な講義法(板書の仕方、時間の配分)など実践的で明日からの講義にすぐ反映できる研修を希望いたします。
- ・今まで、研修としては現在専門分野に関するものしか参加していない。今後の教育には教員側のスキルアップも必要だと考える(専門分野以外でも)できればどんどん参加していきたい。
- ・普段から生徒と接している教員は、自分自身のレベルアップが必要であり、このような研修を経験し、魅力ある教員を目指すことが急務だと考えます。
- ・教員になって初年度なため、まだ何もわかりません。
- ・自分自身のスキルアップも重視しているが、学生の多様化が進んでいる現状で興味を持って学ばせていく指導技術も必要となってくると思うので、経験豊富な先生方の講演等は参加したいと思います。
- ・少人数・グループワーク等がある研修が多くあるといいと思います。
- ・平日は授業等あり、研修への参加が困難な場合があります。私自身は週末に行っていただくことを希望します。
- ・長期間にわたる講習会や研修などは、学院全体に影響が及ぶため、短期間を、数回に分けていただけると助かる。
- ・教員間の連携の取り方について、他の学校ではどのように行っているのか(それとも行っていないのか)学生情報をどのように共有しているのかについて知りたい。
- ・基礎学力が低い学生に対する効果的な教育方法等についての研修が必要になってくるように思われる。
- ・専門分野に関する研修が多いが、コミュニケーションスキルを養う研修はあまりないので参加してみたい。
- ・現場との接点がほとんどない状況なので、現在現場では、広義の意味でどのようなことが行われ、何が主流であるか等の情報がほしいです。(特に医療の世界は日進月歩だと思うので)
- ・専門教育を行う場合、どのような資料作り・講義構成をすると効果的なのか(医療にこだわってないものでいいので)が分かるような研修会があったら是非参加したいと思っております。
- ・看護教育に関連した研修には、時間があれば参加したいと考えています。自分にとって、研修は「必要のないもの」と思うことはないです。
- ・是非参加したい。
- ・仕事に影響が出ない日に研修を受けてみたい。
- ・日程と自分自身の勤務の日程が合えば、参加、受講を希望します。
- ・様々な分野の研修に積極的に参加していきたい。
- ・教育に関しては正直専門分野ではないので(医療職)、学生の教育といったことを声を大にして言える立場ではないです。ただ、小中学校とは違い、専門職を育てることを目的としているとき、現在の学生はまず社会性、人間性を教えないとその先に進めず苦慮しています。そういう意味での研修があると良いのですが、長期は難しいので一日単位でスポット講座などがあると良いと思っています。

- ・研修の機会が多いほうが望ましいと思いますが、日常業務で忙殺されている感は否めません。
- ・知識や見聞を広めるための研修も必要だが、教員の人間性そのものを高めるための研修が今後は必要になるのでは、と感じます。
- ・研修受講のみが研修ではない。学会誌購読も研修であります。
- ・研修に参加することで、毎回大変感化されています。ただ、そのテーマに興味を持っても、持続して勉強・スキルアップする機会が少ないので、研修後のフォロー（紹介制度）があると良いと思います。
- ・研修会の内容を速やかに連絡してほしい。都市部（東京・大阪方面）に集中しており、同じような内容で地方でも取り組んでいただきたい。
- ・研修に関する案内が周知されていないようです。
- ・様々な分野の研修会にどんどん参加させていただきたいと思っております。各種研修会の開催について連絡いただければ幸いです。
- ・研修会の内容を速やかに連絡してほしい。都市部（東京・大阪方面）に集中しており、同じような内容で地方でも取り組んでいただきたい。
- ・専修学校教員を対象としている研修会が多くあるのであればそれがわかるようにしてほしい。できれば地方で行うようにしてほしい。
- ・多くの研修に参加できるように、地方の地域でも多く開催してほしいと思います。これから研修に多く参加し自分自身のレベルアップをはかりたいと思っています。
- ・学校、学生の質の向上のために、意見交換など必要と思われる。学校での問題などを事例検討など行えば、具体的なイメージを捉えることもでき、意見交換もできると思います。勉強会など積極的に参加していくようにします。
- ・現在参加・受講している研修は主に同じ教育分野の参加者を対象としたものであり、今後「教育」という共通項のもとに、他分野の教育の現状を知るために、教育分野の垣根を越えた研修が行われますことを希望しております。
- ・学校間の情報交換の場（成績のつけ方、実習の進め方など）があるとよい。
- ・設問Aの⑩の学習に困難のある学生が増え、③の学生指導や⑦の保護者に対するかわりが非常に難しくなっています。この分野での研修を増やしてもらえるとうれしいです。また、学校として「教員の研修」への補助（金銭的&日期的）について、最低ライン等があると、安心して研修へ出られると思います。
- ・研修に参加することによって刺激を受け、自己啓発につながるので必要なことであると認識している。自分の専門に関する研修は必須であるが、その他の分野に関しても受講して教員自身が成長する機会とするのが望ましい。
- ・前回の研修はとてむためになりました。いかにモチベーションを保てるか、専門性の確立できる研修を期待します。よろしくお願いたします。
- ・研修の内容について、どの分野も必要と思われ、時間があれば参加したいが、現実的に全部は無理なので、2から3の分野を優先順位をつけて参加したい。
- ・教え、学ぶ、学習効果の向上について、多くの研修機会を作って頂きたいと思っております。
- ・県内で行われる研修の情報がなかなか入ってこない。学校経由でいいので、情報がほしい。
- ・個人能力を養う研修よりも組織に役立つ研修を数多く開催してほしい。
- ・継続した研修会に参加することが、日常の業務の中で非常に困難です。よって単発での研修を多く企画していただければうれしいです。
- ・東洋療法学校協会主催の教員研修会には、全額学校負担で毎年参加し、大変勉強になっています。しかし、専門分野による偏りもありますので、他の研修会もあると良いと思います。その際は、短期集中型が参加しやすいと思います。
- ・新幹線や電車などであまり乗り換えのない場所で開催してほしい。
- ・時事問題を取り上げた研修、スキルアップ研修をどんどん企画してほしい。
- ・上記内容の③と⑦において現代の学生、保護者の資質を踏まえた研修があると参考になると思います。
- ・研修会の参加だけでなく、教員はたくさんの学会に所属している。その費用はかなりの金額となる。また、研修会・学会にできるだけ参加し、最新情報を得たいがその様な援助は十分ではない。研修会という今回の枠組みだけの調査では、実態は表面化しないのではないかと。
- ・研修参加費用も自己負担だと結構大変です。少しでも補助していただけると、もっと、参加できるのにと、いつも思います。
- ・全国的に学校経営が厳しくなって、外部研修費用も、特に私学は難しくなっています。求められる教育、結果も公私同じではありますが…。臨床と同様に、国からの補助が必要というか、求めることであります。
- ・研修は常に受講したほうが良いと思われませんが、時間が取れないという問題があります。また、地方で魅力的な研修をしていただけるとありがたいです。
- ・通常業務をこなしながら研修会に参加するわけですから、参加したくてもスケジュール調整が難しいのが現実である。
- ・最新の情報が得られる点が役立つ
- ・研修は常に受講したほうが良いと思われませんが、時間が取れないという問題があります。また、地方で魅力的な研修をしていただけるとありがたいです。
- ・幅広い内容で地方（福岡）で実施希望します。
- ・医療分野（歯科衛生士）に関する知識・技術に関する研修は行う機会がありますが、教育技法や生徒指導に関する研修の必要性を感じます。できれば講義形式ではなく、ディスカッション・グループワーク形式のものを希望します。
- ・教員研修は今後も必要であるし、内容も充実した内容があるよう、期待する。教員の専門性も必要ですが、生徒とともに育む共（教）育としての教養も研修内容にあると良いと思う。ただし、どんな内容にしたら良いかは、私もわからない。
- ・発達障害に対するサポート体制における認識の温度差を感じる。
- ・老人福祉施設に受け入れる外国人の教育に関して学校として協力できる点、受け入れ方についての説明がしてもらいたい。
- ・研修を受け、自己のスキルアップを図る必要性は十分に感じているが、日々の仕事に追われ学校を不在にすることが不可能な状況である。
- ・多くの研修に参加したいと考えているが、研修日程に参加できない。職場の近くで研修会が開催されると参加しやすいと思います。
- ・もっと学校間の情報交換ができればいいと思います。
- ・業務に支障がないように夏休み期間中に開催していただきたい。
- ・①「これから専門学校に期待すること」と題し、医療以外でも教育者、行政、会社役員など論客の方の講演を聞きたい。②厚労省の医療資格担当者の資格の考え方、海外留学生の考え方など勉強したい。
- ・医療分野における教育は、常に進歩していることから研修は欠かすことは出来ない。しかし、専門学校における教員の仕事内容は多岐にわたり、なかなか研修のための時間がとれない。仮に参加するにしても、開催地域による。
- ・技術研修を中心にする本校のような医療系の学校では、最新の知見やトピックに類する研修、又東洋医学の研究に触れる研修は常に必要だと思われ。またこれからの時代質の変化してきている学生への対応に類する研修も必要になってくると思われ。
- ・教育方法論等学習形態に関する研修等があれば参加してみたいと思う。様々な専修学校があると思うが、その中で分野は違っても学生教育等については情報交換が出来ると思うので、そのような機会があればよいのではないかと。
- ・教育の現場において問題が山積していると感じるので、少しでも教育を行いやすい環境をつくる為に、学校から必ず1名参加すべき有意義で必要不可欠な研修を設けてほしい。

- ・同じ分野に携わっている人の話を聞くことも有意義だとは思いますが、どうしても視野がせまくなってしまいうような気がするので、他分野で成功している人の話などを聞いて刺激を受けたい。
  - ・教育現場の現状に促した内容を希望いたします。
  - ・学生を教育していく中で、学生の意見をどこまで聞くか？また保護者の対応に関して、社会常識以下の者に関してどのようにしていけばよいかについての研修などがあれば参加したいと思う。
  - ・大学のように個人研究・研修費の必要性を理解していただきたい。教員の個人的なスキルの向上が、教育には大きな影響を与えることは明白です。教員はこのために、少ない時間のなかで大きな負担（金銭的・時間的）をしながら研修に努めているのが実情です。このままではレベルが低下します。
  - ・限られた時間内で研修を行うとなると、専門分野の知識について研修することが優先される。今後は幅広い分野の研修にも取り組みたい。
  - ・研修を受けることで、新たな知識を得たり、忘れていたことを思い出したり講師の先生や受講生の方にいい刺激をいただけるので、出来るだけ受講させていただきたいと思っています。
  - ・なるべく多くの研修に参加してレベルアップをはかりたいと思っているが、日程的にも限界がある。
  - ・一年の大半を実習指導にて研修参加ができない。距離・時間・開催場所のことも検討していただきたい。
  - ・期間をあけて、シリーズでの研修があれば参加しやすいと思う。
  - ・研修に関する案内が周知されていないようです。
  - ・研修に参加したい気持ちはあるが、研修開催の情報がなく、現在のところ、全く参加したことがない。
  - ・専門学校での授業実態に合わせた開催を希望（例えば土曜日の午後から）
  - ・専門職としてのキャリアは長いが、教育担当として経験は少ないので「教育の基本理論・教育技法に関する研修」は是非受講したい。
  - ・専門性のある研修と統一性のある教育法に対する研修
  - ・専門分野だけでなく、話し方等のプレゼンテーションスキルに関する研修も大切だと思います。（どんなに内容が素晴らしいとしても伝え方が良くないと伝わらないと思っています）
  - ・相手がいての教員という存在があるので、学生との接し方なども含め、学生の意欲を引き出し自身で学習していくような技法を学びたい。
  - ・最近の社会環境（少子化・大学全入時代等）や学生気質等を踏まえた研修内容を求めます。
  - ・日々勉強、特に医療福祉は科学の進歩により日々変化するので研修が必要である。
  - ・同業種の学校の状態やスキルがわかる勉強会があったら良いと思っている。
  - ・上記⑤に関する研修（実地研修）を望みます。
  - ・設問A⑤の研修がさらに充実することを願っています。
  - ・平日に公務出張として参加できる研修会がふえることを希望しています。
  - ・分野の違う教員との研修（特にグループワーク）は、学生に対する問題点のとらえ方が違うため、難しい研修が以前にありました。（他団体）
  - ・研修には積極的に研鑽を図りたいところであるが、授業との兼ね合い等時間的問題と自己負担であることの経済的問題のため、十分に研修に参加できていない現状がある。
  - ・本来あるはずの国語力（特に会話力や文章力）の低下が目につきます。高校（時には中学校）の内容を授業に取り入れれたり、科目として設定したりと対応しています。しかし、逆に就職のハードルは高くなる傾向があり、学生への負担増が大変気になります。何かアドバイスを・・・
  - ・学び続ける意欲が低下傾向ですが、機会を得て研修を受けていきたいと考えています。
  - ・教員養成課程を経て教員になるシステムになっていないので、短期間（2日程度）の教育法、生徒指導法についての研修を増やしてほしい。
  - ・専修学校といっても、多種の学生、教育機関であるので、どのように研修に取り組んでもらえるのか、わかりづらい。教員は忙しく業務に追われている状況があるので、なんとか研修に参加できるような工夫をしていきたいと思う。
  - ・教育分野別の教員研修案内などがあると助かります。
  - ・研修内容に関わらず、開催場所がやはり関東方面に集中しているため、参加が出来ないときがある。できれば九州内、など、地域別で開催されると参加しやすいと思う。
  - ・同様の研修を各地域で実施されておれば参加しやすくなる。
  - ・実際の教育活動に生かせるような研修が必要と思う。高校生に対して、という内容と重なることも多いが、高等教育としての位置づけでどうしていくのか実践例が知りたい。
  - ・平日は授業及び教務事務の仕事が忙しく、なかなか興味深い研修が開催されても参加しにくいのが現状である。休日である土・日曜に開催の案内をより早く、多く伝えていただけることを希望する。
  - ・研修により参加しやすい回数増や日程等、場所（近県・市）
  - ・8月、2月、3月に研修を実施していただけたら、参加しやすいと思います。
- (衛生分野)**
- ・各々の分野で教育されている方の、現場の声、最近生じる問題などについての研修に受講を希望します。
  - ・様々な学生に対応するなかで、カウンセリング等にはとても興味があります。
  - ・研修等の中でもこちらの興味を注ぐ内容のものがあれば、全く必要としない内容のものもございました。学生指導に関わる研修、また教育技法に関わる内容がうれしいです。来年度の研修を楽しみにしております。
  - ・様々な研修に参加させていただいており、毎回、得るものも多く、大変役立っております。が、唯一、大部分の研修においてテーマの発表と講話→グループ学習→発表（テーマ・反省など）の形式を取っているものが多くみられます。新しい形式のものがあれば、学生にも応用できるため、知ってみたいですし、そういう研修を受けてみたいと思っております。
  - ・以前、新人教員研修（自費 21,000 円）がありましたが、どの講義も大変魅力的でとても勉強になりました。また講義の内容以外でも講師の先生の話し方や使用した媒体、すすめ方など色々な角度から学ぶことができました。私個人的には、まじめな先生よりユニークな先生の方が魅かれます。
  - ・学生に興味を持たれる講義のすすめ方を学びたい。
  - ・技術向上、学生指導、カウンセリングなどの研修をしてみたいです。
  - ・今後の研修には積極的に参加していきたいと思っております。
  - ・幅広い研修に参加したいです。
  - ・即、実践で役立つような研修を受けたいと思っております。
  - ・指導者によって生徒の指導が違っはいいけない。個性ではなくて、悪にならないように教員の質も上げていく必要があると思うので、積極的に研修に参加したいと思っておりますので、お願いします。
  - ・大変参考になり、いい勉強ができました。今後も研修があれば参加してみたいです。

- ・たくさんの先生方が来ていて、色々なお話ができるのでよかったです。勉強になります。
- ・専門分野に関する講習会を開催してほしいです。また参考図書の紹介をお願いしたいです。
- ・東京で研修会など行われているようですが、県内（近場）で開催してもらいたい。情報があまり入らないと思う。
- ・中央で開催する他に、地方でも開催してほしいです。（参加しやすいため）
- ・専門分野に関する講習会を開催してほしいです。また参考図書の紹介をお願いしたいです。
- ・東京や名古屋など都市で開催されている研修を地方でも開いていただけるとより参加しやすくなると思います。
- ・今現在は個人で休日を利用して研修を受けています。でも、これ以上研修にかかる時間を作るのは非常に困難だと感じています。研修を受けやすい環境作りのアドバイス（研修？）がまずは必要だと思います。
- ・研修では最長でも1泊程度が良いと思います。
- ・平日は参加しにくいので、休日に開催してもらおうと良いです。
- ・もう少し短期間で研修してみたかどうか。内容をもっと身近なことを研修してみたかどうか。
- ・教員としての研修だけではなく、一般企業と同じような内容の研修もあると、就職後の指導の参考にもなるので、検討いただきたく思います。
- ・学習意欲に欠ける学生の指導法
- ・世界的食糧難に対する原因やこれから日本がとるべき方法（態度）、農業分野自給率の向上の教育等、調理師として料理を作るだけでなく、先を見る目を養うことができる研修を希望いたします。
- ・衛生分野の研修会を設けてほしい。
- ・学生を指導するにあたり、教員として知っていなければいけないことがたくさんあります。時代の流れや、現代の若者の心理等についても研究して対応する必要があります。私も今後、たくさんの研修に参加して教員としての資質の向上につとめたいと考えております。
- ・過去にもいろいろな方の講義を受講しましたが、魅力のある話し方、信頼のできる話し方が大変勉強になりました。誰が聞いても引き付けられる講話をされる方の研修を希望します。
- ・研修に必要な時間・経費は自己負担が原則であろうが、なかなか参加したい研修もつい欠席してしまうので、参考文献等の資料紹介でもほしい。
- ・土日や勤務外の時間帯ではなく、勤務の一環として学べる研修会を希望いたします。
- ・研修によっては全額学校負担もあります。自分で勉強するにも仕事がなかなか休まず、行くことができないのが実態です。それに情報もなかなか入らないのも残念に思います。技術の研修などではできるだけ参加したいと考えています。
- ・定期的な研修を希望したいが、週末を利用しての研修しか受講できない。研修機関は様々あるが、中央に集中し、宿泊交通費等を考慮すると、つい見送ってしまう。費用もリーズナブルで、地方で受講できる体制を設けていただければ幸いです。（例）栄養士のための医学講座など
- ・個人情報保護に関する関心が学校全体にもう一つ浸透していないと感じる。研修を増やし、個人情報保護の意識をより一層高めていきたい。
- ・学生指導・カウンセリングに関する研修は参加してみたい。
- ・新人、ベテランに関わらず、変化する学校現場（学生と保護者）に対応するための研修（④と⑦）や、大学等では学んでこなかった内容（特に⑥⑩⑪）の研修は必要と考えている。幅広い学生を受け入れるようになって、その対応にも苦慮している。
- ・コンプライアンス強化につながるスキル向上の研修を期待（行政手続、専門分野の法律等）
- ・本校では個人としての研修参加としての対応となっています。休日などを利用して参加となります。したがって現在は研修費は自己負担となり、なかなか参加（有料）することが難しいです。ただ教育技術などの情報は取り入れたと思っています。
- ・私は非常勤です。若い先生方に進んで研修を受講していただき、より良い指導をと願っています。
- ・現場の教育事情や実態等の例を挙げて生の声を聞き、学生受け入れの参考となる研修会などに参加してみたい。
- ・学生指導に具体的に対応できる内容を持った教員研修の更なる実施を望みます。
- ・専修学校で行っている研修以外で、知識を得るため参加しておりますが、長期休みを利用して参加したいと思っています。
- ・身近で研修を受講するチャンスがなかなかない。生徒が多様化しているため、学生・生徒指導、カウンセリング、危機管理、発達障害・学習障害対応などの色々な研修を受講したいと思う。
- ・キャリア教育についての内容に興味あります。
- ・今回参加させていただいたのですが、教育的なもの等たくさんの勉強になりました。また次回あれば参加したいと思うのは、保護者に対しての対応や学習障害の学生に対してというのに興味がありますので、取り入れていただきたいと思います。
- ・専門分野の知識・技術の研修には参加を奨励していただきたい。
- ・様々な研修内容があるので、新たな情報を得るためにも参加できるものは参加したいと思う。
- ・研修を通じて情報交換ができたりするので、勉強させていただき、今後に活かしていきたいと思います。
- ・研修を通して、自己研鑽したいです。
- ・講演や勉強会など、専門知識を深める研修会に参加したい。協会やセンターなどが主催の（同分野）多学校の先生方との研修会に参加し、大変刺激になり有意義でした。今後も行っていただきたいと思います。
- ・いろいろな研修に参加して勉強したいという思いはあるのですが、時間的余裕がなく、参加が難しい状態です。
- ・研修講師により、研修の魅力が大きく変わります。素晴らしい講師との出会いを期待します。
- ・即実務にかかわる内容で、具体的な内容等をお聞きしたいです。
- ・受講したいと思う研修はあるが、複数の仕事があり受講できない。日曜日や祭日に実施されれば検討したい。
- ・自分の専門分野（調理）だけでなく、教員として必要な知識、技術の向上のため、各種研修に参加したいと思います。
- ・組織マネジメントに関する研修、対人場面における教育課題への対応力向上のための研修機会がより充実されることを希望します。
- ・専門学校という枠にとらわれず、視野を広く柔軟な姿勢を保てるような研修内容を今後期待したい。
- ・分野を問わず教育者として成功している方の講習に参加しやすくしてほしい。
- ・学生の中途退学防止につながる研修の実施など、学生にも学校にもメリットのある内容の研修に。
- ・就職活動中の学生への的確なアドバイスや就職率を上げる教育の研修があれば受講してみたい。意欲のない学生にやる気を出させる方法を勉強したい。
- ・カウンセリングや危機管理の研修に興味があります。
- ・近年、心に何らかの問題を抱えている生徒が増えてきました。上記の表③にもあります「カウンセリング」等の研修の充実を望みます。生徒や親も多様化してきましたので、その対応方法の研修などございましたら、是非、積極的に受講したいと思います。
- ・必要に応じた研修を数多く受け技術向上させ仕事に役立てていきたい。
- ・同分野の研修・意見交換をしては。全国、地域等。
- ・専門分野の勉強については、自分が持っていない技術などを身につけたい。機会がなかなかないので、あれば学びたい。

- ・技術に関する研修をもっと行ってほしい。
- ・日程の折り合いがつけばできるだけ参加させていただいている。例年各界で活躍中の著名人の話を直接聞くことができ、大変勉強になっている。できれば業界動向（美容業）に詳しい経営コンサルタントなどをお招きいただき、将来の見通しについて役立つ情報が得られたらと思う。
- ・プレゼンテーションスキルに関する研修等に参加し、魅力的な授業をし、学生・生徒の授業に対する意欲を高めていきたい。
- ・教員研修の内容を考えて行うのではなく、教員が受講したいもの（一般で行われているカットスクール、ネイルスクール、能力開発セミナーなど）に対して研修費を負担してもらえ、制度があると取り組む姿勢が違ってくると思います。
- ・日程の折り合いがつけばできるだけ参加させていただいている。例年各界で活躍中の著名人の話を直接聞くことができ、大変勉強になっている。できれば業界動向（美容業）に詳しい経営コンサルタントなどをお招きいただき、将来の見通しについて役立つ情報が得られたらと思う。
- ・①～⑫までの項目が、現在自分が日頃行っていることに必要なものであるため、研修に参加したいとは思いますが、授業の受け持ちがあるため、現実的（時間的）に困難なのが現状です。
- ・研修に参加すること自体難しい。（少人数での運営のため）参加してみたい気持ちはあります。
- ・専門分野の研修・研究に使える時間も少ない為、現実問題教員研修まで参加できない。
- ・教務に追われ、なかなか参加できないのが現状です。
- ・大変勉強になりました。
- ・研修にこられた講師の先生方に実際に実践をしていただけたらわかりやすく把握できると思います。
- ・技術的な研修会でも統一性のあるものにしてほしい。大学教授などを招いての講義では、わかりづらい部分や専門用語を用いて行われるため聞いては理解しづらい面もあります。
- ・今回初めてアンケートに参加しました。研修にはどんな種類のものがあって、どのような内容なのか等知りたいです。
- ・「研修等のお知らせ」があれば参加できる限りしたいので、お知らせしていただければ幸いです。
- ・研修の内容を凝縮して、資料などはコンパクトにして欲しいと思います。地域ごとに課題・問題も違い、生徒の生活環境にも地域差があるかと思うので、そういったことを踏まえた研修内容を検討していただきたいと思っています。
- ・今後も多くの研修に参加させていただきたいと思っています。できれば東海地区での開催を希望します。（地方での）
- ・教育に役立つ研修を受けさせていただきたいと思っています。
- ・実施する時期や日数の検討。年間できるだけ多くの計画から参加チャンスを増やすことができると良い。

#### (教育・社会福祉分野)

- ・福祉に関する研修情報は見る機会、知る手段はあるが、その他は知る機会がないので、自ら知ろうとする努力が必要であると思いました。
- ・学生指導に関する研修の充実を望みます。
- ・現状、実態をふまえた学生への対応に関して様々な事例をとおして学ぶ研修があればと思います。
- ・自分のスキルアップのために多くの研修に参加したいです。
- ・教員としての資質向上のために、できるだけ参加をしたい。
- ・テキストの活用の方法など基本的なことをしっかりと学習したい。
- ・発達障害、学習障害、精神疾患を患っている生徒が多くなってきている。家族を含めた対応の研修の必要性を感じます。中学校時不登校生の対応研修も受講したい。
- ・最近の学生の状況等に見合った研修等を希望します。
- ・今まで研修に参加した事はありますが、できれば上記③のような学生・生徒指導、カウンセリングなどを中心とした研修には興味を覚えましたので、そのようなものがあれば、参加したいと思います。
- ・職種別の研修は資格に関連する協会が主に実施し、それらに出席してスキルアップに努力しているが、多様な職業がある中、対応する内容の検討は難しいと思いますが、よろしく願いいたします。
- ・参加費は1万円以下なら参加しやすい。内容については、その時自分が関心のあるテーマかどうかで参加を決めると思うが、「教育技法」「専門分野」には年に1度位参加した方が良いと思う。
- ・宿泊を要する研修への参加を年に1回は保証されているので恵まれていると思います。個人参加の研修も、時間を上手に調整すれば参加を学校側から拒否されることはないと思われませんが、授業と実習対応で、研修参加の時間を確保できない（難しい）のが現状かと考えます。
- ・希望しているが、参加できていない。情報がもらえない。
- ・教員研修は必要だと思うが、それに充てる時間がない（業務量が多いため）というのが現状である。
- ・年間を通してシリーズ化した定期的な研修があるといいです。
- ・大都市へ行かなくても、地方で研修できるような施設、環境がほしい。または通信教育等を充実してほしい。
- ・様々な研修のお知らせ（知識に関するもの、技術に関するものなど）がほしい。自分で探すとすると、どうしても分野が限られてきてしまう。
- ・興味があっても時間的になかなか参加が出来ないため、希望する場合は資料だけでも頂けるようなシステムだと嬉しいです。
- ・大都市へ行かなくても、地方で研修できるような施設、環境がほしい。または通信教育等を充実してほしい。
- ・専門分野外の方との交流・意見交換ができる研修も参加してみたいと思います。
- ・夏季休暇等で4～5日間続けて研修に参加できる方式が良い。
- ・研修設定日を考慮してほしい。（夏期休業中や冬期休業中など）
- ・最近の学生たちは精神的な部分でのサポートが必要になることが多い。そのため、カウンセリングを含めた、精神的フォローが学べる研修を、多く実施していただきたい。
- ・受講したくても、中央で実施されるものが多いため、場所を分散して計画されるといいと思います。学生の対応が難しくなっているため、カウンセリングの方法等、年に数回実施してほしい。
- ・教員としての資格に関する研修会では、ややもするとなかなか受講できない科目があります。例としてあげるのなら「研究方法」などは放送大学にもないし、あるとしたら通信大学に入学しないと駄目とのこと。その様な大層なことをしなくても、各府県の介護協力が取りまとめて行えるシステムはないものなのでしょうか。
- ・教えるために学ぶのか、学ぶために教えるのかかわからないが、教えていく限り、自己研鑽を積むことは必要である。だが学べば学ぶほどに、未知のことに出会い、一層の学びの場を求めることとなる。年々そのための費用はかさむ一方である。学内研修の機会がほしいと切に願う。
- ・様々な研修の内容があることをアンケートを書きながら、改めて確認しました。どれも重要な部分があると思いますが、実際、日々の授業、学生対応に追われています。学生数も減少し、費用面の問題もあり、少しでも、研修の受けやすい環境（実施地域、日程、費用など）が整えば本当に有難いのですが。

- ・情報収集のための研修はとても重要な機会です。今後も参加の機会があればどんどん参加していきたい。
- ・地方で行われる研修会が少ない。また校務との都合が合わず、19年度は少なくなりました。
- ・希望はするが、時間的余裕が乏しい。
- ・仕事に関する研修であるし、学校への還元にもなると思うが、雑務に追われ、出たくても出られない状況である。私達こそゆとり教育にしてほしい。
- ・専修学校において新人研修は実施されているが、今後、例えば勤務年数 10 年研修等実施し、専修学校の教員の資質向上につなげていければよいのではないかと思う。
- ・受講したくても、中央で実施されるものが多いため、場所を分散して計画されるといいと思います。学生の対応が難しくなっているため、カウンセリングの方法等、年に数回実施してほしい。
- ・地方で行われる研修会が少ない。また校務との都合が合わず、19年度は少なくなりました。
- ・介護過程、道徳教育、カウンセリング、心とからだ、人間の尊厳
- ・授業が学生によりわかりやすく伝わるよう、⑨ほどの教員にも必要と感じる。また、教員歴の浅い先生向けの研修、教員歴の長い先生向けの研修が、充実した内容で行われると良いと思う。今どきの学生とあきらめず、社会に通用する人材を育てられるよう粘り強く機転をきかせて対応できる教員が増えるような研修を期待する。また現場が忙しく研修で出られる機会が少ないので、もう少し研修を受ける回数が増えると思う。
- ・補助金等の制度の充実
- ・大学等では、学会費の年会費、学会参加費等の費用が出るが、専門学校の場合、学会参加は自己負担となる。文部科学省から補助金が得られると大変ありがたい。
- ・授業のない時期に研修に参加したいと考えているが、自分の興味があり参加したい研修がその時期にないため、なかなか受講ができない
- ・研修会の開催日時が学校行事と重複し日程の調整が出来ないことがある。
- ・今年度は行ってない。参加を希望はしているが、上司が参加を認めてくれない。研修会の情報も十分でない。さらに、職員数が 3 人の状況では、研修に出る機会が確保できないのが現実です。
- ・研修を受けることができる時期が限られるため、時期を配慮した日程で研修が行われると助かります。(夏休みに限定される)
- ・定期的(原則年 1 回)に出席している研究大会は、分科会、講演がメイン。得べきは、専門学校(保育系)同士の情報交換のみ。半強制的要素あり。
- ・専門領域(心理学)に関しては、学会、研究会の主催する研修には多数参加している。学校(職場)を通しての研修には抵抗がある。
- ・研修参加費が高い研修が多い。
- ・研修の必要性は理解できるが現実的には時間の設定等で厳しいものがある。
- ・学校内での開催は予算的問題もあるので、行政サイドで地方ごとに種々の研修会を開催していただくとありがたい。
- ・今問題となる、あるいは問題となっているケース、問題点を抽出していく上でテーマを設定する必要があると思います。
- ・担当している専門分野の最新の情報を取り入れて授業ができるように研修を受けたい。
- ・自分自身をより高める(向上することができる)研修は、できるだけ受講していきたい。
- ・興味関心、必要性のあるものはなるべく出たいと思いますが、なかなか時間を取るのが難しいです。休日の場合は、子どもがいますので、保育支援していただけるとうれしいです。(そういう援助をしてくださる研修にはけっこう参加しています)
- ・設問 A であげられている項目で 4 に○をつけたものについても、必要と思わないわけではないが、その分野にまで…という余裕がないと考えている。本来 3 にすべて○をつけるべきかもしれない。研修参加や費用負担について、現状で満足している状況である。
- ・研修は重要と考えるが、結局、学内で全体職員に伝達がないと、特定の職員のスキルアップになっているだけで、全体的な要素は薄いと思います。
- ・管理者が、教員の研修の必要性について理解されていないようです。研修の情報がありません。
- ・私は教員の基礎研修に受講させていただいたことはありますが、スキルアップのための研修には参加していません。研修に行くことにより、改めて感じることや、新たに学ぶことがあり、今後上記の内容のような様々な研修があれば、受講したいと思います。ただ、平日は授業や学生指導があるため、出来れば土日が良いと思います。
- ・8 月などに集中して実施(7 日連続とか)してもらった方が助かる
- ・他の教育機関の方と共に受講できるような研修はないものだろうか。そういったものがあれば是非参加してみたいと思う。
- ・学校設置基準、資格養成校の基準などの研修の開催を希望します。
- ・設問 A のうち、①②③に関しては、経験年数により、内容に差が見られるため、初級・中級・上級等に分けての研修は必要と考えます。また、この研修に関するアンケートは、公的な研修をさすのか、私的な研究会等を含むかが明確になっておらず、返答が難しいです。個人研修は、多くの時間とお金を費やしています。
- ・昨年度は参加することができなかったが、今年度はカウンセリング研修や教育技法に関する研修に参加した。非常に為になったので、次年度もあれば参加したいと思う。特に教育技法や就職指導、コンピュータスキルについては、積極的に参加したい。
- ・学習障害がある学生に対する就職支援についての研修や、教育についての研修を、教員研修に取り入れてほしい。
- ・高等教育の場において、若者の基礎学力、コミュニケーション能力、文章力等の低下は大きな支障となっている。小・中・高各時代における教育内容にふれられる研修を希望したい。
- ・ランク別にして、まずは人間としての成長、道徳観念を徹底的に学んでほしい。
- ・教育職には、対象者(学生)がどのようにわかるか、どのようにわからないかを把握し、適切なアドバイスをする力量が求められます。様々な場面を想定し、また、対応できる力をつけていくためにも、教育の方法論だけでなく、考え方等に関する研修もあると助かります。
- ・カウンセリングについては、現状を考えると必要な研修だと思っています。私自身非常に関心があり、機会があれば参加したいです。
- ・「学生・生徒指導、カウンセリングに関する研修」「専門分野の知識・技術・業界事情に関する研修」などは回数を多くし、なるべく全教員対象に開催してほしい。
- ・学生も父兄も対応に難しい現代、教員自身もスキルアップを図る必要がある。また、教員の精神的ケアや心の余裕を保つ方法を学べると良い。
- ・気軽に参加できる研修が多くあると良いと思います。1 回 5,000 円くらいなら自己負担も気にならないと思うのですが。
- ・研修に参加することで、自分自身の振り返りが出来、能力向上にもつながるため、積極的に今後も参加したいと思う。
- ・教育についてのスキルアップは継続的に行っていくなくてはと日々感じております。
- ・研修に参加したい場合でも、日程調整が難しく不参加することが多い。また、研修場所が遠方であれば、交通費、宿泊費がかさみ参加しにくくなる。
- ・時間的余裕がなくて研修に参加できていない
- ・インターネット、携帯電話など、目覚ましい情報量と技術の進歩、世の中の動きがあり、常に新しい知識の導入が必要であると思う。勉強に励み、力をつけて、学生につたえたり、語り合えるため、研修に参加、要請することも大切だと思います。
- ・時間の許す限り様々な研修に積極的に参加したいと思っています。一方的に受講するという形より出席者が参加・討議する形が研修で身につくものが多

く感じます。

- ・ 教員としての幅広い教養や見識を養うためには、その分野の専門的な知技だけではなく、異業種の知識を得ることもまた重要だと考えます。だから、異業種間交流をはかる研修などが今後あればと思っています。
- ・ 道外で実施されている研修の開催に関する案内は拝見するが、日程の都合上、宿泊することが難しいものが多い。道内開催の研修があれば、上記アンケートのような内容のものには参加してみたいと思います。
- ・ 研修の開催地につきましては難しい部分があるかもしれませんが、可能な限り、都道府県レベルでの実施をご検討頂ければと思います。
- ・ 研修は自己研鑽のためにあると思っているので、あまり強制力を伴うものであるのは好ましくないと考えている。また、研修領域によって教授内容等が異なるので、マニュアル化された研修内容は適切でないと思う。

#### (商業実務分野)

- ・ 研修で初めて学ぶことが多くあり、新しい世界がどんどん広がるのでいまのまま止まってられない自分を発見し、再認識させられます。
- ・ 発達障害、学習障害対応に関する研修、カウンセリング研修を受講してみたい。
- ・ 現場に直結する内容であれば、参加をしたい。
- ・ 専門分野の知識や業界の最新事情に関する研修を受講してみたい。発達障害、学習障害、メンタルヘルスに関しても喫緊の問題だと思うので、是非受講してみたい。
- ・ 簿記の科目が中心なのですが、「簿記」とは何か？とか簡単に体験できる教材開発のための研修があるといいなと思います。
- ・ コンピュータスキルに関する研修について、一度受講しましたが、表面的な内容がほとんどでした。できれば、より詳しい内容に取り組みたいと思いました。
- ・ 研修に参加したいのですが、夏期休業の間くらいしか参加できる時間がないので、残念です。
- ・ 習得できる研修はできるだけ多くしたいのですが、どんな研修があるかわかっていないし、授業との兼ね合いがあって、なかなか自分の思いとは違ってくるのが現状だと思います。
- ・ 土曜日や休日を利用して研修を受けさせていただいて感謝しています。今後も教員として不足しているスキルをひとつでも吸収し、正しく指導できればと考えています。
- ・ 学生の質が下がっていると言われている現在、下がった質に合わせた教育ではなく、質を上げる教育が必要なのではないか。資格教育より前に人間教育が必要な学生、学力が低すぎる学生が増えている。この現状に対応するような研修が必要と思う。
- ・ 教員（教える側）同士のコミュニケーションスキルの研修があればと思います。
- ・ 校務に支障がない限り、できるだけ多くのことを学んでいきたい。
- ・ 時代の流れに柔軟に対応できるよう、様々な研修の機会が用意されることは有意義であると思います。単に情報や技術を伝えるのではなく、きちんとした体系に基づいた研修の場が準備されることを望みます。
- ・ たくさんの方々が様々な研修に参加されていると思います。できれば、アンケートなどでよかった内容のものやおすすめの講師の方を募って、身になる研修を受講したいです。研修によって満足度にかなり「ひらき」があり、それは講師によって左右されることが多いと思います。
- ・ 教務に役立つ教員研修を是非お願いいたします。
- ・ 概論的なものではなく、ケーススタディなど具体的な事例や解決策などが勉強できる研修が望ましいと思います。
- ・ 平日は参加が難しいので、夏休み等、開催時期を考慮してほしい。
- ・ 専門分野に関する研修が少ないため、自分のスキルに不安を感じることもある。
- ・ 資質向上につながる研修を今後も期待します。
- ・ 様々な講座を開講している関係上、講座により受講生の考え方が違うので、どのように対応すればよいのか、アドバイス等受けたい。
- ・ どのような研修であれ、自分を向上させることは学生のためになるので積極的に参加したいと思います。
- ・ 数多くの研修を企画していただくのが難しいです。
- ・ 講演的な内容が中心の研修会よりは、ディスカッション等、実技を交えた研修会の方が参加する側から考えた場合、効果があるような気がします。
- ・ 中央だけでなく地方でもより多く研修会を開催してほしい。
- ・ カウンセリング他、学生の指導に必要と思われる研修に積極的に参加したい。
- ・ 東京・大阪だけでなく受講しやすいように地方の主要都市でも実施してほしい。
- ・ 専門分野での研修を近くで開講を希望します。授業等への影響を考えて、数日（往復）かかることを避けたいためです。
- ・ 研修は具体的な事例に基づいた研修であってほしい。
- ・ 今後、自分なりに選択し、参加したい。
- ・ 自身のキャリアアップ、そして他の方の意見をお聞きしたり出来るのは、貴重なことなので、今後も色々な研修に参加したいと思っています。
- ・ 教員としてスキルを上げたいので、機会があれば研修に参加したいのでよろしく願います。
- ・ 今後教員としてのスキルアップのためにも積極的に学んでいきたいと考えています。よろしく願います。
- ・ 各種研修開催の情報のご提供をお願いいたします。特に管理責任者対象の研修がございましたら、ご案内くださいますようお願いいたします。
- ・ 都市部だけではなく、地方でも研修会を行ってほしい。
- ・ まだまだ知らないことが多々あり、より知識を高めていくことができれば、教育する上で、また自分自身の知識向上のためにもよいだろうと思っています。長い期間の受講等は難しいため、短時間の講座があれば短時間の講座があればありがたいです。
- ・ 教員研修を最近受講し、教師としてのあり方など、とても勉強になりましたので、機会があればまた受講したいです。
- ・ 単に学校業務に直接的な関わりを持つ研修だけではなく、一般社会において有用なスキルを身につけられる研修であれば、プライベートな時間を使って（私費でも）参加したいと思います。（ex. 将来設計、ライフプランニング）
- ・ カウンセリング、危機管理、保護者対応については、特に必要性を感じます。概論ではなく実際の対応方法について専門家からレクチャーを受ける機会があればと思います。
- ・ ビジネス分野の学校がもっと元気をだし、学生が集まるアイデア、情報収集、行動、教材を研究したり、他分野からの意見を聞く場を持ったらどうか。
- ・ 自分が担当する科目に関する研修を受講してみたいと思います。
- ・ 特に危機管理に関する研修については、必要だと強く感じています。
- ・ 専修学校の教員の中で、自身の資質を高めるために自己負担で研修を受ける方も多くと考えました。特に技術系の講座で受講が必須のものについては、学校負担がなければ、大変なものになります。講座を提供する団体と定型詩、割引制度を設けるなどすると、受講者のモチベーションが上がり、専修学校全体のモチベーション向上につながるのではないのでしょうか。
- ・ 能力アップのための研修であれば参加していきたいと考えております。

- ・機会があれば参加したいと思いますが、授業の都合などで思うように参加できていません。今後もいろいろな研修を企画していただけると、参加できる機会が増え助かります。また、専門分野の研修が実施されると、他校との情報交換もできる為ぜひ希望したいです。
- ・教員としてのスキルや資質を磨き、向上させるための研修や人としての常識（モラル）を再認識させる研修を開催する必要がある（開催してほしい）と思うが、実際に開催されても研修に参加する時間（日程）がなく、日々の授業や生徒指導に時間を充てるのが現状である。
- ・売上などのような定量データで成果が表れにくい分野であるため、教員への各種研修は軽視されがちであると感じる。しかし、研修を受けようにも、定常の授業が組まれている期間中は、スケジュールの調整が難しい現実がある。
- ・担当している専門分野における研修会があれば、今後も積極的に参加したいと考えます。また、研修会の効果を知るために、後日、意見交換会の場を設ける、資料アンケートによる集計、結果のフィードバック等があれば、なお有効な研修会になると考えます。
- ・現場には年間の研修等の連絡がなく、通常開催ごとの案内となっているのが現状です、出来れば年度初めに知る機会があれば幸いです。
- ・研修の開催は東京、大阪が多いため、日程の調整が難しいので、地方での開催も多く実施していただきたいと思います。
- ・地方での開催があると出席しやすいです。
- ・他県の教員の方々とも、情報交換のできる場を作ってほしいと思います。
- ・研修の終了時間ですが、地方なので最終日は16時にしてほしい。
- ・土・日・祝等の休日を選択出来るような種類がある研修があると良い。自分に必要と思われる研修費は実費でも受講するものだと考えている。
- ・研修の開催時期を夏休み期間や春休み期間に計画していただきたい。
- ・通常期の参加は難しい。開催時期は、春休み、夏休み期間のみ。

#### (服飾・家政分野)

- ・専門技術の講習はできるだけ参加したい。
- ・専修学校でも様々な分野に分かれているため、専門分野ごとの研修や会合を増やしていくべきである。研修内容の充実がはかれると思う。
- ・今年参加しました研修は来年度も参加を是非したい。ただ他の先生とのつり合いもあるので自分ばかり研修に行かせていただくのは申し訳ない気持ちもあります。（東京・大阪の会場がほとんどなため交通費等が発生するため）
- ・教員も時代や学生のニーズにあわせ、様々なスキルアップが必要だと考えるので、色々な研修に積極的に参加していこうと思っています。
- ・実務時間外の夜間等の研修にしてほしい。
- ・現在、教員の教育力、能力、または魅力ある授業展開など、私たち、学生と教育、指導していく立場にあるものに課せられた問題、課題は多くあると思います。専門分野の知識だけではなく、教育者としての理念、また教育者としての教育技法を今後、研修の場があれば参加し、学んでいきたいと思えます。
- ・今後も夏期休暇を利用し、様々な企業で販売研修を継続していきたいと思えます。
- ・教員研修を実施するなかで、他分野で活躍されている先生方と情報交換を行い、視野を広げている上でも、必要と考えています。日常の業務での限られた環境から様々な観点で物事を捉える、きっかけにつながっていくのではないのでしょうか。
- ・今のままでよい。
- ・研修時期はとても大事な事だと思う。内容によっては定期的に日程を組む必要があるができれば夏、冬、春などの休みにあると参加しやすいのではないかと。
- ・各種、担当分野ごとの専門知識、技術研修は、定期的に必要である。海外からの講師の呼び寄せなども、有料でも意義があると思えます。
- ・曜日・研修時間等、授業に差し支えない設定であれば参加しやすいかと思えます。
- ・研修、日時、場所等の検討をお願いしたいです。夏期、春期休暇等に実施するなどが望ましいと思えます。
- ・専門技術の更なる向上のための研修は今後も学生指導に活かされるので機会が増えればよいと思えます。
- ・大阪など関西での研修があれば助かります。
- ・授業との兼ね合いでなかなか研修に行く時間が合わないが、時間が合えば各種参加してみたいと思えます。現在即必要となる内容や情報の件数は積極的に参加したいと思えます。
- ・数年前に、各種研修に複数参加したことがあるが、大学教員、民間シンクタンク、大企業トップ、知事、国家・地方職員、全て魅力がなく内容が希薄であった。例えば、保護者対応、カウンセリング等は、理論より実践例、実技中心に学べると現場で役に立つと思われる。
- ・教員研修という事に対して意識が低かったように思いますが、ご案内頂ければ設問Aの①は特に興味があります。日々向上していくために必要な研修等は受けてみたいものです。
- ・最近、精神的に弱い生徒が多くなり、扱いが難しいため、今の若者の心理等についてももう少し知りたい気がします。
- ・機会があれば、みんななるべく参加した方がよいと思えます。特に流通卒の副主任は、主任になったらどの教科（学科）を持つのか決めていくきっかけになるかもしれないので、専門性を高めるためにも参加した方がよい。昨年受けたAED（上級救命）の研修で自分の中での意識改革になった。
- ・上記の設問Aでは大半が教員として、または授業を行う上で必要なものばかりだと思われるが、自身の担当職務を特化して研修に参加していきたい。また本校では研修費用の学校負担があるのでしっかり受講すべきだと思う。研修内容のフィードバックをうまく行いたい。
- ・学校というある種閉鎖的な環境にいるからこそ、自ら進んで研修を受けるべきで必要不可欠だと思います。直接学生指導に活かせなくても、何か他の形でその研修が生きてくるとし、研修を受け自分自身に変化することで、周りの人や環境に変化をもたらすことが出来るのではないかと考えます。
- ・現状でよい。

#### (文化・教養分野)

- ・新任教員研修を2年に渡り受講し、大変勉強になりました。今後自分のスキルアップに応じて、また、スキルアップするための色々な研修を受講したいと思っています。
- ・過去、今までに様々な研修に参加して思ったのだが、研修生としてプレゼンしたりする事があると、非常に参加していて達成感を得ることができる。またひとりの講師の方だけでなく複数の先生にチェックしていただくと、自分自身の改善点や気づきがあり有難く感じました。その様な研修であれば是非参加して自分向上していきたいと思っています。
- ・留学生に関する研修があれば、参加したいと思えます。
- ・他校の表に出てこない現状や対策の情報を得たい。また、自身の専門分野に対する知識・技能を身につけたい。
- ・研修を通して、個々に抱えている問題点等を話し合え、研修後の学校生活についてのヒントを持ち帰り、実践できる内容であれば、良いと思えます。
- ・参加できる研修があれば能力向上のため前向きに参加を考えようと思えます。
- ・各コースによって学生に求める資質や指導方法が異なると思えます。そういった意味で当校は教務の先生方から教員として、社会人として就職指導者としてどうあるべきか、何を求められているかを教えて頂ける環境が整っています。各職場にあった教員教育が望まれると思えます。
- ・学校グループで行われている研修に参加させていただいています。

- ・現実的には学生対応や業務に追われており、自分で意識して情報が取れる見学会などに出かけたり、自己学習を行っていかねばならない状況にある。
- ・研修には参加したいと思っていますが、時間が取れないのでなかなか参加できていません。なるべく参加・受講して自分のスキルアップにつなげたいので、そういった研修をお願いいたします。
- ・今まで①や⑤の研修にあまり参加したことがありません。そういったチラシもあまり目にしていない気がします。
- ・現場で対応するのに役立つノウハウを知りたいのですが、都市と地方での現状の違いがあるので、地方の現状に対応できた情報とノウハウを知りたいです。
- ・最新の国内外の情勢をコンパクトにまとめる講座などがあれば、是非受講したい。
- ・社会人一步手前の学生たちに対して、教育をサービス業と考えるべきか否か悩むときがあります。そんなことについての講演会などありましたら、参加してみたいと思います。
- ・研修は各種、学校負担で受講させていただいているため、今後必要性を感じるものは、徐々に専門分野の詳細に関わることや、マネジメント関連の管理、経営業務に関するものになっていき、私費含め自己投資が必要と感じています。
- ・学園内で上記質問事項に関するミーティング（研修）が常に行われているので、そちらを大切に、今後に生かしたいと思っています。
- ・自分自身に必要で欠けている分野に対して有効な研修へは参加するようにしていますが、平生の業務との兼ね合いもあり、現実的に難しい場合もあります。今後も研修へは参加していくつもりです。
- ・まれにですが、定数が少なく受講できない場合があるようです。アンケートの結果を活かし、人気のありそうな研修に関しては、広い会場にしていいただけると、参加しやすくなると思います。
- ・研修ビデオを貴会から借りて勉強できるシステムがあれば助かります。
- ・授業等に支障のない時期に開催してほしい。
- ・専門（業界）の特化した研修を受けたい。
- ・教員研修は出来る限りたくさん先生の先生が参加できるよう、日程や費用の調整があることを希望します。
- ・様々な研修会の実施により、我々の知らない情報等を吸収することができ、今後も積極的に参加したいと思う。
- ・他校との交流・意見・情報交換の場ともなりうる参加しやすい研修を希望します。
- ・広報をもっと積極的に詳しくしていただけるとありがたい（ポスター、インターネット等）
- ・教員のスキルアップに繋がる、例えばカウンセリング、コンピュータ、マーケティングなどのDVDやCDを財団がライブラリーとして保有し、貸し出しのシステムを作れば良いと思う。（できれば無料で）
- ・授業や学校行事がレギュラーで入っているため、研修の数や時間など、選択の幅が多くあれば参加することも可能になると思います。
- ・教員研修は出来る限りたくさん先生の先生が参加できるよう日程や費用の調整があることを希望します。
- ・教授環境が多様で大きなテーマの研修がなかなかニーズに合わないことが良くあります。
- ・特に教員研修ということではなく、広く書道の技術・知識の修得の為の研修を毎年宿泊研修として実施参加している。特に研修を目的とした団体等にも所属して常に研修を行っている。また、研修の一環としての作品発表なども行っている。
- ・教員免許について具体的に知りたい。
- ・教員としてプロ意識を持つためには、自律的に学んでいく姿勢が必要です。日頃から教授法や専門性を高める努力は欠かせません。しかし、授業は実践の場ではないので、成果をいかに還元するかの方法論も必須です。
- ・⑥、⑧、⑩（危機管理、コンピュータスキル、発達障害・学習障害対応）に非常に興味がある。
- ・研修で得た知識を勤務校に持ち帰った時、他の教員たちと共有する機会があれば、現場全体の意欲を高めることができるのではないかと思います。研修費用を学校が負担してくれたら大変ありがたい。そのような支援体制があれば、参加意欲を高めるのに更に効果的ではないでしょうか。
- ・グループ内での研修に参加しております。
- ・学校グループで行われている研修に参加しています。今後も機会があれば参加していきたいと考えています。
- ・受講して、学べる、学べた、今後に活用できる、と思えるような研修であってほしい。
- ・設問Aの研修内容を短期集中で実施できると非常にありがたいです。（少人数で2～3日間で集中講座が望ましい）
- ・学生、保護者の質、志向が年々変わっていくことが実感としてあり、それらに対応するためには現在のスキルの貯金だけでは対応できないこともある。学外で勉強するにも、学校にいざるを得ない時間が長く、なかなか難しい。学内の企画として様々な勉強会、研修があると色々な面がスムーズに行えると感じる。
- ・教員のスキルを高めるための研修には理解をいただき、参加ができる状況を整えていただいております。参加をする際の判断も、担当者の希望に沿う形で申請後承諾いただいております。設問B（費用）につきましては、学校へ申請をした際の費用を明記させていただいており、個人で申込みとし参加している研修もございます。
- ・専門学校募集広報に関わるセミナーや学生の心の病に対応するための研修（できるだけ具体的事例や解決策）が必要です。また上記研修を各県ごとに実施していただけると助かります。
- ・昨年度メンタルケアについての講習が学校主催であったが、スケジュールの都合で受講できなかった。年々心に悩みを持つ学生も増えてきているので、引き続きの開催を望んでいる。
- ・本校においてビジネススキルを教えることによって、自らも学ぶことが出来ているという現状があります。よって、ビジネススキルを教える教材をいただければと考えています。
- ・教員に対する研修ではなく、人生論などの研修があっても良いのではないかと思います。
- ・学生の現状を見ると、学生のメンタル面のケアの必要性が高まっていると感じる。他校の取り組み、事例などが知りたい。その様な研修があれば参加したい。
- ・学生にビジネススキルを簡単に教えられる教材があれば助かります。
- ・授業展開に関わる専門分野の知識・技術、業界事情に関する研修を、現在よりも数多く受講したい。技術の進歩が速い分野では、最新の知識を持っていないと魅力ある授業展開ができなくなってしまう。学会などへの参加ももっと必要と感じる。
- ・業界やビジネスの先端業務の研修を実施していただきたいです。実務と関係を保っていくことが大切と考えます。
- ・コンピュータスキルに関して、業務上では必要最低限の技術しか身につかないので、研修という「特別な場」を設ける意義が大きいと思う。
- ・教員として成長していくためにも、研修の参加は続けていきたい。異なる教育分野の方との協働やネットワーク作りができる研修があれば参加してみたいです。
- ・本校では、同一法人の学校間で様々な研修を行っており、そちらに参加している。研修に参加するたびに新たな発見があり、研修は大変重要。
- ・教員件数は非常に重要と思いますが、滋慶学園グループでは多様に亘り数多くの研修を受講しています。

- ・設問Aについて、過去に受講したのでうける必要を感じないため（4）です。
- ・パワーポイントを使ったプレゼンテーションが理解しやすいと思う。
- ・実体験の紹介や対処例などを具体的に教えていただける研修などは本当に勉強になりますが、なかにはグループでカウンセリングの練習などを長時間させて時間を消化しているだけの研修もあり、そのようなモノには失望することもあります。
- ・研修への参加で学生指導に必ず還元できるものがこれまで得られてきました。中でもグループディスカッション形式で、他の専門学校と先生方と意見交換ができる研修では、研修の内容を問わず多くの気づきが得られています。機会があれば可能な限り参加したいと思っています。
- ・日程等の都合により参加できない場合も多いので、内容ごとにテキスト、ブックレットなどをまとめて各学校に配布なさってくださいれば助かります（すでに実施されているかもしれませんが…）
- ・講師の先生の出版された本をテキストとして使用する場合、テキストの問題をそのままやるのではあまり意味がないと思います。
- ・関西での開催を増やしていただけたらありがたいと思う。
- ・専門学校募集広報に関わるセミナーや学生の心の病に対応するための研修（できるだけ具体的事例や解決策）が必要です。また上記研修を各県ごとに実施していただけると助かります。
- ・授業や費用の関係で他県に伺うのは難しいので、県単位で研修があると助かります。
- ・掘り下げて考えれば授業に何らかの形で必ず役に立つので、私はできるだけ参加していますが、「敷居が高い」と考えている人がまだ多い気がします。そういう方を減らすためにも、現場にすぐ還元できる内容のものがもっと増えるといいと思います。
- ・定期的な意見交換があると良いように感じます。各教員、それぞれいろいろな問題、トラブルを抱えています。一人で抱え込まず、多くの教員の視点から学生指導ができることが理想です。
- ・向上したいスキルは多々あるが、通常業務との兼ね合いにより、参加できないことも多い。より多くの職員が参加できるよう、希望日程アンケートの実施及び調整をお願いしたい。
- ・授業の合間での参加が難しいため、学校を会場とした研修があると助かる。

## 第3章 総括

本調査では、専修学校における教員研修受講の状況やニーズに関してアンケート調査を行い、教職員研修等の実態を把握し、今後求められる内容・方法等を検討し、専修学校教員の更なる質的向上へ向けた方策を検討することを目的として調査研究を行ったが、加盟校の理事・学校長・教務担当者対象ならびに教員対象のアンケートに関する回答、研修活動に関する関心とその必要性を感じている回答者の割合は大変高いものであった。

特に専門分野の知識・技術の向上、教育理論・教育技法などをはじめとして、教育の根幹となる研修への意欲が高いことがうかがえた。しかし、研修の実態では、研修費用や日程などの要素が原因となって、地域や学校規模、分野における差も見受けられた。

対象別の回答の比較ならびに自由記入による意見要望を含めて、調査回答およびクロス集計の結果から、今後の研修活動を進める上で留意すべきこと、主要と思われるものについて以下の項目に集約される。

### 1. 教員研修の重要性

教員を対象とした研修は「資質向上に向けた取り組みとして」大変重要であり、多くの学校において研修を実施し、学内（同一法人、グループ校内）の研修に加えて、外部のセミナー・研修を活用している。

今後も学内研修の充実とあわせて学外研修への更なる活用が求められている。

このことは学校規模、経済状況、多岐にわたる専門性などの要素などからか、全員受講の研修より、その内容を必要とする教員のみが研修を受講する方が望ましい実態もうかがえた。

また、「意見・要望」には専修学校教員としての実務的な研修や新任教員研修、3年目研修を実施してほしいという要望が寄せられた。研修が新任教員に必要なのは当然のことであるが、段階的な研修、教員歴の長い教員の再研修も必要不可欠と考える。

### 2. 期待される研修の内容

研修の内容に関しては「専門分野の知識・技術・業界事情に関する研修」「教育の基本理論・教育技法に関する研修」への参加ならびに今後の期待も高いことがうかがえた。

また、「教員としての魅力度・好感度を養うための研修」「学生・生徒指導、カウンセリング等に関する研修」「キャリア教育、就職指導に関する研修」「専門分野の知識・技術・業界事情に関する研修」「プレゼンテーションスキルに関する研修」についても必要性が高く、「保護者対応」「危機管理」に関する研修への期待が多くあり、比較的回答者が少なかった「発達障害・学習障害対応に関する研修」とともに、社会の変化や課題に即した研修が必要と考えられる。

### 3. 研修受講の実態

研修の受講機会については、多くの学校、教員が毎年何らかの研修受講機会があるとしている。

受講に関する費用は、国や行政から学校に対する補助がないなかではあるが、各校において経費負担をし、教育の質の向上に努めていることがうかがえた。研修日数は概ね7日間までであった。

### 4. 研修受講の課題

「研修受講の実態」の教員回答においては、教員自らが経費負担をしつつ自己研鑽に取り組んでいる実態、教員歴に拘わらず時間や経費的に余裕のない中で研修参加の意欲が高かった。

しかし、研修が都市部に集中している現状をはじめ、地域間や学校間による参加実態や参加経費や必要な時間の格差が顕著であることが明確であった。

## 5. 専教振の行う研修事業

新任教員研修、CSM（キャリア・サポート・マインド養成）講座、管理者研修会（校長・教頭研修会）、学校評価等（自己点検・評価）研修会をはじめとして、全般的に専教振の研修への関心が高くなく、参加が積極的であるとは言えない。いずれの研修にも「知らない」の率が高いことは、情報の伝達方法に課題があると考えられる。

更には、研修の形式のあり方、開催時期、ブロックでの地域での開催などの要望も多く見られた。

専教振として、それぞれの研修の重要性・必要性をもっと強く訴える必要があるとともに、専修学校教育の資質向上に資する財団法人として、情報提供の方法、開催のあり方を再検討する必要性が、本会への期待とともにうかがえる結果となった。

日本の現在の社会状況において、専修学校への期待は大きく変容しつつ、その必要性と社会から求められ且つ果たす役割はますます高くなるなかで、専修学校教育の質を保ち、さらに向上させていくためには、教員に対する研修活動の充実はさらに求められることが必至である。

その期待にこたえるべく、各専修学校の役員、教職員ならびに専教振が一体となって、今後も時代に即した研修を探りつつ、計画的、継続的に取り組むことが求められるものであり、本調査がその一助となることを願ってやまない。

最後に本調査にご支援いただいた文部科学省、また調査に回答して下さった各専修学校の理事長、学校長をはじめ教職員の方々のご協力に感謝いたします。

平成 21 年 3 月

研修活動調査研究委員会

## 平成20年度調査協力校一覧

今回の調査にご協力いただいた学校のうち、学校名公表可とされた481校を都道府県別50音順に掲載しております。  
( )内は(公表可回答校数/回答校数)です。

■北海道(29/40) ■青山工学・医療専門学校, 旭川大学情報ビジネス専門学校, 池見札幌歯科衛生士専門学校, 帯広コア専門学校, 札幌医学技術福祉専門学校, 札幌医療科学専門学校, 札幌医療福祉デジタル専門学校, 札幌科学技術専門学校, 札幌情報未来専門学校, 札幌心療福祉専門学校, 札幌福祉専門学校, 札幌ベルエポック製菓調理専門学校, 札幌リハビリテーション専門学校, 専門学校北日本自動車大学校, 専門学校北海道自動車整備大学校, 専門学校北海道体育大学校, 専門学校北海道福祉大学校, 専門学校北海道保健看護大学校, 函館短期大学付設調理師専門学校, 函館調理師養成専門学校, 函館臨床福祉専門学校, 北斗文化学園インターナショナル調理技術専門学校, 北海道医学技術専門学校, 北海道千歳リハビリテーション学院, 北海道理容美容専門学校, 室蘭ドレスメーカー専門学院, 吉田学園医療歯科専門学校, 吉田学園動物看護専門学校, 吉田学園ビューティステージ専門学校 ■青森県(4/6) ■専門学校アレック情報ビジネス学院, 東奥保育・福祉専門学院, 東北栄養専門学校, 東北コンピュータ専門学校 ■岩手県(3/4) ■岩手医科大学歯科技工専門学校, 専修大学北上福祉教育専門学校, 盛岡ペットワールド専門学校 ■宮城県(8/10) ■上田裁縫専門学校, 仙台医療秘書福祉専門学校, 仙台大原簿記公務員専門学校, 仙台歯科技工士専門学校, 仙台幼児保育専門学校, 東北外国語専門学校, 東日本医療専門学校, 宮城理容美容専門学校 ■秋田県(1/1) ■秋田県理容美容専門学校 ■山形県(4/6) ■酒田調理師専門学校, 山形女子専門学校, 山形調理師専門学校, 米沢調理師専門学校 ■福島県(6/6) ■今泉女子専門学校, 郡山健康科学専門学校, 国際情報工科専門学校, 国際ビューティ・ファッション専門学校, 東北医療福祉専門学校, 福島医療専門学校 ■茨城県(8/9) ■アジア動物専門学校, 晃陽看護栄養専門学校, 筑波研究学園専門学校, つくば国際ペット専門学校, つくばビジネスカレッジ専門学校, つくば福祉専門学校, 土浦情報経理専門学校, 水戸経理専門学校 ■栃木県(2/2) ■宇都宮アートアンドスポーツ専門学校, マロニエ医療福祉専門学校 ■群馬県(15/16) ■群馬県美容専門学校, 群馬県理容専門学校, 群馬日建工科専門学校, 群馬法科ビジネス専門学校, 専門学校群馬自動車大学校, 高崎医療技術福祉専門学校, 高崎歯科衛生専門学校, 高崎ビューティモード専門学校, 高崎ペットワールド専門学校, 中央医療歯科専門学校, 中央工科デザイン専門学校, 中央情報経理専門学校, 中央情報経理専門学校高崎校, 前橋医療福祉専門学校, 前橋東洋医学専門学校 ■埼玉県(10/19) ■上尾中央医療専門学校, 越生工業技術専門学校, 国際調理師専門学校, 埼玉歯科衛生専門学校, 彰華学園情報文化専門学校, 彰華学園保育福祉専門学校, 専門学校トータルビューティカレッジ川越, 中央情報専門学校, 東萌保育専門学校, ハンサム銀座理容美容専修学校 ■千葉県(8/12) ■大原簿記法律専門学校柏校, 大原簿記法律専門学校津田沼校, 関東鍼灸専門学校, 国際理工専門学校, 専門学校野田鎌田学園, 千葉医療福祉専門学校, パリ総合美容専門学校柏校, 船橋情報ビジネス専門学校 ■東京都(70/95) ■青山製図専門学校, アポロ歯科衛生士専門学校, アポロ美容理容専門学校, 大原簿記法律専門学校立川校, 大森家政専門学校, 関東リハビリテーション専門学校, 北豊島医療専門学校, 共立医療秘書専門学校, 国際観光専門学校, 国際動物専門学校, 国際理容美容専門学校, 国土建設学院, JTBトラベル&ホテルカレッジ, 秀林外語専門学校, 聖心女子専門学校, 専門学校イーエスピーミュージカルアカデミー, 専門学校東京医療学院, 専門学校東京工科自動車大学校世田谷校, 専門学校東京自動車大学校, 専門学校東京ミュージックアンドメディアアーツ尚美, 専門学校トヨタ東京自動車大学校, 専門学校村田経営義塾, 専門学校読売自動車大学校, 竹早教員保育士養成所, 中央工学校, 中央動物専門学校, 東京医療専門学校, 東京医療秘書福祉専門学校, 東京医療福祉専門学校, 東京栄養食糧専門学校, 東京外語専門学校, 東京工業専門学校, 東京国際福祉専門学校, 東京こども専門学校, 東京歯科衛生専門学校, 東京情報ビジネス専門学校, 東京製菓学校, 東京聖星社会福祉専門学校, 東京多摩調理製菓専門学校, 東京テクノ・ホルティ園芸専門学校, 東京ビューティーアート専門学校, 東京ファッション専門学校, 東京福祉専門学校, 東京ヘアビューティ専門学校, 東京ヘアメイク専門学校, 東京モード学園, 東京リゾートアンドスポーツ専門学校, 東京YMCA医療福祉専門学校, 東放学園専門学校, 東洋鍼灸専門学校, ドレスメーカー学院, 日商簿記三鷹福祉専門学校, 日体柔整専門学校, 日本デザイン専門学校, 日本ウェルネス歯科衛生専門学校, 日本指圧専門学校, 日本電子専門学校, 日本福祉教育専門学校, 日本ペットアンドアニマル専門学校, 日本リハビリテーション専門学校, 華服飾専門

学校, ハリウッド美容専門学校, 町田・デザイン専門学校, 町田福祉専門学校, 目白デザイン専門学校, ヤマザキ動物専門学校, 山野医療専門学校, 読売理工医療福祉専門学校, 臨床福祉専門学校, 早稲田医療専門学校, 早稲田速記医療福祉専門学校 ■神奈川県 (24/35) ■アーツカレッジヨコハマ, 浅野工学専門学校, 岩谷学園アーティスティックB専門学校, 岩谷学園テクノビジネス専門学校, O F Aカレッジ&ハイスクール, 神奈川衛生学園専門学校, 神奈川経済専門学校, 神奈川歯科大学附属歯科技工専門学校, 神奈川社会福祉専門学校, 共生会歯科技工専門学校, 呉竹鍼灸柔整専門学校, 湘南オートモビル・ビジネス専門学校, 情報科学専門学校, 情報科学専門学校新横浜校, 専門学校横浜ミュージックスクール, 矢沢服飾専門学校, 横浜医療秘書歯科助手専門学校, 横浜fカレッジ, 横浜こども専門学校, 横浜調理師専門学校, 横浜デジタルアーツ専門学校, 横浜ビューティーアート専門学校, 横浜保育福祉専門学校, 横浜リゾートアンドスポーツ専門学校, 横浜リハビリテーション専門学校 ■新潟県 (16/22) ■国際音楽エンタテインメント専門学校, 国際福祉医療カレッジ, 国際メディカル専門学校, シェフパティシエ専門学校, 専門学校新潟国際自動車大学校, 長岡看護福祉専門学校, 新潟医療技術専門学校, 新潟会計ビジネス専門学校, 新潟工科専門学校, 新潟コンピュータ専門学校, 新潟調理師専門学校, 新潟デザイン専門学校, 新潟美容専門学校 ジャパン・ビューティ・アカデミー, 新潟リハビリテーション専門学校, 新潟理容美容専門学校, フォーラム情報アカデミー専門学校 ■富山県 (5/8) ■専門学校職藝学院, 富山建築・デザイン専門学校, 富山コンピュータ専門学校, 富山情報ビジネス専門学校, 北陸ビジネス福祉専門学校 ■石川県 (5/9) ■金沢国際専門学校, 金沢福祉専門学校, 専門学校金沢リハビリテーションアカデミー, 専門学校国際デザインカレッジ金沢, (専)日本航空大学校 ■福井県 (1/2) ■国際ビジネス専門学校福井 ■山梨県 (3/5) ■甲府看護専門学校, 日本アーツオブビューティ専門学校, 山梨秀峰調理師専門学校 ■長野県 (5/12) ■飯田ゆめみらいICTカレッジ, 長野医療衛生専門学校, 長野調理製菓専門学校, 長野美術専門学校, 松本調理師製菓専門学校 ■岐阜県 (6/8) ■飯原服装専門学校, 大垣文化総合専門学校, 専修学校中部国際自動車大学校, 専門学校飛騨国際工芸学園, 中日本航空専門学校, ベルフォート・アカデミーオブビューティ ■静岡県 (38/49) ■大原情報ビジネス専門学校静岡校, 大原トラベル・ホテル専門学校静岡校, 大原トラベル・ホテル専門学校浜松校, 大原法律公務員専門学校浜松校, 大原簿記専門学校浜松校, 国際医療管理専門学校熱海校, 国際医療管理専門学校浜松校, 国際観光専門学校熱海校, 国際観光専門学校浜松校, 国際ことば学院外国語専門学校, 国際ペットビジネス専門学校熱海校, 静岡医療学園専門学校, 静岡インターナショナル・エア・リゾート専門学校, 静岡県西部理容美容専門学校, 静岡県理容美容専門学校, 静岡歯科衛生士専門学校, 静岡デザイン専門学校, 静岡デザイン専門学校浜松校, 静岡福祉医療専門学校, 静岡服飾美容専門学校, 専門学校静岡医療秘書学院, 専門学校静岡工科自動車大学校, 専門学校静岡電子情報カレッジ, 専門学校白寿医療学院, 専門学校ルネサンスアカデミー, 中央歯科衛生士調理製菓専門学校, 東海工科専門学校, 東海調理製菓専門学校, 東海福祉専門学校, 東海文化専門学校, 常葉学園医療専門学校, 日本書道芸術専門学校, 沼津情報専門学校, 浜松医療福祉専門学校, 浜松情報専門学校, 浜松日建工科専門学校, 富士メカニック専門学校, 富士リハビリテーション専門学校, プロスペラ学院外国語専門学校 ■愛知県 (34/50) ■あいち福祉医療専門学校, 大原トラベル・ホテル専門学校, 大原法律専門学校, 大原簿記専門学校, 川崎服飾技芸専門学校, 国際医療管理専門学校名古屋校, 専門学校愛知医療学院, 専門学校中部ビューティ・デザインカレッジ, 専門学校HAL名古屋, 中京法律専門学校, 中部大学技術医療専門学校, 中部ファッション専門学校, 中和医療専門学校, 東海医療科学専門学校, 東海医療技術専門学校, 東海工業専門学校熱田校, 東海歯科医療専門学校, 豊橋調理製菓専門学校, 豊橋ファッション・ビジネス専門学校, 名古屋医専, 名古屋栄養専門学校, 名古屋外語専門学校, 名古屋経営会計専門学校, 名古屋情報専門学校, 名古屋総合美容専門学校, 名古屋調理師専門学校, 名古屋福祉専門学校, 名古屋文化学園保育専門学校, 名古屋法律経済専門学校, 名古屋モード学園, ニチエイ調理専門学校, ミスパリエスティック専門学校名古屋校, 名鉄自動車専門学校, 山本学園情報文化専門学校 ■三重県 (1/4) ■伊勢保健衛生専門学校 ■京都府 (7/11) ■京都外国語専門学校, 京都芸術デザイン専門学校, (専)京都建築大学校, (専)京都伝統工芸大学校, 京都福祉専門学校, 専門学校日産京都自動車大学校, Y I C京都工科専門学校 ■大阪府 (32/47) ■藍野医療福祉専門学校, E C Cアーティスト専門学校, 上田安子服飾専門学校, エール学園, 大阪医専, 大阪医療秘書福祉専門学校, 大阪建設専門学校, 大阪工業技術専門学校, 大阪国際福祉専門学校, 大阪こども専門学校, 大阪コンピュータ専門学校, 大阪情報コン

ピュータ専門学校, 大阪スクールオブミュージック専門学校, 大阪総合デザイン専門学校, 大阪ダンス&アクターズ専門学校, 大阪美容専門学校, 大阪ファッションアート専門学校, 大阪ペイ動物看護専門学校, 大阪モード学園, 大阪リハビリテーション専門学校, 関西テレビ電気専門学校, 修成建設専門学校, 東洋医療専門学校, トライデントコンピュータ専門学校大阪, 日本コンピュータ専門学校, 日本分析化学専門学校, 日本メディカル福祉専門学校, 日本理工情報専門学校, H A L大阪, 箕面学園福祉保育専門学校, 明治東洋医学院専門学校, 森ノ宮医療学園専門学校, ユービック情報専門学校■兵庫県(9/23)■環境学園専門学校, 神戸医療福祉専門学校三田校, 神戸医療福祉専門学校須磨校, 神戸医療福祉専門学校中央校, 神戸製菓専門学校, 神戸リハビリテーション専門学校, 商業実務専門学校東亜リフレックススクール長田校, 専門学校神戸文化服装学院, 兵庫栄養調理製菓専門学校■奈良県(7/7)■奈良コンピュータ専門学校, 奈良総合ビジネス専門学校, 奈良保育学院, 奈良リハビリテーション専門学校, 阪奈中央看護専門学校, 藤影きもの専門学校, 藤影文化服飾専門学校■和歌山県(1/1)■和歌山Y M C A国際福祉専門学校■鳥取県(1/2)■鳥取情報処理専門学校■島根県(3/6)■島根総合福祉専門学校, 島根デザイン専門学校, 島根リハビリテーション学院, 専門学校松江総合ビジネスカレッジ■岡山県(10/16)■朝日医療専門学校岡山校, 朝日リハビリテーション専門学校, 岡山医療技術専門学校, 岡山商科大学専門学校, 岡山理科大学専門学校, 専門学校岡山情報ビジネス学院, 専門学校倉敷ファッションカレッジ, 専門学校慶子アカデミージャパン, 専門学校ワールドオプティカルカレッジ, 中国デザイン専門学校■広島県(17/22)■I G L医療専門学校, I G L健康福祉専門学校, 朝日医療専門学校広島校, C A C医療技術専門学校, 専門学校広島自動車大学校, 専門学校文化服装学院広島校, トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校, 広島医療保健専門学校, 広島会計学院専門学校, 広島外語専門学校, 広島コンピュータ専門学校, 広島情報ビジネス専門学校, 広島電子専門学校, 広島デンタルアカデミー専門学校, 広島ビジネス専門学校, 広島美容専門学校, 広島Law&Business専門学校■山口県(7/8)■山口医療福祉専門学校, 山口インフォメーション・カレッジ, 山口コ・メディカル学院, 山口調理師専門学校, 山口福祉専門学校, Y I Cキャリアデザイン専門学校, Y I C公務員専門学校■徳島県(1/2)■専門学校穴吹情報公務員カレッジ■香川県(4/4)■専門学校穴吹工科カレッジ, 専門学校穴吹ビューティカレッジ, 専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ, 専門学校禅林学園■愛媛県(6/9)■今治商業専門学校, 愛媛コミュニケーションビジネス専門学校, 愛媛調理製菓専門学校, 専門学校国際トータルビューティカレッジ, 松山医療福祉専門学校, 松山歯科衛生士専門学校■高知県(7/10)■R K C調理師学校, 高知外語ビジネス専門学校, 高知情報ビジネス専門学校, 高知ペットビジネス専門学校, 高知リハビリテーション学院, 国際デザイン・ビューティカレッジ, 龍馬看護ふくし専門学校■福岡県(27/42)■I L Pお茶の水医療福祉専門学校, 麻生公務員専門学校福岡校, 麻生情報ビジネス専門学校, 大原公務員医療専門学校福岡校, 大原保育医療福祉専門学校, 大原簿記公務員専門学校小倉校, 大原簿記情報専門学校福岡校, 北九州調理師専門学校, 九州電気専門学校, 九州ビジネス専門学校, 久留米工業技術専門学校, 昇学園自動車エンジニア専門学校, 昇学園総合専門学校, 専門学校麻生外語観光カレッジ, 専門学校北九州自動車大学校, 専門学校九州テクノカレッジ, 専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ, 専門学校福岡カレッジ・オブ・ビジネス, 専門学校福岡ビジョナリーアーツ, 中村調理製菓専門学校, 平岡介護福祉専門学校, 平岡調理・製菓専門学校, 福岡医健専門学校, 福岡エコ・コミュニケーション専門学校, 福岡外語専門学校, 福岡公務員専門学校, 福岡国際コミュニケーション専門学校■佐賀県(1/2)■佐賀工業専門学校■長崎県(3/4)■長崎医療技術専門学校, 長崎美容専門学校, 長崎公務員専門学校■熊本県(6/10)■I E C九州国際カレッジ専門学校, 九州中央リハビリテーション学院, 熊本工業専門学校, 熊本社会福祉専門学校, 専修学校熊本壱溪塾(大学予備校), 専門学校公務員ゼミナール熊本校■大分県(3/5)■明日香美容文化専門学校, 大分県歯科技術専門学校, 総合技術工学院■宮崎県(8/9)■大原簿記公務員専門学校, 九州保健福祉大学総合医療専門学校, 都城コアカレッジ, 都城文化服装専門学校, 宮崎医療福祉専門学校, 宮崎サザンビューティー美容専門学校, 宮崎福祉医療カレッジ, 宮崎ユニバーサル・カレッジ■鹿児島県(7/10)■鹿児島医療技術専門学校, 鹿児島医療福祉専門学校, 鹿児島測量専門学校, 鹿児島第一医療リハビリテーション専門学校, 鹿児島動物専門学校, 原田学園こども・医療秘書専門学校, 原田学園ビューティ専門学校■沖縄県(4/7)■沖縄福祉保育専門学校, 専修学校国際電子ビジネス専門学校, ソーシャルワーク専門学校, パシフィックテクノカレッジ学院

平成 20 年度 専修学校教育内容等改善研究協力校事業  
専修学校における研修活動に関する調査研究報告書

平成 21 年 3 月

発行 財団法人専修学校教育振興会  
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25  
(私学会館別館)  
電話 03 (3230) 4814